

平成30年7月3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 社会

代表者 仁方小 学校

氏名 福間武志

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(3・4学年上①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「よく行く店」「売り場を見学して」等, 学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習過程とともに「どんな～でしょうか。」「どのような～でしょうか。」「～をしていたかまとめてみましょう。」等の問いかけの形態で目標を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちは、ふだんどんな店によく行くでしょうか。」 ○ 「スーパーマーケットの売り場には、どのようなくふうがあるでしょうか。」 ○ 「スーパーマーケットではたらく人が、どのようなくふうをしていたかをまとめてみましょう。」
教出	<p>(3・4学年上①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「買い物調べをしようかいしょう」「商品はどこから来るのか調べよう」等, 学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「～なぜだろう。」「どこで～だろう。」「どのようにして～」等の問いかけの形態で目標を提示している ○ 1時間ごとの目標の下に、活動内容を例示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家の人たちは、どこで買い物をすることが多いのだろう。」 ○ 「店で売られている商品は、どこから運ばれてくるのだろう。」
光村	<p>(3・4学年上①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「家の人がよく行く店」「スーパーマーケットの見学」等, 学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「～は、どこだろう。」「どんな～があるのかな。」「～はどうしてかな。」等の問いかけの形態で目標を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「よく行く店は、どこだろう。」 ○ 「スーパーマーケットには、どんなくふうがあるのかな。」

日文	<p>(3・4学年上①)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「買い物をしている店を調べる」「見学したことをまとめる」等, 学習内容・方法等を見開きごとに提示している。○ タイトル左横に「どうして～だろう。」「どんな～だろう。」「どのように～だろう。」等の問いかけの形態で目標を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「家の人がよく買い物をするのは, どんな店なのだろう。」○ 「お客さんに来てもらうために, どんなことをしていたのだろう。」
----	--

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(3・4学年上②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「身のまわりの古い道具」「道具からくらしの様子を調べる」「くらしのうつりかわり」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに「どんな～でしょうか。」「どのように～でしょうか。」「～をまとめてみましょう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの周りには、どんな古い道具がのこっているのでしょうか。」 ○ 「道具は、くらしの中でどのように使われているのでしょうか。」 ○ 「道具とくらしのうつりかわりを道具年表にまとめてみましょう。」
教出	<p>(3・4学年上②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「郷土資料館をたずねて」「体験しよう、昔のせんたく」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「どのように～だろう。」「どんな～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 ○ 学習内容・方法の下に、活動内容を例示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「古い道具は、いつごろ、どのようにつかわれていたのだろう。」 ○ 「せんたくのしかたに、昔と今では、どんなちがいがあるのだろう。」
光村	<p>(3・4学年上②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「昔のごはんのたき方」「昔と今のくらしのちがいを年表にまとめよう」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「やってみる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「～くらべてみよう。」「～は～だろう」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごはんは、どうやってたいていたのかな。」 ○ 「今と昔の1日のくらしをくらべてみよう。」

日文	<p>(3・4学年上②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「今の台所のようす」「昔の道具からくらしを調べる」「ふりかえってみよう」等、学習内容・方法等を見開きごとに提示している。○ タイトル左横に「どのように～だろう。」「どんな～だろう。」「どんなふう～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「昔の家の中のようすは、今とどんなところがちがうのだろう。」○ 「昔の道具は、どんなふう～にうつりかわってきたのだろう。」
----	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(3・4学年下①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「ごみを分別する」「ごみのゆくえ」「まとめる」「ごみしよりのくふう」等の学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習過程とともに「どのような～でしようか。」「どのように～でしようか。」「～をまとめ、発表してみましよう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家では、ごみをどのように出しているのでしょうか。」 ○ 「せいそう工場では、ごみをどのようにもやしているのでしょうか。」 ○ 「ごみのしよりについてわかったことや考えたことをカードにまとめ、発表してみましよう。」 ○ 「ごみをへらすために、わたしたちのまわりでは、どのような取り組みが行われているのでしょうか。」
教出	<p>(3・4学年下①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「家から出るごみを調べよう」「資源ごみのゆくえ」「わたしたちにできることは」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「どのようにして～だろう。」「どのような～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 ○ 学習内容・方法の下に、活動内容を例示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの毎日のくらしからは、どのようなごみが、どれくらい出ているのだろう。」 ○ 「資源ごみは、どのようにして処理されているのだろう。」 ○ 「ごみの量をへらすために、わたしたちにできることはなんだろう。」
光村	<p>(3・4学年下①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「ごみのゆくえ」「清掃工場の工夫」「ごみにしない取り組み」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「どのように～でしよう。」「～かな。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「出したごみは、どこに運ばれるのかな。」

	<ul style="list-style-type: none"> ○「清掃工場の工夫について話し合おう。」 ○「わたしたちの標語」を作ろう。
<p style="text-align: center;">日文</p>	<p>(3・4 学年下①)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自分たちが出すごみを調べる」「ごみステーションで調べたことを発表する」「清掃工場のくふう」等、学習内容・方法等を見開きごとに提示している。 ○ タイトル左横に「どのような～だろう」「どんな～だろう」「できることがあるのだろうか」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「毎日のくらしからどのようなごみが出ているのだろう。」 ○「ごみは、どのような種類に分けられているのだろう。」 ○「清掃工場で働く人たちは、どんな努力やくふうをしているのだろう。」 ○「ごみをへらすために、わたしたちにもできることがあるのだろうか。」

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(3・4学年下②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「火事が起きたら」「学習の進め方」「まちの消防しせつをさがそう」等の学習の内容・方法等で示している。 ○ 「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習過程とともに「どのような～でしょうか。」「どのように～でしょうか。」「～をまとめてみましょう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「気づいたことやぎもんに思ったことをみんなで話し合い、学習問題をつくろう。」 ○ 「わたしたちのまちには、どのような消防しせつがあるでしょうか。」 ○ 「調べたことをもとに、火事からくらしを守る人々の働きを新聞にまとめてみましょう。」
教出	<p>(3・4学年下②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「火事について調べよう」「消火の仕事の他には」「災害から地域を守るために」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に、「どのような～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 ○ 学習内容・方法の下に、活動内容を例示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「火事が起きると、どんなひがいが出るのだろう。」 ○ 「消防署は、消火活動以外に、どのような仕事をしているのだろう。」
光村	<p>(3・4学年下②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「火事をふせぐには」「消防署の工夫や努力」「まちを守る人たちの仕事を調べよう」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「～だろうか。」「～かな。」等の問いかけの形態で問題を提示している。

	<p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「見学したときにとった写真をはったり、絵をかいたりして、分かりやすいまとめ方を工夫しよう。」 ○「みんなの地いきには、まちを守るどんな人がいるかな。」
<p>日文</p>	<p>(3・4学年下②)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わたしたちのまちの火事を調べる」「119番のしくみを調べる」「学校を火事から守るために」等、学習内容・方法等を見開きごとに提示している。 ○タイトル左横に「どれくらいの～だろう。」「どのような～だろう。」「もしも～だろうか。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わたしたちのまちでは、どれくらいの火事がおこっているのだろうか。」 ○「もしも学校で火事がおこっても、だいじょうぶなのだろうか。」

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(5 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「水産国・日本」「遠洋漁業のさかんな焼津漁港」「漁港別に地図にまとめる」の学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに「どのような～でしょうか。」「どのように～でしょうか。」「～をまとめましょう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「水産業がさかんな地域について考え、学習問題をつくりましょう。」 ○ 「遠洋漁業は、どのように行われているのでしょうか。」 ○ 「水産業がさかんな地域の人たちのくふうや努力について調べたことを、まとめましょう。」
教出	<p>(5 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「魚はどこでとれるのか」「世界の中の日本の漁業」「森は海の恋人」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「どこで～だろう。」「どのような～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちが食べている水産物は、どこで多くとれるのだろう。」 ○ 「漁師の人たちは、漁業を続けていくなかで、どのようななやみや願いをもっているのだろう。」
光村	<p>(5 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「水産業のさかんな地域」「日本の水産業がかかえる問題」「魚料理作りを体験しよう」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「どんな～だろう。」「どのようにして～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「水産物は、どんな所でとれるのだろう。」 ○ 「日本の水産業には、どんな問題があるのだろう。」
日文	<p>(5 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちの食生活と水産業」「長崎漁港のようす」「ふりかえってみよう」等、

学習内容・方法等を見開きごとに提示している。

- タイトル左横に「どのような～だろう。」「どうして～だろう。」「どんな～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。

具体例

- 「わたしたちは、どのような水産物を食べているのだろう。」
- 「漁港やそのまわりは、どのようなようすなのだろう。」
- 「わたしの考えのらんに、自分の考えをしっかりと書こう。」

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(5学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「大震災を伝える放送局」「ニュース番組の放送」「ノートにまとめる」の学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに「どのようにして～でしょうか。」「どのように～でしょうか。」「～をまとめましょう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「放送局では、東日本大震災の情報をどのようにしてつたえたのでしょうか。」 ○ 「放送局ではどのようにニュースを取材し、放送しているのでしょうか。」 ○ 「これまでの学習をふり返り、放送局の働きや放送局が伝える情報の生かし方をまとめましょう。」
教出	<p>(5学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「必要な情報を伝える、ニュース番組」「情報を受け取り、発信するわたしたち」「情報化 個人情報」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「どのように～だろう。」「どのようなことに～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「テレビで放送されるニュース番組は、どのようにつくられているのだろう。」 ○ 「インターネットが広がる社会では、どのようなことに気をつければよいだろう。」 ○ 「キーワードに注目して学習をふり返ろう。」
光村	<p>(5学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「メディアの特色」「東日本大震災とテレビ報道」「テレビ局の工夫」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」、「調べる・話し合う」、「まとめる・広げる」の学習過程とともに「どんな～だろう。」「どのように～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「それぞれのメディアには、どんな特色があるのだろう。」 ○ 「テレビは、わたしたちのくらしに、どんな役割を果たしているのだろう。」 ○ 「情報との上手な付き合い方を考えよう。」

日文	<p>(5学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「新聞の情報」「メディアとわたしたちの関わり」「ふりかえってみよう」等、学習内容・方法等を見開きごとに提示している。○ タイトル左横に「どのように～だろう。」「どんな～だろう。」「ちがいがあのだろうか。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「新聞には、どんな情報がのっているのだろう。」○ 「新聞によって、伝える内容にちがいがあのだろうか。」
----	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(6 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「江戸幕府と大名」「人々のくらしと身分」「まとめる」等の学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに「どのようにして～でしょうか。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「江戸幕府の政治と徳川家光のエピソードについて話し合い、学習問題をつくりましょう。」 ○ 「幕府は、百姓や町人などを、どのようにして支配したのでしょうか。」 ○ 「学習問題について調べたことをもとに、家光になったつもりで家康に報告の手紙を書き、最後に家光に意見を伝えよう。」
教出	<p>(6 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「江戸をみざす行列」「人々の暮らしと身分」「参勤交代 鎖国 身分」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「なぜ～だろう。」「どのようにして～だろう。」「どのように～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「大名行列は、なぜ行われるようになったのだろう。」 ○ 「幕府は、どのようにして人々を治めたのだろう。」 ○ 「キーワードに注目して学習をふり返ろう。」
光村	<p>(6 学年上)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「織田信長が目ざしたこと」「身分による支配」「鎖国の中での交流」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程とともに「どんな～だろう。」「どのようにして～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「信長は、どのようにして天下統一を進めたのだろう。」 ○ 「幕府は、どのようにして百姓や町人を支配したのだろう。」 ○ 「3人の武将の人物年表を作ろう。」

日文	<p>(6 学年上)</p> <p>1 時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「新しい時代を切りひらいた織田信長」「江戸時代の身分制と人々の暮らし」「ふりかえってみよう」等, 学習内容・方法等を見開きごとに提示している。○ タイトル左横に「どのようなこと~だろう。」「どのように~だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none">○ 「織田信長は, どんな人物で, どのようなことをしようとしたのだろう。」○ 「幕府は, 百姓や町人などをどのように支配したのだろう。」
----	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 単元・題材の目標の示し方
方 法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(6 学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「調べる国を決めよう」「人々のくらしと年中行事」「まとめる」等の学習の内容・方法等を提示している。 ○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の学習過程とともに「どのようにして～でしょうか。」「どのような～でしょうか。」「～しよう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習問題をつくり、日本とつながりの深い国から1か国を選び、人々の生活について調べる学習計画を立てましょう。」 ○ 「アメリカの人々の休日の過ごし方や年中行事には、どのようなものがあるのでしょうか。」 ○ 「学習問題について調べてきたことを発表し合い、最後に意見文をつくって発表しよう。」
教出	<p>(6 学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「日本とつながりのある外国を調べよう」「貿易で強く結ばれている国アメリカ」「つながりの深い国々について話し合おう」等、学習の内容・方法等を提示している。 ○ タイトルの左横に「どのような～だろう。」「～しよう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国々について調べる計画を立てよう。」 ○ 「日本とアメリカには、どのようなつながりがあるのだろう。」 ○ 「世界の国々と人々の暮らしについて調べたことを発表しよう。」
光村	<p>(6 学年下)</p> <p>1時間ごとの目標の記載の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに「日本とつながりの深い国」「多民族国家 アメリカ」等、学習内容・方法等を提示している。 ○ ページの上部に「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」等の学習過程とともに「～しよう。」「どんな～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。 <p>具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本とつながりの深い国について調べよう。」 ○ 「アメリカって、どんな国だろう。」

	○「調べた国のことを発表し合おう。」
日文	<p>(6 学年下)</p> <p>1 時間ごとの目標の記載の仕方</p> <p>○ 「日本とのつながりの深い国々」「アメリカ合衆国」「ふりかえてみよう」等、学習内容・方法等を見開きごとに提示している。</p> <p>○ タイトル左横に「～だろう。」「どのような～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。</p> <p>具体例</p> <p>○ 「どの国のことを調べればよいのだろう。」</p> <p>○ 「日本と貿易で強く結ばれているアメリカは、どのような国なのだろう。」</p>

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第3・4学年) 地域の古い道具

発行者	調査・研究内容
東書	<p><取り上げている道具></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昔のランプ・せんたく板とたらい・昔のアイロン・井戸 (挿絵や写真) ○ 【料理】 かまど→ガスコンロ→ガステーブル→IH電気台 ○ 【洗濯】 せんたく板→ローラー付き洗濯機→全自動洗濯機 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりにある古い道具を探し、その古い道具について、よく知る人に話を聞く。そして、わかったことや感じたことを話し合う。また、古い道具を実際に使ってみて、道具の工夫や今の道具との違いを見つける (例：せんたく板)。 ○ 博物館へ行き、博物館の人に話を聞いて、昔の道具の使い方・工夫・いつごろ使われていたか・そのころの暮らしの様子などを知り、それらをまとめる。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具と暮らしの移り変わりについて、挿絵やわかったことを書き込みながら道具年表にまとめる (例：料理、洗濯、松山市の暮らし・出来事)。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『つかむ』→『調べる』→『まとめる』の学習段階が明示されていて、その内容も記述されている。 ○ 『つかむ』段階で、『まなびのポイント』『話し合おう』のコーナーがあり、「身のまわりにある古い道具を探してみよう」などの具体的な活動内容に記述されている (2か所)。 ○ キーワードを『ことば』としてわかりやすく取り上げられていて、まとめるときに、『ことば』を活用した活動を促している (例：道具) <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き1ページいっぱい昔の生活をしている様子の絵があり、子ども達の興味を引き、暮らしの様子がわかりやすい。 ○ 近所の大森さんの話 (ランプについての体験話・せんたく板での洗濯体験話) ○ 昔の道具の挿絵とその説明がある (せんたく板とたらい・昔のアイロン)
教出	<p><取り上げている道具></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ かま・おひつ・せんたく板とたらい・ひしゃく (挿絵) ○ かま・千歯こき・かまど・お手玉やけん玉・せんたく板とたらい・ローラーのついた洗濯機・二層式洗濯機・乾燥機をついた洗濯機 (道具調べカード) <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土資料館を訪ね、古い道具の名前、使われた時期、絵、利用方法を絵カードにまとめる。絵カードにまとめたせんたく板の体験をして、その苦労や工夫を見つける。さらに、せんたくをテーマに古いものから並べて、移り変わりを確かめている。 ○ 実際に様々な世代の方に子どものころの暮らしについて質問をして、わかったことをノートにまとめる。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことをもとに、道具や暮らしの様子、横浜市が出来事を並べて年表にまと

	<p>める。(せんたく機・コンロ・音楽プレイヤーの移り変わりがまとめてある)</p> <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての小单元ごとに、活動の手順が記載されている。 ○ 『学びのてびき』に絵カードのまとめ方や古い道具を使ってせんたくをしよう、年表のつくり方など、活動の手順がわかりやすく記述されている。 ○ 絵カードの例が豊富で、かき方の見本が多く掲載されている(8点)。 ○ 年配の方への質問の時に、話に合った白黒の写真が掲載されている(5点)。 ○ まとめる時に使用するキーワードが、それぞれ記載されている。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 107ページに見開き1ページに昔の道具がたくさん載っている生活の絵があり、昔の暮らしが想像しやすい。 ○ 1985年ごろの昔のまちの様子と2016年ごろの今のまちの様子を比較するために、時代の違う同じ場所の写真が並んで載っている。
<p>光村</p>	<p><取り上げている道具></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いろり・かまど・あみがさとわらじ・みの・いど・せんたく板とたらい ○ かまど→昔の炊飯器→炊飯器, たらいとせんたく板→二層式洗濯機→全自動洗濯乾燥機 ○ ランプ→蛍光灯→リモコン式蛍光灯, 火鉢→ストーブ→ファンヒーター, 井戸→昔の水道→今の水道 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の家のつくりと今の家のつくりの違いを見つける。その中で、どのような暮らしをしているのか考える。100年前の建物に行き、見学する, 分かったことについて話し合い, 学習問題を作成する。また, ごはんの炊き方の移り変わりを調べ, 話し合い, 昔のせんたくの仕方を実際に体験する。その苦労や工夫をみつける。 ○ まちのお年寄りが子どもの頃の生活の様子を質問する。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具, 暮らしの様子, 考えたことを時代ごとに分けて年表を作成する。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 郷土資料館の利用時の約束が記述されている。 ○ お年寄りが子どもだった時代の写真が5枚掲載されている。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯板を実際に使っていた石田さんの話がコラムになっている。その当時の写真が載っている。 ○ 絵や図などの資料が大きく描かれている。
<p>日文</p>	<p><取り上げている道具></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ラジオ, 火鉢, そろばん, 昔の電話, 七輪, せんたく板とたらい, せんたく機, テレビ, コンピューター <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の台所の絵を見て, 今の生活とどんなところが違うのかを見つける。見つけた古い道具が身近にないかさがして調べる。郷土さんこう館(博物館)を見学し, 昔の道具の使い方や苦労, 工夫を知り, 七輪や洗濯板を実際に使ってみて, 道具調べカードを作成する。 ○ 昔の道具からその当時の生活を予想する。地域のお年寄り, お母さんの子どものころの話を聞いてその当時の様子や生活様式を知る。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べてきたものを参考にして, 道具, 使用する手順, 燃料, 安全, 気が付いたこ

とについて、まとめて表にする。また、使用された時代の特徴を加える。

<具体的に学習を展開するための配慮>

- 『学び方・調べ方コーナー』で挿絵の読み取り方がわかるようなポイントが記載されている。
- 『ふりかえってみよう』では、今まで学習したことがまとめて書いてあり、何を学習してきたのがわかりやすい。

<資料やコラムの状況>

- 見開き1ページに半分に大きく昔の台所の様子の絵が載っていて、昔の雰囲気がよく出ている。
- 郷土さんこう館の大塚さんの話がコラムで、昔のことや七輪の使い方、せんたく板について話している。
- 七輪の詳しい仕組みが書かれている。
- 昔の時代の様子を知るための白黒の写真がわかりやすい。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第3・4学年) 年中行事

発行者	調査・研究内容
東書	<p><取り上げている行事等></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 古くから残る建物：道後温泉本館 ○ 昔から続くお祭り：道後駅前で行われる祭り，伊予万歳 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域にある古い建物を調べる計画を立て，道後温泉本館を調べる。道後駅前で行われている祭りについて話を聞いてわかったことをまとめる。伊予万歳クラブを見学し，きょう土げいのう保存会の人に話を聞いたり，体験したりして，わかったことを整理する。 ○ 地域に残る古いものには，どんな願いが込められて，どのように受け継がれてきたのか考える。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことをカードにまとめ，それを地図の中にならべ，れきしマップをつくる。 ○ 郷土かるたをつくる。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『つかむ』→『調べる』→『まとめる』の学習段階が明示されていて，その内容も記述されている。 ○ 『つかむ』段階で，『まなびのポイント』として，「地域に古くから残るものを見つけて発表し合おう」などの具体的な活動内容に記述されている。 ○ キーワードを『ことば』としてわかりやすく取り上げられていて，まとめるときに，『ことば』を活用した活動を促している（例：文化ざい，祭り，きょう土げいのう） ○ どのような言葉でまとめたらいいか，ノートの記事例が掲載されている。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 半ページに，道後温泉本館の写真が掲載されている。また，写真でお風呂や坊ちゃんの間，建物の中が想像しやすいようになっている。 ○ 道後温泉本館の柴田さんの話。貴重な文化財を守っていく仕事について。 ○ 道後温泉本館を見学して夏目漱石のことや文化財について書かれている。 ○ 祭りを推進している西岡さんの話で，祭りを受け継ぐ必要性が書かれている。 ○ 伊予万歳保存会の平野さんの話が掲載されている。 ○ 実際のきょう上かるたの例が大きく掲載されていてわかりやすい。
教出	<p><取り上げている行事></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大石神社の祭り，どんどやき，つつがゆ神事，七夕まつり（平塚市），けんか七夕（陸前高田市） <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 祭りやおはやしなどの昔から町に伝わるものについて知るために，お話を伺うためのお願いの手紙を書く。実際に大石神社を見学して，お祭りをよく知る人にインタビューをする。おはやしの練習を見に行き，体験する。郷土げいのうであるおはやしの踊りを見学し，これらのことをまとめる。

	<p>○ まちに伝わる年中行事を調べるために、自治会の方に話を聞き、一年間の年中行事を月ごとに調べる。</p> <p><まとめ></p> <p>○ 一年間の年中行事をカレンダーにまとめる。</p> <p>○ 昔さがしマップをつくって、昔から今につながることをまとめている。</p> <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <p>○ 『学びのでびき』に「昔のことに詳しい人から話を聞く、本や資料を読む、実際に触れてみる・参加してみる」というように具体的な活動が記載されている。</p> <p>○ 『キーワード』で、祭り、文化財、郷土げいのう、年中行事が挙げられていて、このキーワードを使ってまとめをするように促してある。</p> <p><資料やコラムの状況></p> <p>○ 祭りについての話を伺うための、お願いの手紙の例が記載されている。</p> <p>○ 自治会の河原さんの話、保存会の本所さんの話というコラムが3か所ある。</p>
光村	<p><取り上げている行事></p> <p>○ 牛込ししまい (青葉区)、善部妙蓮寺の曲題目 (旭区)、南山田の虫送り (都筑区)、蛇も蚊も (鶴見区)、お馬ながし (中区)</p> <p>○ 舞岡ばやし</p> <p>○ 広島県北広島町の壬生の花田植 (コラムとして)</p> <p><学習活動></p> <p>○ おはやしのビデオを見た後、おはやしをえんじているほぞん会の人たちの練習を見学して、話を聞き、体験してまとめる。</p> <p><まとめ></p> <p>○ 地域の人に話を聞いたり、図書館で調べた町に伝わる行事を『しょうかいカード』に作成したりする。</p> <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <p>○ だれかに話をきくときは、前もって、知りたいことを整理するようにし、その整理の仕方の例が記されている。</p> <p>○ 『たいせつ』のコーナーで、図書館で調べる時の調べ方が記されていて、活用しやすい。</p> <p><資料やコラムの状況></p> <p>○ おはやしをしている写真が大きく3枚掲載されている。</p> <p>○ インタビューの内容が、会話の形式で書かれていてわかりやすい。</p> <p>○ 保存会の会長さんの話がコラムとして載せられている。</p>
日文	<p><取り上げている行事></p> <p>○ 百人灯流し、渡良瀬バルーンレース、蔵の街サマーフェスタ、巴波川のこいのぼり、なつこい、夏祭り、木の八幡宮の祭り、さくら祭り</p> <p><学習活動></p> <p>○ とちぎ秋まつりについて、家や地域の人に話を聞いたり、図書館やインターネットで調べたりする。調べたことを『祭り調べカード』にまとめ、発表する。とちぎ山車会館 (博物館) へ見学に行き、とちぎ山車会館・山車でんしょう会の方へインタビューをする。調べたことをもとに話し合う。</p> <p>○ 栃木市で行われている主な祭りを調べて、市の地図に祭りの写真を貼って話し合いをする。</p> <p><まとめ></p>

- 「とちぎ秋祭り」を盛んにするための方法を三つ考え、文章でまとめる。
- <具体的に学習を展開するための配慮>
- インターネットの使い方について、検索の仕方などの方法が記載されている。
 - 調べたことを発表するときには注意することなど、発表の具体例を示しながら紹介している。
 - 調べたことを班で話し合うような状況を絵と吹き出しを載せて、活動がイメージしやすいようにしている。どのように進めていくのかを例示している。
 - まとめをする前に、『ふりかえりの手順』を例示している。
- <資料やコラムの状況>
- 山車の仕組みが絵を示しながら詳しく表示してある。
 - 山車会館の様子が分かる写真が6点掲載されている。
 - とちぎ山車会館の佐藤さんの話がコラムとして半ページ掲載されている。
 - 山車でんしょう会の佐山さんの話がコラムとして半ページ以上掲載されていて、祭りの準備や、祭りを伝承していく大切さについて伝えている。
 - 「とちぎ秋祭り」の歴史が年表として掲載されている。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第3・4学年) 地域の発展に尽くした先人の具体的事例の記述

発行者	調査・研究内容
東書	<p><取り上げている事例・人物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本県で20年以上音楽の先生をしていた犬童球溪。 ○ その他北里柴三郎, 中村汀女, 林又七。 ○ 熊本県山都町の白糸台地にある通潤橋をつくる時に中心となった布田保之助。それに協力した橋本勘五郎 ○ 京都市の学区制の制定を例に, 京都の教育や地域の学校について。 ○ 島根県松江市で日本文化を大切にしていた小泉八雲 ○ 小泉八雲記念館を完成させた根岸磐井。 ○ 佐賀県でのりの養殖に取り組んでいた江頭杉太郎。 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通潤橋や布田保之助の業績からわかることを発見し, 白糸台地の地形や白糸台地に住む人々の願いについて考える。等高線が入っている地図や鳥瞰図から白糸台地の地形の特徴を調べ, わかったことをカードに書いて話し合う。用水路はどのように白糸台地に水を送っているのかを調べ, 通潤橋の必要性を探る。通潤橋の仕組みについて調べ, それをつくる時の苦勞を知る。通潤橋資料館へ見学に行き, 通潤橋資料館の方の話聞きながら, 通潤橋のでき方や石工の苦勞などについてまとめる。通潤橋ができたことによる暮らしの変化を調べ, その偉業について理解する。 <p><まとめる></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べてわかったことや考えたことを紙しばいにまとめて発表する。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『つかむ』→『調べる』→『まとめる』の学習段階が明示されていて, その内容も記述されている。 ○ 『つかむ』通潤橋を観察してわかったことや, 白糸台地の地形からわかること, 白糸台地の人々の願いなどを考えさせる写真や四コマ漫画が掲載されている。 ○ キーワードを『ことば』としてわかりやすく取り上げられていて, まとめるときに, 『ことば』を活用した活動を促している (例; 等高線, 用水, 石工) ○ まとめで紙しばいをつくる時の手順や気を付けるポイントなどを『まなび方コーナー』として紹介している。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 布田保之助がつくった通潤橋や布田保之助の銅像が大きく写真で掲載されている。 ○ 地形の写真や等高線が入っている地図など比較しながら学習できる。 ○ 児童が調べ学習を進めていくうちに疑問に思うことなどをまとめる整理カードの例がわかりやすく記載されている。 ○ 通潤橋資料館の石山さんの話がコラムとして2か所掲載されている。
教出	<p><取り上げている事例・人物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吉田新田を切り開いた吉田勘兵衛の業績 (神奈川県横浜市) ○ 地域に学校を開いた小笠原東陽 (神奈川県藤沢市)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 砺波のチューリップづくりと水野豊造（富山県砺波市） ○ 荻窪用水を切り開いた川口広蔵（神奈川県箱根町・小田原市） <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地名や学校名に使われている「吉田」を手掛かりに今と昔の地図を比較して吉田新田について調べる。吉田新田があった場所を実際に歩いて、地域の人にインタビューをしながら調べる。調べ学習を進めて、解決しない疑問や新しい疑問を整理して付箋に書いて整理する。疑問を解決するために歴史博物館へ行き、学芸員の斉藤さんに質問をする。吉田新田を埋め立てる前の暮らしと人々の願いについて考える。勘兵衛がどのようにして海を埋め立てていったのか、その時の苦勞とはどのようなものだったかを調べる。工事で使われた道具・くわやもこの体験を行い、苦勞を実感する。新田が完成した時の喜びや、完成した後の生活の様子について話し合う。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吉田新田がつくられたわけや、完成した後の人々の暮らしの変化について「新田開発・人々の願い・工事の工夫」というキーワードを使い、言葉でまとめる。 ○ 地域のこれからを考えるために、勘兵衛が埋め立てた土地のその後の様子を伝える「勘兵衛さんへの手紙」を書き、これからの自分たちのまちづくりについて考える。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 吉田新田の場所を地図から予想することや吉田新田ができる前とできた後を比較することなど、活動手順が明確に記載されている。 ○ 歴史博物館でのメモの取り方が整理して記されており、実際のメモの取り方の例があり、わかりやすい。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日枝神社は土地の安全と豊作を願って吉田勘兵衛が建てた神社だということをコラムで紹介している。 ○ 歴史博物館学芸員の斉藤さんの話がコラムとして掲載されている。 ○ 新田をつくる経緯や同時使われていた道具が絵になっていてわかりやすい。 ○ 時系列が確認しやすいように、新田づくりが進められた年表が掲載されている。 ○ 新田ができる前後を比較して、その土地の米の石高が示されている。
光村	<p><取り上げている事例、人物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 虹の松原（佐賀県唐津市）、今治タオル（愛媛県今治市）、高瀬川（京都府京都市）、拾ヶ堰（長野県安曇野市）、岩槻藩遷喬館（埼玉県さいたま市）、吉田新田（神奈川県横浜市）、広村ていぼう（和歌山県広川町） ○ 拾ヶ堰（長野県安曇野市）を築いた等々力孫一郎、中島輪兵衛、平倉六郎右衛門。 ○ 松本城（長野県松本市）を救った市川量造と小林有也。 ○ 吉田新田（神奈川県横浜市）を築いた吉田勘兵衛。 ○ 今治タオル（愛媛県今治市）を盛んにさせた阿部平助 ○ 岩槻藩遷喬館（埼玉県さいたま市）を開いた児玉南柯 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昔の人たちが残してくれたものは今の私たちの暮らしとどのように関わっているのか考える。 ○ 拾ヶ堰が「命の水」とよばれていることの予想と理由を立て、用水路に沿って歩いて調べていく。拾ヶ堰ができる前とできた後の人びとの暮らしを比較するために、地域の人に話を聞きながら拾ヶ堰ができる前の様子を調べる。拾ヶ堰をつくった

	<p>等々力孫一郎，中島輪兵衛，平倉六郎右衛門の苦勞や願いを博物館の人に聞きながらまとめる。今の工事と昔の工事の道具を比べて，その大変さを見つける。昔の方法の工事や測量を体験して，感じたことを話し合う。現在行われている拾ヶ堰の清掃活動や稲刈りなどを考え，昔と今がつながっていることを実感する。</p> <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に尽くした人のことを紙しばいにまとめる。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 予想と理由のノート例があるので，今からどのような学習を進めていくのかがわかりやすい。 ○ 「用水路，大庄屋，庄屋，作世話役」など，用語の説明が載っている。 ○ 紙しばいにまとめるときの場面分けが載せられていて，作業がしやすい。 <p><資料やコラムの状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな地図の中に，場所ごとに写真がついていて，調べるポイントが絞られている。 ○ 土地の高さが示された地図を活用して，高低差が小さい地形に気付くことができる。 ○ 現在残っている勘兵衛の日記や当時の地図の写真があり，人物の偉業がみられて良い。
<p>日文</p>	<p><取り上げている事例，人物></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広村ていぼう（和歌山県広川町）と浜口梧陵 ○ 手結港（高知県）を開いた野中兼山 ○ 研究と自然を守る運動を続けた（和歌山県田辺市）南方熊楠 ○ 那須疏水（栃木県那須塩原市）をつくった印南丈作と矢板武 <p><学習活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安政南海大地震で津波に襲われた広村のようすを描いた絵を見ながら話し合う。浜口梧陵が，津波の時に村人を救って堤防をつくったことをお家の人や資料館の人に聞いて調べる。広村と同じ津波によって被害をうけた東北地方の事例と取り上げ，それらを比較し，考えを深める。浜口梧陵について，見学する計画をたてて，「稲むらの火の館」を見学する。館長の崎山さんに話を聞いたり，見学したりしたことを『見学メモ』にまとめる。語り部の佐々木さんと一緒に堤防を見学する。浜口梧陵がどのように堤防をつくったかを調べ，当時使われた道具やその使い方などを調べる。浜口梧陵について調べている清水さんをゲストティーチャーとして，調べて疑問に思ったことを質問する。今のわたしたちのくらしと浜口梧陵の業績がどのようにつながっているのかを考え，村の人々のくらしや村の未来のことまで考えていたことを話し合う。 <p><まとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜口梧陵の働きを整理し，紙芝居をつくる。 <p><具体的に学習を展開するための配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 『学習のまど』で「地域の発展につくした人々やその人たちがしたことや残したことが今のわたしたちのくらしにどのように関わっているのか考えよう」と記載されている。 ○ 「安政南海大地震・津波・江戸時代」など言葉の説明が記載されている。 ○ 『学び方・調べ方コーナー』として活動の仕方が記載されている。 <p><資料やコラムの状況></p>

- 東北地方の津波のコラムが「稲むらの火」として記載されている。
- 「稲むらの火の館」の館長さんの話がコラムになっている。
- 「稲むらの火の館」の写真や見学メモがありわかりやすい。
- 堤防の工事の時に使われた道具の挿絵がある。
- 堤防の高さや工夫がわかるような挿絵がある。
- 浜口梧陵の一生が年表になっているので、その業績がわかりやすい。
- 浜口梧陵について調べている清水さんの話がコラムになっている。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第5学年) 国土の地形や気候の概要

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「わたしたちの国土」の中の小単元「国土の地形の特色」「国土の気候の特色」を通し、国土の地形と気候の概要について、計12ページで説明している。(写真、グラフ等38点) グラフには、数値も記載されている。 〈地形〉 ○ 地形の学習の導入に「入り組んだ海岸」「たくさんの島がある地域」等、7点の写真を掲載している。 ○ 日本の主な地形について示した地図を2ページ見開きの中心に掲載し、平地19、山地は16、川や湖は17取り上げている。その中で3点(飛騨山脈、松本盆地、黒部川)の写真を掲載している。 ○ 地形の用語についての説明は、山地(山脈、高地、高原、丘陵)と平地(平野、盆地、台地)の二つに分類した上で、文字とイラスト図により行っている。 ○ 「日本の火山の広がり」といった項を起こしている。その中で近年、御嶽山が噴火したこと、温泉が観光や休養に利用されていること、火山による地熱を利用した発電が注目されていることを取り上げている。 ○ 地形の概要についての学習のまとめは、白地図に地形について記入すること、日本の地形の特色について文章でまとめることにより行っている。 〈気候〉 ○ 気候の学習の導入に「流氷(北海道知床半島)」「桜(福岡県福岡市)」「海開き(神奈川県石垣島)」等の写真を掲載し、同じ3月でも気候が大きく違うことを示している。 ○ 四季の移り変わりの様子の写真(福島県会津地方の農家)を掲載している。 ○ 「桜がさきはじめる時期」の地図を掲載し、地域によって気候が違うことを示している。 ○ 「つゆ、台風、雪、季節風の様子」という項を起こしており、児童が調べたという体裁をとりながら、地図や写真などを使い、これらについて説明している。 ○ 季節風に関しては、文字とイラスト図によって、説明している。 ○ 我が国の気候区分については、北海道の気候、中央高地の気候、太平洋側の気候、瀬戸内海の気候、南西諸島の気候、日本海側の気候の6つに分け、それぞれ帯広、軽井沢、静岡、高松、那覇、上越の雨温図を示しながら、その特徴について説明している。 ○ 気候の概要についての学習のまとめは、その特色について文章でまとめることにより行っている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「わたしたちのくらしと国土」の中の小単元「日本の地形と気候」を通し、国土の地形と気候の概要について、計6ページで説明している。(写真、グラフ等13点) 〈地形〉 ○ 日本の主な地形について示し左地図を2ページ見開きの中心に掲載し、平地は9、山地は15、川や湖は18取り上げている。その中で3点(飛騨山脈、英虞湾、関東平野と利根川)の写真を掲載している。 ○ 上記の地図の中で、日高山脈、奥羽山脈、中国山地、飛騨山脈、関東平野、濃尾平野、筑紫平野、石狩平野、吉野川、信濃川については児童が調べ、記述するようにしている。 ○ 地形の用語についての説明は、高地(山脈、山地、盆地)と低地(平野、台地)の二つに分類した上で、文字とイラスト図により行っている。また、「湾」についての説明もしている。

	<p>〈気候〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四季の移り変わりの様子の写真（岩手県盛岡市の公園）を掲載している。 ○ 「桜がさく時期のちがい」「かえでやもみじが紅葉する時期のちがい」の地図を掲載し、地域によって気候が違うことを示している。 ○ 「5月の山の上と、ふもとの様子のちがい」という写真や「土地の高さによる、夏の気候のちがい」というイラスト図を掲載し、季節の変化の違いには土地の高さも影響していることを説明している。 ○ 季節風に関しては、文字とイラスト図によって、説明している。 ○ 我が国の気候区分については、網走市の気候、松本市の気候、千代田区の気候、高松市の気候、奄美市の気候、上越市の気候の6つに分け、雨温図を示しながら、その特徴について説明している。 ○ 学習のまとめについては、地形と気候を合わせ、山脈、山地、平野、梅雨、台風、季節風というキーワードを使い、穴埋めさせたり、文を組み立てさせたりすることを通し、行っている。 ○ 発展的な学習として、外国の人に日本の国土について紹介するキャッチフレーズを考え、話し合う活動を取り入れている。
<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「日本の国土とわたしたちの暮らし」の中の小単元「日本の国土」の中の項「日本の地形には、どんな特色があるのだろう」「日本の気候には、どんな特色があるのだろう」「『日本の国土クイズ』を開こう」を通し、国土の地形と気候の概要について、計6ページで説明している。（写真、グラフ7点） <p>〈地形〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の主な地形について示した地図を巻頭の資料「地図から分かる日本」の中と当該単元の中に掲載し、平地は22、山地は20、川や湖は18取り上げられている。その中で「関東平野」「信濃川」「飛騨山脈」「木曾山脈」「赤石山脈」については児童が調べ記入するようにしている。また、雲仙岳についても主な火山として同様な形で取り上げている。 ○ 地形の用語についての説明は、山地、山脈、高原、平野、盆地、台地について、文字とイラスト図により行っている。その中で山地と平野については字体やフォントを変えて強調している。 <p>〈気候〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 四季の移り変わりの様子の写真（長野県の公園）を掲載している。 ○ 季節風に関しては、文字とイラスト図によって説明している。 ○ 我が国の気候区分については、日本地図を色分けしながらの6つに分け、それぞれ特徴について説明している。雨温図については新潟市と横浜市を掲載している。 ○ 学習のまとめについては、『日本の国土クイズ大会』を開こう」という小単元を設け、クイズの答えをつくることを通して、地形と気候の特色についてまとめている。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「日本の国土と人々の暮らし」の中の小単元「世界から見た日本」の中の項「日本の地形の特色」「四季のある日本の気候」「つゆと台風」「地域によってちがう気候」「季節風と暮らし」を通し、国土の地形と気候の概要について、計8ページで説明している。（写真、グラフ等13点） <p>〈地形〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の主な地形について示した地図をページの中心に掲載し、平地は17、山地は20、川や湖は16取り上げている。その中で2点（飛騨山脈、関東平野と利根川）の写真を掲載している。また、主な火山の位置についても地図上で示している。 ○ 地形の用語についての説明は、山地（山脈、高地、高原）と平地（平野、盆地、台地）の二つに分類した上で、文字とイラスト図により行っている。 ○ 「日本の火山」といったコラムを掲載している。その中で火山が農作物や住宅等

に大きな被害を与えている一方、火山によってできた湖や温泉が人々の憩いの場所になっていることを説明している。

〈気候〉

- 四季の移り変わりの様子の写真（岩手県の公園）を掲載している。
- 「1月の気温」の地図を掲載し、地域によって気候が違うことを示している。
- 季節風に関しては、用語の解説とイラスト図を使用し説明している。
- 我が国の気候区分については、日本地図を色分けしながらの6つに分け、それぞれの特徴について説明している。雨温図については新潟県と東京都を掲載している。
- 学習のまとめについては、地形と気候の概要をキャラクターがまとめた内容を読ませることにより行っている。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第5学年) 自然条件から見て特色のある地域の人々の生活

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 大単元「わたしたちの国土」の中の小単元「低い土地の暮らし」「高い土地の暮らし」「あたたかい土地の暮らし」「寒い土地の暮らし」発展単元「山地の人々の暮らし」「雪国の人々の暮らし」を通し、自然条件から見て特色のある地域の人々の暮らしについて、計38ページで説明している。</p> <p>（低地）</p> <p>○ 低地については、岐阜県海津市を取り上げている。</p> <p>○ 水害から暮らしを守るために長い年月をかけて治水を行ってきたこと、水屋を建てたこと、大型排水機場をつくったこと等を聞き取りやイラスト図、写真を通して説明している。</p> <p>○ 豊かな水を生かしながらも、埋め立てを行ったり、パイプラインを整えたり等の工夫を行うことで、耕地面積が広がり、水はけが良くなり、稲作や野菜等の生産がますます盛んになったことを説明している。</p> <p>○ 水を生かした生活が行われていることを地図や4点の写真（海津市にある高校のヨット部、木曾三川公園センターの展望タワー、輪中の暮らしや自然について学べる施設、川魚を使った料理）等を通し、説明している。</p> <p>○ まとめについては、堤防、治水、パイプライン、河川じきといった言葉を使い文章でまとめさせている。児童が書いたまとめも例示されている。</p> <p>（高地）</p> <p>○ 高地については、長野県川上村・南牧村を取り上げている。</p> <p>○ 溶岩と火山灰によるやせた土地を農業の盛んな土地にするために八ヶ岳のすそ野を切り開いたり、牛を飼って堆肥をつくったりしながら長い年月をかけて土地の改良を行ってきたこと等を、聞き取りやイラスト図、写真を通して説明している。</p> <p>○ 他の地域での生産が少ない夏から秋に高原野菜の収穫を行っていること、そのために日光を良く吸収し、気温の急激な変化などから野菜を守るシートを使っている等の工夫がされていることを取り上げ、夏の涼しい気候を生かした生産の工夫としている。</p> <p>○ 自然の恵みを生かし、酪農体験や移動教室が行われていること、そのために道路や公園の施設を整えていること等を取り上げ、聞き取りや4点の写真を通して説明している。</p> <p>○ まとめについては、酪農、高原野菜という言葉を活用し、川上村と南牧村の案内のためのスケジュール表を完成させることを通し、まとめさせている。</p> <p>（温暖多雨）</p> <p>○ 温暖多雨については、沖縄県沖縄島を取り上げている。</p> <p>○ 台風や水不足から暮らしを守るための工夫について伝統的な家のイラスト図と現在の家の写真を掲載し、読み取るようにしている。</p> <p>○ 暖かい気候にあったさとうきびづくりを取り上げ、さとうきび農家への聞き取りを通して説明している。また、砂糖作りの行程についても写真を使いながら説明している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「沖縄島とその周辺の土地利用」の地図「沖縄県にある米軍基地」の写真を掲載しながら、沖縄島で米軍の軍用地が広い面積を占めていることを説明している。 ○ 菊づくりを取り上げ、気候を生かし促成栽培、抑制栽培を行いながら値段が良い時期に出荷できるような工夫をしていることを説明している。また、観光についても取り上げ、2点の写真（ビーチと珊瑚礁）を掲載し、観光が盛んであることについても説明している。 ○ 「琉球舞踊」「首里城」「さんしん」「ヤンバルクイナ」「エイサー」の写真を掲載し、沖縄県が自らの豊かな自然や文化に誇りを持ち、大切に守っていることについて取り上げている。 ○ まとめについては、台風、特産物、促成栽培、抑制栽培、文化といった言葉を手がかりに沖縄県のくらしや産業について表にまとめることを通して、行っている。 〈寒冷多雪〉 ○ 寒冷多雪については、北海道十勝地方を取り上げている。 ○ 厳しい寒さからくらしを守るための工夫について、断熱材の使用や二重窓の設置などが示された家のイラスト図を掲載し、読み取るようにしている。 ○ 平地が広がり、夏も涼しい気候にあったじゃがいもづくり等を取り上げ、農家への聞き取りを通して説明している。また輪作についてイラスト図や写真を使いながら説明している。 ○ 「しばれフェスティバル」「バルーンマンション」の写真や「陸別町の浜田さんからの手紙」を掲載しながら、北海道には寒さを生かした楽しみや工夫があることを説明している。 ○ 先住民族であるアイヌの人々の伝統的な食事、踊り、住まい等についての写真を掲載し、現在でもアイヌの人たちがその文化のよさを多くの人たちに理解してもらおうと努力を続けていることについて取り上げている。 ○ まとめについては、自然条件、先住民族といった言葉を手がかりに北海道十勝地方のくらしや産業について表にまとめることを通して行っている。
<p style="text-align: center;">教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「わたしたちのくらしと国土」の中の小単元「自然条件と人々のくらし」を通し、自然条件から見て特色のある地域の人々のくらしについて、計32ページで説明している。 ○ 高地と温暖多雨については、表の中に言葉を入れさせたり、自分たちの地域と比較した短い文を書かせたりすることを通して、学習のまとめとしている。 〈低地〉 ○ 低地については、新潟県白根郷を取り上げている。 ○ 水害からくらしを守るために堤防作ってきたこと、排水のためのポンプ場をつくったこと等をイラスト図、写真を通して説明している。 ○ 豊かな水や土を生かしながら果物作りや稲作がさかんなこと、余分な水を排水するしくみや川の急な増水を防ぐ「田んぼダム」の取組等について聞き取りや写真地図資料、イラスト図を通し、説明している。 ○ 長い年月をかけて、分水路を建設する等を行い、水害と戦ってきたことを「昔の信濃川での稲刈りの様子」の写真や「大河津分水路と信濃川」の写真を掲載し、2ページかけて説明している。 ○ 「囲い土手」「水倉」等の伝統的な低地のくらしの工夫についてコラムに取り上げている。 〈高地〉

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高地については、長野県野辺山原を取り上げている。 ○ 他の地域での生産が少ない夏に葉物の野菜の収穫を行っていること、そのために年ごとに生産するものを植え替える等の工夫がされていることを取り上げている。また、涼しい気候を生かし、暑さに弱い牛の飼育を行っていることも取り上げている。 ○ 長い年月をかけて、荒地を開拓し、土地の改良を進めてきたことを「土地の開拓が始まったころの野辺山原の様子」の写真や「開拓される前の野辺山原に広がる草原」の写真等を掲載し、2ページかけて説明している。 (温暖多雨) ○ 温暖多雨については、沖縄県を取り上げている。 ○ 台風や水不足からくらし守るための工夫について伝統的な家のイラスト図と写真、現在の家の写真を掲載し、読み取るようにしている。 ○ 暖かい気候にあったさとうきびづくりを取り上げ、さとうきび農家への聞き取りを通して説明している。また、もずくの生産もさかんであり、特産品であることをグラフや写真で説明している。 ○ かつて琉球王国であったこと、そこでの独自の文化が今でも観光を通して触れることができること、さんごや海などの美しい自然を未来に残していく大切さについて取り上げられている。 ○ 「沖縄島の土地利用」の地図、「住宅地のそばにある、アメリカ軍の飛行場」の写真に掲載しながら、沖縄島で米軍の軍用地が広い面積を占めていること、コラムの中でアメリカ軍と日本軍の戦闘で12万人の以上の方が亡くなったことについて言及している。 (寒冷多雪) ○ 寒冷多雪については、北海道を取り上げている。 ○ 厳しい寒さからくらし守るための工夫について、断熱材の使用や二重窓の設置などが示された家のイラスト図や写真（札幌市の住宅地、二重窓）を掲載し、読み取るようにしている。 ○ 夏も涼しい気候にあった酪農を主に取り上げ、酪農家への聞き取りを通して説明している。さらにほたての養殖について、聞き取りと写真を通じて説明している。 ○ 観光客が自然やスキー、「雪まつり」をめあてに多く訪れていることを取り上げている。 ○ ロシアとの住民どうしの交流が進められている反面、北方領土の問題についての解決がなされていないことについてコラムの中で言及している。 ○ アイヌの人たちの説明が発展的学習の内容として2ページでされている。
<p style="text-align: center;">光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元「地形の特色と人々のくらし」「気候の特色と人々のくらし」を通し、自然条件から見て特色のある地域の人々のくらしについて、計30ページで説明している。 ○ 和歌山県田辺市での山地のくらし、長野県飯山市の雪の多い地域のくらしを共通して学ぶ単元として、取り上げている。 ○ これらのまとめについては、それぞれ、自分の地域と比較した図を書くこと、地域を紹介するパンフレットを作ることで行っている。 (低地) ○ 低地については、岐阜県海津市を取り上げている。 ○ 水害からくらしを守るために輪中を作ってきたことや治水工事をして川の流れを整備したこと、稲作の生産性を高めるために堀田や排水施設を作ってきたことを取り上げ、2ページで説明している。

	<p>〈高地〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高地については、長野県原村を取り上げている。 ○ 高地の自然条件を生かし、他の地域では作れない時期にセロリの生産を行っていることを取り上げ、2ページで説明している。 <p>〈温暖多雨〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖多雨については、沖縄県を取り上げている。 ○ 台風や水不足から暮らしを守るための工夫について伝統的な家のイラスト図と写真、現在の家の写真を掲載し、読み取るようにしている。 ○ 聞き取りの中で、水不足の解消のため、「海水淡水化センター」「地下ダム」が作られていることを取り上げている。 ○ 暖かい気候にあったさとうきびづくりを取り上げ、農場協同組合への聞き取りを通して説明している。 ○ 海などの美しい自然や琉球王国からの文化、現在もアメリカの軍用地に広大な土地が使われていることを1ページで説明している。 <p>〈寒冷多雪〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寒冷多雪については、北海道旭川市を取り上げている。 ○ 寒さを防ぐ家のつくりや除雪の苦勞、雪を生かしたイベントについて取り上げ、1ページで説明している。
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「日本の国土と人々の暮らし」の中の小単元「さまざまな土地の暮らし」を通し、自然条件から見て特色のある地域の人々の暮らしについて、計26ページで説明している。 ○ まとめについては、取り上げた2つの地域を比較するシートを書かせることにより行っている。児童が書いたまとめも例示されている。 <p>〈低地〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低地については、岐阜県海津市を取り上げている。 ○ 輪中ができた歴史的経緯についてイラスト図を使い説明している。 ○ 水害の被害状況から、暮らしを守るために長い年月をかけて治水を行ってきたこと、水屋を建てていたこと写真等を通して説明している。 ○ 長い間輪中の中に水がたまり、水はけが悪くなった問題を、排水ポンプを使うことで解決し、大規模な米作りができるようになったことを取り上げている。 ○ 水防倉庫を建てたり、水防訓練が行われたりしていることを取り上げている。 ○ 木曾三川公園の写真や、ボートの試合の写真等を掲載し、水や自然を楽しむ場所が建設されていることを取り上げている。 <p>〈高地〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高地については、群馬県嬬恋村を取り上げている。 ○ 涼しい気候を生かしてキャベツ作りを行っていること、スキーや温泉等をめあてに多くの観光客が訪れていることを写真やグラフを使い2ページでまとめている。 <p>〈温暖多雨〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温暖多雨については、沖縄県を取り上げている。 ○ 台風や水不足から暮らしを守るための工夫について伝統的な家のイラスト図と現在の家の写真を掲載し、比較しながら読み取るようにしている。 ○ 聞き取りの中で、水不足の解消のため、ダムや地下ダムが作られていることを取り上げている。 ○ 暖かい気候にあったさとうきびづくりを取り上げ、さとうきび農家への聞き取りを通して説明している。また、塩害を防ぐ防風林についても写真を使いながら説明している。 ○ 暖かい気候を生かし、費用が比較的少なく、有利な条件で出荷できる菊作りを取り上げている。 ○ 琉球王国であったころからの独自の文化や美しい自然を生かした観光を、環境とのバランスの上で考えていくことの必要性について説明している。 ○ コラムの中で沖縄とアメリカ軍基地について取り上げられ、広い土地が軍用地と

して使用されていること、アメリカ軍の兵士が起こす事件等の問題を抱えていることについて言及している。

〈寒冷多雪〉

- 寒冷多雪については、北海道旭川市を取り上げている。
- 厳しい寒さから暮らし守るための工夫について、断熱材の使用や二重窓の設置などが示された家のイラスト図を掲載し、読み取るようにしている。
- 雪解け水と広い平地、涼しい気候を利用し、他の地域では作れない野菜や農薬や化学肥料を減らした野菜作りを行っていることについて説明している。
- 観光客が自然やスキー、「雪まつり」をめぐって多く訪れていることについて取り上げている。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第5学年) 環境保全や自然災害の防止についての記述

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「わたしたちの生活と環境」を通し、環境保全や自然災害の防止について、計 38 ページで説明している。 〈森林資源の育成と保護〉 ○ 青森県と秋田県にまたがる白神山地の事例を取り上げ、天然林であるブナの林の働きについて理解させている。 ○ 京都府京都市の北山杉の事例を取り上げ、生産組合の方に聞き取りをすることで、林業を通じた森林の利用について理解させている。 ○ 森林新聞を書くことで学習のまとめを行っている。 〈自然災害の防止〉 ○ 東日本大震災からの例から、近年に起きた我が国の自然災害の発生状況についての資料を読み取り、そこから自然災害から人々を守るための国や地域の取組、自然災害から身を守るために地域でできることについて調べている。さらに、岩手県釜石市を取り上げ、防災教育の取組を行っていることを紹介している。 ○ コラムの中で、江戸時代の津波から人々を救った濱口梧陵を取り上げている。 ○ 自然災害からわたしたちの生活を守るための取組についてカードにまとめる等を通し学習のまとめを行っている。 〈公害の防止〉 ○ 鴨川を取り上げ、鴨川が汚れた理由や鴨川をきれいにするための努力について調べている。 ○ 鴨川の環境を守るための取組について調べている。 ○ 京都議定書に触れ、京都市や市民が取り組んでいる活動について調べている。 ○ 様々な立場から鴨川をきれいにする取組について話し合うこと等を通し、学習のまとめをさせている。 ○ 発展学習として4大公害病について取り上げている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「国土の自然とともに生きる」を通し、環境保全や自然災害の防止について、計 40 ページで説明している。 〈森林資源の育成と保護〉 ○ 秋田県能代市の事例を取り上げ、森林のイラスト図から森林資源の役割について読み取らせたり、森林の保全方法について林業に携わる人に聞き取りをしたりしながら、森林を守る必要性について理解させている。 ○ コラムの中でナショナル・トラスト運動を取り上げ、森林を開発から守る運動について紹介している。 ○ 緑のダム、人工林、林業をキーワードに学習のまとめを行っている。 〈自然災害の防止〉 ○ 東日本大震災をきっかけに我が国の自然災害の発生状況について調べている。そこから自然災害からくらしを守るために国や都道府県等の防災計画に基づかれた取組について調べている。さらに、コラムの中で大船渡市での津波の歴史を伝える劇を取り上げ、劇や地域でのさまざまな教えを生かして自然災害から身を守る例とし

	<p>て紹介している。(8ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害による被害を減らすために国々都道府県等による公助だけでなく、自分の身は自分で守ること(自助)、同じ地域に住む人々どうして助けあうこと(共助)を考える必要性があると説明している。 ○ 自然災害、防災、公共事業、減災、自助・共助・公助をキーワードに学習のまとめを行っている。 (公害の防止) ○ 北九州市の人々が公害を防ぐために長年にわたって取り組み、きれいな海や空を蘇らせたことについて調べさせている。 ○ 公害を乗り越えた北九州市の人々が環境首都を目指して取り組んでいることについて取り上げ、その内容を調べさせている。 ○ 北九州市の「エコタウン」を取り上げ、資源の再利用について、リサイクル工場を見学したり聞き取りをしたりしている。 ○ コラムの中で4大公害病について取り上げている。 ○ 公害防止条例、国際協力、高度経済成長をキーワードに学習のまとめをさせている。
<p style="text-align: center;">光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「人と自然が共に生きる国土」を通し、環境保全や自然災害の防止について、計38ページで説明している。 (森林資源の育成と保護) ○ 和歌山県みなべ町の事例を取り上げ、林業や炭作りに携わる人に聞き取りをしながら、森林を守る必要性について理解させている。 ○ コラムの中でナショナル・トラスト運動を取り上げ、和歌山県田辺市の森林が開発から守られていることについて紹介している。 ○ 学習を通じてお世話になった人への手紙を書くことで学習のまとめを行っている。 (自然災害の防止) ○ 近年に起きた我が国の自然災害の発生状況についての資料を読み取り、そこから自然災害から命と暮らしをまもるにはどうしたらよいかについて調べている。その中で国や地域の取組について説明している。 ○ 「東日本大震災が教えるもの」と題して、岩手県釜石市を取り上げ、釜石小学校の取組を紹介し、一人一人が自分で命を守るための防災教育の取組がなされていることを紹介している。自然災害から命や暮らしを守るために「今、自分たちにできること」について話し合うことで学習のまとめを行っている。(10ページ) (公害の防止) ○ 水俣病について取り上げ、発生の原因や被害、今日までの取組について調べさせている。 ○ 身近な環境から、自分たちが公害を防ぐための取組について考えさせている。 ○ コラムの中で地盤地下や土の汚れ等のさまざまな公害について取り上げている ○ 「わたしたちの環境宣言」を作ることによって学習のまとめをさせている。 ○ 選択単元として三重県の四日市で起きた公害について取り上げている。
<p style="text-align: center;">日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元「国土の環境を守る」を通し、環境保全や自然災害の防止について、計48ページで説明している。 (森林資源の育成と保護) ○ 高知県四万十市の事例を取り上げ、森林のイラスト図から森林資源の役割について読み取らせたり、森林の保全方法について林業に携わる人に聞き取りをしたりし

ながら、森林を守る必要性について理解させている。

- 「自然を守る取り組み」の項の中でナショナル・トラスト運動を取り上げ、埼玉県
の狭山丘陵の森林が開発から守られていることについて紹介している。
- 新聞にまとめることで学習のまとめを行っている。
〈自然災害の防止〉
- 自然災害の年表や写真をきっかけに我が国の自然災害の発生状況について調べて
いる。そこから自然災害がくらしや産業にどのような影響をあたえるのかについて
調べている。さらに被害を防ぐための施設を建てたりや防災情報を発信したりする
ことによる、国や都道府県の努力について調べさせている。コラムの中で福島第一
原子力発電所の事故について言及している。(16 ページ)
- 自分の身は自分で守ること(自助)、同じ地域に住む人々どうして助けあうこと
(共助)の取組例を紹介している。
- コラムの中で災害時に我が国の人々が決まりを守り、冷静に行動している例を紹
介している。
- 自然災害から命やくらしを守るためにどんな備えをしたらよいかを考えること
で学習のまとめを行っている。
〈公害の防止〉
- 三重県四日市で起きた公害について取り上げ、公害に苦しむ人々が立ち上がり、
きれいな空を取り戻していった経過について調べさせている。
- 公害を乗り越えた四日市市の人々が環境先進都市を目指して取り組んでいること
について取り上げ、その内容を調べさせている。
- コラムの中で4大公害病について取り上げている。
- 産業の発展と生活の仕方での大切な事は何かについて話し合うことで学習のまとめ
をさせている。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第6学年) 世界文化遺産の記述及び掲載されている世界文化遺産

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真の表題に括弧書きで世界文化遺産と記している。 ○ 本文中に世界遺産の説明を行なっている。 〈世界文化遺産と明記され掲載〉 ○ 法隆寺, 正倉院, 唐招提寺, 熊野古道, 平等院鳳凰堂, 中尊寺金色堂, 厳島神社, 金閣, 銀閣, 石見銀山, 日光東照宮の陽明門, 富岡製糸場, 原爆ドーム 〈世界文化遺産と明記されていないが掲載〉 ○ 東大寺と大仏, 龍安寺の石庭, 姫路城, 首里城, 中城城のアーチ門, 白川郷
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページに国宝, 重文と共に世界遺産のマークとその説明について書かれている。 ○ 写真の表題に世界遺産のマークを付けている。 〈世界文化遺産と明記され掲載〉 ○ 法隆寺, 唐招提寺, 正倉院, 厳島神社, 中尊寺金色堂, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭, 日光東照宮, 富岡製糸場, 原爆ドーム 〈世界文化遺産と明記されていないが掲載〉 ○ 東大寺の大仏
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の進め方のページに世界遺産と国宝のマークを紹介している。 ○ 写真の表題に世界遺産のマークを付けている。 ○ 巻末の見開き2ページに日本の世界遺産が紹介されている。 〈世界文化遺産と明記され掲載〉 ○ 法隆寺地域の仏教建造物(法隆寺と回廊), 古都奈良の文化財(東大寺大仏殿, 東大寺の大仏, 正倉院), 古都京都の文化財(平等院鳳凰堂, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭), 厳島神社, 日光の社寺(日光東照宮の陽明門), 原爆ドーム, 姫路城, 白川郷・五箇山の合掌造り集落, 石見銀山とその文化的景観, 平泉仏国土を表す建築・庭園, 琉球王国のグスク及び関連遺産群, 紀伊山地の霊場と参詣道, 富士山一信仰の対象と芸術の源泉, 富岡製糸場と絹産業遺産群, 明治の産業革命遺産
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次のページに国宝, 世界遺産のマークとその説明について書かれている。また日本の世界文化遺産について紹介している。 ○ 写真の表題に世界遺産のマークを付けている。 ○ 世界文化遺産についての説明が, 本文中にされている。 ○ 世界文化遺産を守るために行われてきた取組が2ページで紹介されている。 〈世界文化遺産と明記され掲載〉 ○ 姫路城, 白川郷, 熊野参詣道, 中尊寺, 法起寺, 清水寺, 平城宮跡, 石見銀山遺跡, 富士山, 法隆寺, 東大寺の大仏殿, 東大寺の大仏, 正倉院, 厳島神社, 金閣, 銀閣, 龍安寺の石庭, 日光東照宮, 首里城, 原爆ドーム, 富岡製糸場, 端島炭鉱

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	(第6学年) 歴史上の人物の扱い及び事例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>学習指導要領に例示されている42名はすべて扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中に氏名と欄外に画像 (31名) 聖徳太子, 聖武天皇, 行基, 鑑真, 藤原道長, 紫式部, 清少納言, 平清盛, 源頼朝, 源義経, 北条時宗, 足利義満, 足利義政, 雪舟, 織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康, 徳川家光, 近松門左衛門, 歌川広重, 本居宣長, 杉田玄白, ペリー, 西郷隆盛, 大久保利通, 木戸孝允, 板垣退助, 陸奥宗光, 東郷平八郎, 小村寿太郎, 野口英世 ○ 本文中に氏名 (5名) 中大兄皇子, 中臣鎌足, 明治天皇, 大隈重信, 伊藤博文 ○ 欄外の囲み記事に氏名と画像 (3名) ザビエル, 伊能忠敬, 福沢諭吉 ○ 欄外の囲み記事に氏名 (2名) 卑弥呼, 小野妹子, ○ 脚注に氏名と画像 (1名) 勝海舟 <p>※ 歴史上の人物の事例 伊藤博文 (本文抜粋) 「政府の中心的人物であった伊藤博文は、皇帝の権力が強いドイツの憲法を学んで帰国しました。伊藤はまず行政を担当する内閣制度をつくり、明治天皇から初代の内閣総理大臣に任じられると、憲法をつくる仕事に力を注ぎました。」</p>
教出	<p>学習指導要領に例示されている42名はすべて扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中に氏名と欄外に画像 (27名) 聖徳太子, 聖武天皇, 鑑真, 藤原道長, 平清盛, 源頼朝, 源義経, 足利義満, 足利義政, 雪舟, 織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康, 徳川家光, 近松門左衛門, 歌川広重, 本居宣長, 杉田玄白, ペリー, 西郷隆盛, 大久保利通, 木戸孝允, 板垣退助, 大隈重信, 伊藤博文, 陸奥宗光, 小村寿太郎, ○ 本文中に氏名 (8名) 小野妹子, 中大兄皇子, 中臣鎌足, 紫式部, 清少納言, 北条時宗, 明治天皇, 東郷平八郎 ○ 欄外の囲み記事に氏名と画像 (5名) 行基, ザビエル, 伊能忠敬, 福沢諭吉, 野口英世 ○ 欄外の囲み記事に氏名 (1名) 卑弥呼 ○ 脚注に氏名と画像 (1名) 勝海舟 <p>※ 歴史上の人物の事例 伊藤博文 (本文抜粋) 「政府は、伊藤博文を中心に、皇帝の権力が強いドイツの憲法を参考にして、憲法づくりを進めました。」 (写真の注釈) 「長州藩 (山口県) に生まれた伊藤は、岩倉使節団の一員として西洋の国々を視察しました。1882年には憲法今議会の調査のためにヨーロッパにわたり、1885年、内閣総理大臣に就任しました。」</p>
光村	<p>学習指導要領に例示されている42名はすべて扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中に氏名と脚注に画像 (30名)

	<p>聖徳太子, 聖武天皇, 行基, 藤原道長, 平清盛, 源頼朝, 源義経, 北条時宗, 足利義満, 足利義政, 雪舟, 織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康, 徳川家光, 近松門左衛門, 歌川広重, 本居宣長, 杉田玄白, 伊能忠敬, ペリー, 西郷隆盛, 大久保利通, 木戸孝允, 板垣退助, 大隈重信, 伊藤博文, 陸奥宗光, 小村寿太郎, 野口英世</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中に氏名 (7名) 小野妹子, 中大兄皇子, 中臣鎌足, 紫式部, 清少納言, 明治天皇, 東郷平八郎 ○ 欄外の囲み記事に氏名と画像 (4名) 鑑真, ザビエル, 勝海舟, 福沢諭吉 ○ 欄外の囲み記事に氏名 (1名) 卑弥呼 <p>※ 歴史上の人物の事例 伊藤博文 (本文抜粋) 「政府は, 伊藤博文をヨーロッパに送り, 各国の憲法や政治の仕組みを調べさせました。帰国した伊藤は, 皇帝の権力が強いドイツの憲法を手本にして, 憲法案をまとめました。」 (写真の注釈) 「長州藩 (山口県) 出身。内閣の制度をつくり, 天皇より初代の内閣総理大臣に任命されました。」</p>
<p>日文</p>	<p>学習指導要領に例示されている 42 名はすべて扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中に氏名と脚注に画像 (30 名) 聖徳太子, 聖武天皇, 行基, 鑑真, 藤原道長, 平清盛, 源頼朝, 源義経, 北条時宗, 足利義満, 足利義政, 雪舟, 織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康, 徳川家光, 近松門左衛門, 歌川広重, 本居宣長, 杉田玄白, 伊能忠敬, ペリー, 明治天皇, 西郷隆盛, 大久保利通, 木戸孝允, 板垣退助, 大隈重信, 伊藤博文, 野口英世 ○ 本文中に氏名 (6名) 小野妹子, 中大兄皇子, 中臣鎌足, 紫式部, 清少納言, 東郷平八郎 ○ 欄外の囲み記事に氏名と画像 (6名) 卑弥呼, ザビエル, 勝海舟, 福沢諭吉, 陸奥宗光, 小村寿太郎 <p>※ 歴史上の人物の事例 伊藤博文 (本文抜粋) 「政府は, 国会開設に備えて伊藤博文らをヨーロッパに送り, ドイツなどの憲法を調べさせました。帰国した伊藤は, 内閣の制度をつくり, 初代総理大臣となりました。そして伊藤が中心となって, 憲法草案をつくりました。」 (写真の注釈) 「長州藩 (山口県) の農家に生まれ, 幕府をたおす運動に参加しました。大久保利通の死後は, 政府の中心的存在になりました。」</p>

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方 法	(第3・4学年) 47都道府県の学び方の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○知っている都道府県を地図帳でたしかめよう (下p128, 129) 地図帳などを使って、いろいろな都道府県の名産や特産品などを調べる。 ⇒中央に大きな日本地図を囲んで名所や特産品を並べている子どもたちの絵がかかれ、そのまわりに名産品や名所の写真が掲載されている。</p> <p>○日本地図を広げて (下p130, 131) ①地図を見て、自分が住んでいる県がどのあたりにあるかを確認する。 ②47ある都道府県について、名前と場所を確認する。 ③都道府県のカードを参考にしながら調べる。 ⇒p130には地方ごとに塗り分けられた日本地図, p131~135には都道府県のカード(13枚)が掲載されている。</p> <p>○都道府県の特産品 (下p132, 133) ⇒各地の特産品が日本地図を取り囲むように絵で紹介されている。また、都道府県カードも掲載されている(15枚)。</p> <p>○空から日本を見てみると (下p134, 135) ⇒日本地図を取り囲むように都道府県カード(18枚)が掲載されている。</p>
教出	<p>○日本の都道府県の区分 (下p108, 109) ⇒単元「わたしたちの県のまちづくり」の冒頭に掲載 ⇒「宮島」を紹介している 『宮島という所に行ったことがあるよ。何県にあり、ぼくの住む県から見て、どの位置にあるかな。』 ⇒都道府県の名前をあてるクイズをつかって、友だちとやってみる活動が入っている。</p>
光村	<p>○単元「いいところいっぱい、わたしたちの県」の冒頭部分 (下p100, 101, 102, 103) ⇒3ページ分にわたって日本地図が描かれ、その周りに各都道府県の名産や名所のイラストが掲載されている。 ⇒文章による説明はない。 ⇒「47都道府県」という言葉も掲載されていない。</p>
日文	<p>○47都道府県ぬり絵マップ (上※4, 5) 学習している時やくらしのなかの様々な場面で都道府県の名前が出てきたら、次のページの白地図に色をぬる。</p> <p>○知っている都道府県がどれくらいあるだろう (下p12, 13) 白地図に都道府県の名前を書き入れ、色をぬる。 ①自分たちの住む都道府県 ②自分たちの住む都道府県ととなりあっている都道府県 ③自分たちが行ったことがあったり、知っていたりする都道府県 ④地図帳にのっている農産物や工業製品のグラフから、次の作物や製品を選び、その生産量が最も多い都道府県を調べて地図に表す。(米 みかん 鉄鋼)</p> <p>○都道府県を使った問題をつくってみよう (下p14, 15) ①名前に「山」のつく都道府県を探す。 ②名前に「川」のつく都道府県を探す。 ③海に面していない都道府県を探す。</p>

④都道府県が何かの形に見えるか考える。

⑤県名でしりとりを試みる。

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方 法	(第5学年) 世界の主な大陸と海洋及び世界の主な国の名称と位置

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○世界の中の国土 (上 p 4, 5)</p> <p>⇒地球儀の絵 (5つ) の中心にそれぞれ「アフリカ大陸」「ユーラシア大陸」「オーストラリア大陸, 南極大陸」「南アメリカ大陸」「北アメリカ大陸」が紹介されている。(大陸の名前は書きこみになっている)</p> <p>⇒p 4の下に海洋の名前 (太平洋, 大西洋, インド洋) が書き込める地図がある。</p> <p>○世界の国々とわが国の位置 (上 p 6, 7)</p> <p>⇒2ページにわたって, 世界地図の周りに世界の国々の名前が国旗と写真とともに掲載されている。</p> <p>⇒掲載されている国は, 日本, イギリス, フランス, ドイツ, ロシア, 中国, 韓国, アメリカ, カナダ, ブラジル, アルゼンチン, ニュージーランド, オーストラリア, インド, サウジアラビア, トルコ, 南アフリカ, エジプト</p> <p>○日本の国土の広がり と 領土 (上 p 8, 9)</p> <p>⇒日本とその周辺の国々の名前が掲載されている。</p> <p>⇒掲載されている国は, モンゴル, ロシア, 北朝鮮, 中国, 韓国, ベトナム, フィリピン</p> <p>○水産業等のグラフ上の記載例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上 p 9 2 主な国の一人一年当たりの魚や貝の消費量 ⇒日本, ノルウェー, フランス, 中国, ロシア, アメリカ ・上 p 1 1 3 日本と主な国の食料自給率 ⇒カナダ, フランス, アメリカ, イギリス, 日本 ・下 p 2 7 製鉄所で使う鉄鉱石の輸入先 ⇒オーストラリア, ブラジル, フィリピン, インド ・下 p 2 7 製鉄所で使う石炭の輸入先 ⇒オーストラリア, カナダ, ロシア ・下 p 2 8 鉄鉱石の主な輸入先と鉄鋼の主な輸出先 ⇒オーストラリア, ブラジル, 南アフリカ, カナダ, チリ, 韓国, 中国, 台湾, タイ, アメリカ ・下 p 2 8 主な国の鉄鋼の輸出量 ⇒中国, 日本, 韓国, ドイツ, イタリア, フランス ・下 p 5 2 主な輸入品の輸入本目手国 ⇒カナダ, アメリカ, ブラジル, ロシア, サウジアラビア, カタール, マレーシア, インドネシア, オーストラリア, アラブ首長国連邦, 南アフリカ ・下 p 5 4 主な輸出品の輸出相手国 ⇒アメリカ, 韓国, 中国, 台湾, ホンコン, タイ, シンガポール, オーストラリア, アラブ首長国連邦, サウジアラビア, オランダ, ドイツ ・下 p 5 5 日本の自動車会社の組み立て工場と主な部品工場 ⇒インド, タイ, フィリピン, マレーシア, インドネシア ・下 p 1 0 2 世界各国の国土にしめる森林のわりあい ⇒日本, フィンランド, ロシア, アメリカ, 中国, オーストラリア, 南アフリカ ・下 p 1 2 1 国別の二酸化炭素排出量 ⇒中国, アメリカ, インド, ロシア, 日本, ドイツ, 韓国, カナダ ・下 p 1 2 1 国別の一人当たりの二酸化炭素排出量 ⇒オーストラリア, サウジアラビア, ブルネイ, アメリカ, カナダ, 韓国, ロシア, 台湾, 日本
教出	<p>○世界を一周してみよう (上 p 6~9)</p> <p>⇒p 7には, ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, インド洋を紹介し, 各国が写真で掲載されている。掲載されている国は, イギリス, フラ</p>

	<p>ンス、ドイツ、ロシア、中国、タイ、インド、サウジアラビア、エジプト、ガーナ、南アフリカ、オーストラリア</p> <p>⇒p 8には、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸、太平洋、大西洋を紹介し、各国が写真で掲載されている。掲載されている国は、カナダ、アメリカ、メキシコ、ペルー、ブラジル、アルゼンチン</p> <p>○日本の領土と周りの国々（上p 10, 11）</p> <p>⇒日本とその周辺の国々の名前が掲載されている。</p> <p>⇒掲載されている国は、モンゴル、ロシア、北朝鮮、中国、韓国、フィリピン</p> <p>○水産業等のグラフ上の記載例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上p 132 日本の自動車の主な輸出先 ⇒ドイツ、イギリス、フランス、ロシア、中国、カナダ、アメリカ、タイ、マレーシア、インドネシア、オマーン、アラブ首長国連邦、南アフリカ、サウジアラビア、オーストラリア、メキシコ、チリ、台湾、オマーン ・上p 135 世界に広がる日本の自動車工場と、現地での生産台数 ⇒カナダ、アメリカ、メキシコ、コロンビア、ベネズエラ、エクアドル、ブラジル、アルゼンチン、ロシア、トルコ、ハンガリー、チェコ、オランダ、イギリス、フランス、スペイン、ポルトガル、中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、パキスタン、バングラデシュ、イラン、オーストラリア、エジプト、ケニア、モーリシャス、ジンバブエ、南アフリカ、モロッコ、チュニジア、ミャンマー ・上p 137 日本の主な貿易相手先 ⇒アメリカ、中国、韓国、台湾、ホンコン、タイ、マレーシア、インドネシア、アラブ首長国連邦、サウジアラビア、カタール、オーストラリア、ドイツ
光村	<p>○世界には、どんな国があるのかな。（p 14, 15）</p> <p>⇒2ページにわたって世界地図が掲載され、ユーラシア大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸、太平洋、大西洋、インド洋の名前が載っている。そして、その周りを各国の国旗が取り囲むように掲載されている。（日本、アメリカ、カナダ、韓国、中国、ロシア、ブラジル、アルゼンチン、ニュージーランド、オーストラリア、ベトナム、タイ、南アフリカ、エジプト、サウジアラビア、フランス、ドイツ、イギリス）</p> <p>○どこからどこまでが日本なのだろう。（p 16, 17）</p> <p>⇒日本とその周辺の国々の名前が掲載されている。</p> <p>⇒掲載されている国は、モンゴル、ロシア、北朝鮮、中国、台湾、韓国、フィリピン</p> <p>○水産業等のグラフ上の記載例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p 100 バナナの輸入先 ⇒フィリピン、エクアドル ・ p 100 牛肉の輸入先 ⇒オーストラリア、アメリカ、ニュージーランド ・ p 103 主な国の食料自給率 ⇒オーストラリア、アメリカ、フランス、ドイツ、イギリス、韓国、日本 ・ p 133 鉄鋼製品の主な輸出先 ⇒韓国、中国、タイ、台湾、ベトナム、アメリカ、インドネシア、インド、マレーシア ・ p 148 主な原料や燃料の輸入先と輸入にたよる割合 ⇒カナダ、ブラジル、オーストラリア、ベトナム、タイ、マレーシア、インドネシア、サウジアラビア、カタール、アラブ首長国連邦、南アフリカ ・ p 150 主な工業製品の輸出と輸出先

	<p>⇒アメリカ, ロシア, オランダ, ドイツ, 韓国, 中国, タイ, オーストラリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p 1 5 0 日本の主な輸出相手国 ⇒アメリカ, 中国, 韓国, ホンコン, タイ, シンガポール, ドイツ, インドネシア, オーストラリア, 台湾 ・ p 1 5 2 日本が貿易している主な国 ⇒アメリカ, ブラジル, 韓国, 中国, 台湾, ホンコン, インドネシア, タイ, マレーシア, シンガポール, サウジアラビア, アラブ首長国連邦, ドイツ, イギリス, オーストラリア, ロシア ・ p 1 7 4 各国別の新聞発行部数 (1口当たり) ⇒中国, インド, 日本, アメリカ, ドイツ, イギリス, 韓国
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○三大洋と六大陸 (上 p 5) ⇒メルカトル図法で三大洋と六大陸の場所を説明している。 ○世界のさまざまな国々 (上 p 6, 7) ⇒2ページにわたって, 世界地図の周りに世界の国々の名前が国旗とともに掲載されている。 ⇒掲載されている国は, カナダ, アメリカ, ブラジル, チリ, 北朝鮮, 日本, 韓国, 中国, フィリピン, ベトナム, インド, サウジアラビア, オーストラリア, エジプト, 南アフリカ, フランス, ドイツ, イタリア, ロシア ○日本の位置とはんい (p 8, 9) ⇒日本とその周辺の国々の名前が掲載されている。 ⇒掲載されている国は, モンゴル, ロシア, 北朝鮮, 中国, 台湾, 韓国, フィリピン ○水産業等のグラフ上の記載例 ・ 上 p 4 4 日本の国土の範囲と排他的経済水域 ⇒モンゴル, ロシア, 北朝鮮, 中国, 台湾, 韓国, フィリピン ・ 上 p 7 1 おもな国の1人あたりの水産物の年間消費量 ⇒カナダ, アメリカ, ブラジル, チリ, 日本, 韓国, ロシア, 中国, インド, オーストラリア, モルディブ, アラブ首長国連邦, トルコ, エジプト, 南アフリカ, ノルウェー, アイスランド, ドイツ, スペイン, ポルトガル ・ 上 p 8 9 おもな食料の輸入先と輸入量のわりあい ⇒カナダ, アメリカ, ブラジル, チリ, 中国, タイ, フィリピン, オーストラリア ・ 上 p 9 0 おもな国の食料自給率のうつり変わり ⇒オーストラリア, カナダ, アメリカ, フランス, ドイツ, イギリス, 日本 ・ 上 p 9 1 おもな国の農林業などの従事者1人あたりの耕地面積 ⇒日本, 中国, ドイツ, アメリカ, オーストラリア ・ 上 p 1 0 4 りんごの輸出先 ⇒アメリカ, ロシア, 中国, タイ, 台湾, ホンコン, フィリピン, インドネシア, シンガポール, マレーシア ・ 下 p 1 7 見学した自動車会社の海外生産工場の分布 ⇒アメリカ, メキシコ, ブラジル, アルゼンチン, 中国, 台湾, フィリピン, ベトナム, タイ, インドネシア, マレーシア, インド, パキスタン, トルコ, イギリス ・ 下 p 3 4 おもな原料・エネルギー資源の輸入先 ⇒カナダ, アメリカ, ブラジル, ロシア, カタール, アラブ首長国連邦, サウジアラビア, マレーシア, インドネシア, オーストラリア, 南アフリカ ・ 下 p 3 7 日本の貿易額の多い国・地域 ⇒カナダ, アメリカ, メキシコ, ブラジル, 韓国, ロシア, ホンコン, 台湾, フィリピン, ベトナム, インドネシア, オーストラリア, 中国, アラブ首長国連邦, タイ, シンガポール, マレーシア, インド, クウェート, サウジアラビア, ドイツ, スイス, オランダ, イギリス, フランス, イタリア ・ 下 p 4 3 鉄をつくるときに必要なエネルギーの国別の比較 ⇒日本, 韓国, 中国, アメリカ, ロシア ・ 下 p 1 0 3 世界のおもな国の年間降水量

	⇒マレーシア, ブラジル, 日本, ナイジェリア, フランス, メキシコ, アメリカ, 中国, カナダ, オーストラリア, サウジアラビア
--	---

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方 法	(第5学年) 我が国の位置及び領土の記述

発行者	調査・研究内容									
東書	<p>○日本の国土の広がりや領土 (上p 8, 9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の周りには、韓国、北朝鮮、中国、ロシア、モンゴルなどの国がある」と紹介されている。 ・「領土」という言葉の意味を説明している。 ・日本の東西南北の端の島を写真入りで紹介している。 ・日本が、太平洋、日本海、東シナ海、オホーツク海に面していることを記載している。 ・「国土は、北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島と、沖縄島や択捉島をはじめとするたくさんの島々があり、南北に連なっている」と紹介されている。 ・領土をめぐる課題として、北方領土、竹島、尖閣諸島の領土問題をコラムで紹介している。 <p>※ コラム 領土をめぐる問題</p> <table border="0"> <tr> <td>北方領土</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>ロシア連邦が不法に占領</td> </tr> <tr> <td>竹島</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>韓国が不法に占領</td> </tr> <tr> <td>尖閣</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>中国が領有を主張</td> </tr> </table> <p>(参考) 歴史 コラム(6年上p 151)北方領土, 拉致問題</p>	北方領土	… 日本固有の領土	ロシア連邦が不法に占領	竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領	尖閣	… 日本固有の領土	中国が領有を主張
北方領土	… 日本固有の領土	ロシア連邦が不法に占領								
竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領								
尖閣	… 日本固有の領土	中国が領有を主張								
教出	<p>○日本の領土と周りの国々 (上p 10~13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とその周辺の国が写った衛星写真を載せ、各国の位置を紹介している。 ・日本の東西南北の端の島を写真で紹介している。 ・「日本は太平洋や日本海などに囲まれた島国」「本州、北海道、四国、九州の大きな島を中心に、およそ6800もの島からなっている」と紹介されている。 ・国旗に関する記載があり、自国や他国の国旗を尊重するように書かれている。 ・2ページにわたって、領土問題(北方領土、竹島、尖閣諸島)を記載している。 <p>※ 本文</p> <table border="0"> <tr> <td>北方領土</td> <td>… 日本の領土</td> <td>ロシア連邦が不法に占領</td> </tr> </table> <p>※ コラム 日本の固有の領土、竹島と尖閣諸島</p> <table border="0"> <tr> <td>竹島</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>韓国が不法に占領</td> </tr> <tr> <td>尖閣</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>中国が領有を主張</td> </tr> </table> <p>※ 中国の違法な侵入についても記載。 海上保安庁の説明も書かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「領土」という言葉の意味を説明している。 <p>(参考) 歴史 コーナー (6年上p 142, 143) 北方領土, 拉致問題</p>	北方領土	… 日本の領土	ロシア連邦が不法に占領	竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領	尖閣	… 日本固有の領土	中国が領有を主張
北方領土	… 日本の領土	ロシア連邦が不法に占領								
竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領								
尖閣	… 日本固有の領土	中国が領有を主張								
光村	<p>○どこからどこまでが日本なのだろう (p 16, 17)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本を中心とした地図に東京から半径500kmごとに赤い円が描かれている。 ・「日本は太平洋や日本海、オホーツク海、東シナ海に囲まれていること、たくさんの島から成り立っている」と記載されている。 ・日本の東西南北の端の島を写真で紹介している。 ・領土をめぐる課題として、北方領土、竹島、尖閣諸島の領土問題をコラムで紹介している。 <p>※ コラム 領土をめぐる問題</p> <table border="0"> <tr> <td>北方領土</td> <td>… 元から日本の領土</td> <td>ロシア連邦が不法に占領</td> </tr> <tr> <td>竹島</td> <td>… 日本固有の領土</td> <td>韓国が不法に占領</td> </tr> <tr> <td>尖閣</td> <td>… 日本の領土</td> <td>中国が領有を主張</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「地球儀を活用する」として、地球儀の使い方が紹介されている。 <p>(参考) 歴史 コラム(6年p 143) 北方領土, 竹島, 尖閣, 拉致問題</p>	北方領土	… 元から日本の領土	ロシア連邦が不法に占領	竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領	尖閣	… 日本の領土	中国が領有を主張
北方領土	… 元から日本の領土	ロシア連邦が不法に占領								
竹島	… 日本固有の領土	韓国が不法に占領								
尖閣	… 日本の領土	中国が領有を主張								
日文	○日本の位置とはんい (上p 8, 9)									

- ・日本を中心とした地図に東京から半径500kmごとに赤い円が描かれている。
- ・「日本は、北海道、本州、四国、九州の4つの大きな島と、沖縄島や淡路島など7000の島々からなりたっている」と紹介されている。
- ・「領土」という言葉の意味を説明している。
- ・日本は、ユーラシア大陸の東側にあり、北緯と東経の範囲が記載されている。
- ・日本が、太平洋、日本海、東シナ海、オホーツク海に面していることを記載している。
- ・日本と接している国は、韓国、中国、ロシアなどの国と記載されている。
- ・日本の東西南北の端の島を写真入りで紹介している。
- ・領土をめぐる課題として、北方領土、竹島、尖閣諸島の領土問題をコラムで紹介している。

※ コラム 領土をめぐる課題

北方領土 … 日本固有の領土 ロシア連邦が不法に占領

竹島 … 日本固有の領土 韓国が不法に占領

尖閣 … 日本固有の領土 中国が領有を主張

(参考) 歴史 学習資料(6年上p163)

北方領土、竹島、尖閣を写真入りで紹介

拉致問題は歴史で扱いなし

【社会】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方 法	(第6学年) 世界の中の日本の役割についての記述

発行者	調査・研究内容
東書	<p>☆世界の中の日本の役割に係る記述の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界の平和と安全を守る国際連合 (下94, 95) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「日本からも、国連の活動にかかわる人々が、年々増えてきています。」 ○国際紛争と平和 (下96, 97) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「戦争や紛争の予防や調停、復興支援などの活動に取り組んでいます。」 ⇒「国連の加盟国として、日本は、政治や経済の面でも、世界の平和を実現するための役割を果たすことが求められています。」 ⇒ (写真) 南スーダンで自動車整備を指導する国際協力機構の津山さん ⇒ (写真) 国連の平和維持活動に参加する自衛隊 ⇒ (写真) パキスタンの選挙で活動する日本の選挙監視団 ⇒ (写真) イラクで道路の補修工事を行う自衛隊 ⇒ (円グラフ) 日本の資金援助の国別の内訳 ○環境問題の解決に向けて (下98, 99) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「日本でも、環境悪化で苦しむ世界の国々へ出かけ、現地の人々と協力して環境保全に努めている人が大勢います。」 ○現地に根づいた支援 (p100, 101) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「日本にも、医療や環境など、専門性を生かした分野で活動している多くの団体があり、世界各地でいろいろな国際協力の活動を行っています。」 ⇒「青年海外協力隊は、日本のODAという国際協力の活動の一つです。自分の知識や技術を生かしたいという意欲を持った人たちが、アジア や アフリカ、中・南アメリカなどの発展途上の国々地域で活やくしています。」 ⇒ (写真) 洪水の緊急支援で医療活動を行う「AMDA」の人々 ⇒ (写真) 青年海外協力隊のリハビリの指導 ⇒ (写真) 青年海外協力隊の農作業の指導 ⇒ (地図) 青年海外協力隊の派遣国 <p>☆世界で活躍する日本人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○なでしこジャパン <ul style="list-style-type: none"> ⇒2011年のワールドカップで世界一にかがやき、東日本大震災で深い悲しみにつつまれていた日本や世界に向けて、大きな感動と勇気を与えた。 ○ユネスコの事務局長を務めた松浦さん ○トンガで現地の小学生に授業をする青年海外協力隊の水本さん ○アフリカ親善大使を務めた女優の鶴田真由さん <ul style="list-style-type: none"> ⇒「鶴田真由さんの話」として、親善大使としての活動の内容が書かれている。
教出	<p>☆世界の中の日本の役割に係る記述の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国際連合のはたらき (下68, 69) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「現在では、多くの活動費用を負担するなどして、国連の活動を支えています。」 ⇒ (円グラフ) 国連の活動費用の負担割合 ⇒「日本は、世界でゆいいつ原子爆弾の被害を受けた国として、国連でも、核兵器廃絶の大切さを世界に訴える取り組みを続けています。」 ⇒ (写真) 東ティモールで道路の補修工事を行う日本の自衛隊 ○交流の輪を広げる (下p72) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「日本の歌舞伎や能は、世界各地で公演が行われています。」 ⇒「日本の伝統的なスポーツである柔道は、多くの人々に親しまれ、オリンピックの競技種目にもなっています。」 ⇒ (写真) 歌舞伎のモナコ公演 ⇒ (写真) ロシアの子どもたちに柔道を指導する山下泰裕さん ○よりよい社会をともにひらく (下p74) <ul style="list-style-type: none"> ⇒「日本は、安全できれいな水を安定して供給するための井戸の建設や水道の

	<p>整備に協力しています。」</p> <p>⇒「JICAは、日本のODAの実施機関で、青年海外協力隊は、その中の事業の一つです。」</p> <p>⇒(写真)水道から出る水を喜ぶ子どもたち(カンボジア)</p> <p>⇒(地図)青年海外協力隊が活動している地域</p> <p>⇒(写真)稲の育ち具合を調べる青年海外協力隊(ブルキナファソ)</p> <p>○将来に向けて自分たちができることを考えよう(下p78)</p> <p>⇒「日本のJICAは、ブノンペン水道開発事業に計画の段階からたずさわって、施設の改修・整備に協力してきました。資金面での援助も行い、開発した施設を現地の人々が継続的に管理したり修理したりしていけるように、教育にも力を入れました。」</p> <p>⇒(写真)現地の職員に水質検査の指導をする日本の専門家</p> <p>☆世界で活躍する日本人</p> <p>○医師の中村哲さん(下p62~64)</p> <p>⇒パキスタンのペシャワールという町で、ハンセン病患者の治療に取り組んできた。</p> <p>⇒アフガニスタンで、安全な水を十分に確保するために、井戸を掘る活動を行った。また、大きな河川から用水路を引いて、より広い地域を緑化する活動に取り組んでいる。</p> <p>○黒柳徹子さん</p> <p>⇒ユニセフ親善大使になって、子どもたちへの支援の大切さを世界に人々に伝える役割を果たした。</p>
<p>光村</p>	<p>☆世界の中の日本の役割に係る記述の状況</p> <p>○今も続く紛争(p203)</p> <p>⇒(写真)地雷除去機を開発して、地雷の除去に取り組む日本の企業の人たち(アンゴラ)</p> <p>⇒(写真)難民問題に取り組む国連の日本人職員(ウガンダ)</p> <p>○日本が行っている協力活動について調べよう。(p204, 205)</p> <p>⇒「日本の政府は、発展途上国に対して、資金援助や技術協力を行っています。」</p> <p>⇒「青年海外協力隊は、その活動の一つです。教育、環境、保険などのさまざまな分野で、現地の人と生活をともにしながら、技術協力を行っています。」</p> <p>⇒(地図)青年海外協力隊が活動する地域と人数</p> <p>⇒(写真)すもうのけいこ(トンガ)</p> <p>⇒(写真)ごみの分別についての授業(ネパール)</p> <p>⇒(写真)けん玉を教える隊員(コロンビア)</p> <p>⇒(写真)稲刈りを手伝う隊員(セネガル)</p> <p>⇒(コラム)青年海外協力隊の竹内さんの話 国境なき医師団の道津さんの話</p> <p>○国際連合の働き</p> <p>⇒(円グラフ)国連で運営するために各国が分担しているお金の割合</p> <p>○日本各地に広がる国際協力の輪(p211)</p> <p>⇒熊本県芦北町では、カンボジアの学校建設に携わった</p> <p>⇒広島県広島市のANT-Hiroshimaの取り組みでは、国際協力活動や平和教育活動、平和文化交流などを取り組んでいて、パキスタンで平和に関する絵本を配布したり、学校を建てたりする活動を行っている。</p>
<p>日文</p>	<p>☆世界の中の日本の役割に係る記述の状況</p> <p>○スポーツや文化を通じた国際交流(下p75, 76)</p> <p>⇒「日本の伝統的な文化やスポーツである歌舞伎や文楽・相撲などのほかに、すしなどの日本食も、世界の人々に親しまれるようになりました。最近では、漫画が世界で高く評価されています。」</p> <p>○さまざまな国際協力(下p76~79)</p> <p>⇒「日本は、こうした国に対して、資金や技術の面で多くの援助をしている国の一つです。」</p> <p>⇒国境なき医師団「日本にも支部があり、2011年には、地震や伝染病などに</p>

よる被害を受けた22か国で活動しました。」

⇒ (写真) 中国で救助活動をおこなう日本の国際緊急援助隊

⇒ (写真) 台風の被害者への医療活動をおこなうAMDAの医師 (ミャンマー)

⇒ 「日本から学校の先生を、青年海外協力隊として派遣して、現地の先生に授業の教え方を教えたり、授業に必要ないろいろな用具などを日本の市民から集めて送ったりしています。」

⇒ (写真) 音楽を教える日本の教師

⇒ (円グラフ) 青年海外協力隊の活動のようす

⇒ 「日本は、進んだ農業技術を伝えたり、施設を整備したりする援助をおこなってきました。なかでも、飢えに苦しむ人が多くいるアフリカの国々には、稲作をさかんにするなどで援助をしています。」

⇒ (写真) 農業技術の指導をおこなう青年海外協力隊の隊員

☆世界で活躍する日本人

○明石 康さん

⇒日本人で初めて国連の職員になった人。

⇒国連の事務次長として、カンボジアや旧ユーゴスラビアの平和のために力を尽くす。

○山中 伸弥さん

⇒医師として研究に打ち込み、iPS細胞を発明した。

⇒この発明により、ノーベル生理学・医学賞を受賞した。

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④ 興味・関心を高めるための工夫
方 法	導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、絵や写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な問いや「めあて」の提示などで、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>興味・関心を高める問いの例</p> <p>○<第3・4学年>「わたしたちのまち みんなのまち」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を表した絵（見開き）を提示し、キャラクターが「みんなが住むまちと、にているところがあるかな。」と問いかけている。 ・「めあて」により「わたしたちのまちは、どのような様子なのでしょう。」と単元の学習のめあてを提示している。 <p>○<第5学年>「わたしたちの国土」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の衛星写真（片側観音開き）を提示し、キャラクターが「日本のまわりにはどんな国があるのかな。」「人はどこに住んでいるのかな。」「世界の大陸や海洋はどうなっているのだろう。」「日本の国土に住む人たちは、どのようなくらしをしているのだろう。」と問いかけている。 ・片側観音開きのページを開くと、大陸名、海洋名の記入欄を設けている。 ・「めあて」により「日本は、地球のどこにあり、人々のくらしは、どのようになっているのでしょうか。」と単元の学習のめあてを提示している。
教出	<p>導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きのページ構成により、絵や写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な問いや「学んでいこう」の提示などで、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>興味・関心を高める問いの例</p> <p>○<第3・4学年>「わたしたちの大好きなまち」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を表した絵（見開き）を提示し、キャラクターが「わたしたちのまちには、どんなものがあるかな。」と問いかけている。 ・「学んでいこう」により「わたしたちの住むまちや市は、どのような様子だろう。」と単元の学習のめあてを提示している。 <p>○<第5学年>「わたしたちのくらしと国土」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の衛星写真（見開き）を提示し、キャラクターがふきだして写真をみて気付いたことをつぶやいている。「日本は、大きな陸地となりにある島国だね。」「わたしの知っている外国は、どのあたりにあるのかな。」「地図と写真を比べると、陸地の形や大きさがちがって見えるね。」 ・「地球儀と地図を使い分けよう」と、それぞれの特徴を比較しながら示してある。 ・「学んでいこう」により「日本の国土にはどのような特色があるのだろう。また、国

	<p>土の特色は、日本に住んでいるわたしたちの暮らしと、どのような関わりがあるのだろう。」と単元の学習のめあてを提示している。</p>
光村	<p>導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、絵や写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、文章で単元の学習のめあてを提示し、学習への興味・関心を高めている。(3, 4年生では、キャラクターの問いかけがあわせて提示されている。)</p> <p>興味・関心を高める問いの例</p> <p>○<第3・4学年>「わたしたちのまちは、どんなまち」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のさまざまな場所に調べに出かけている様子の写真6枚を提示するとともに、2人の小学生の写真とふきだして「ぼくたちのまちのことを、もっと知りたいな。」「いろいろな人に会って、話を聞いてみたい。」と呼びかけている。 ・「わたしたちのまちには、どんな場所があり、どんな人がいるでしょう。場所によって、どんなちがいがあがあるでしょう。まち調べに出かけて、たしかめてみましょう。」と文章で単元の学習のめあてを提示している。 <p>○<第5学年>「日本の国土とわたしたちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2枚の日本の衛星写真(両側観音開き)を提示し、8月と2月の日本の様子を比べられるようになっている。 ・両側観音開きのページを開くと、「地図からわかる日本」として、交通網、地形、土地利用の3種類の地図を提示している。 ・「日本は、地形や場所、四季の移り変わりによって、自然の様子が変化する美しい国です。そして、それぞれの自然条件の中で生きる人々の暮らしがあります。日本の国土の様子や、さまざまな暮らしについて調べてみましょう。」と文章で単元の学習のめあてを提示している。
日文	<p>導入の工夫</p> <p>○大単元の導入において、見開きや観音開きのページ構成により、写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な問いや「学習のまど」の提示などで、学習への興味・関心を高めている。</p> <p>興味・関心を高める問いの例</p> <p>○<第3・4学年>「わたしたちの住んでいるところ」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を表した写真(見開き)を提示し、キャラクターが「学校の近くにあるスーパーマーケットだね。たくさんの人が、買い物に来るよ。」「わたしたちの学校だね。」「まちの人たちが音楽を楽しむためのしせつだよ。たくさんの人がりようしているよ。」「古くからある神社だよ。友だちとよく遊ぶところだよ。」「この広い道路にはたくさんの自動車が走っているよ。道路ぞいには、いろいろな店や会社がならんでいるよ。」と問いかけている。 ・「学習のまど」により「わたしたちが住んでいるまちや市には、どのようなものがあり、どのようなようすなのでしょう。まちを歩いて自分の目でたしかめたり、しりようを集めて調べたりして、まちや市のとくちょうや、場所によるようすのちがいを考えていきましょう。」と単元の学習のめあてを提示している。 <p>○<第5学年>「日本の国土と人々の暮らし」大単元の導入ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球の衛星写真(見開き)を提示し、キャラクターがふきだして写真をみて気付い

たことをつぶやいている。「茶色の部分はさぼくかな。海は、こんなに広いんだね。」
「いくつかの大きな陸地のかたまりがあるね。それぞれがちがった形をしているよ。」
「日本を見つけたよ。緑の部分が多いね。世界の陸地には、茶色や白っぽいところもあるね。」
「地球のようすをもっとくわしく調べてみるにはどうしたらいいのかな。」
・「学習のまど」により、「世界から見て、日本はどこにあり、世界にはどんな国があるのでしょうか。また、日本各地の土地のようすは、自分たちの地域と比べて、どんなところがちがうのでしょうか。日本やまわりの国々の位置、国土の地形や気候のようすを調べ、国土の自然とわたしたちのくらしや産業とのつながりを考えてみましょう。」と単元の学習のめあてを提示している。

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④ 興味・関心を高めるための工夫
方 法	呉市や広島県に関する記述

発行者	調査・研究内容
東書	<p>第5学年</p> <p><下>「わたしたちの生活と工業生産」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本各地でつくられた工業製品の例：呉市の造船所 5ページ <p><下>「情報化した社会とわたしたちの生活」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「新聞社の働き」：中国新聞 72～75ページ <p>第6学年</p> <p><上>「日本の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復元された遣唐使船の写真（呉市）37ページ ・厳島神社の写真（廿日市市）50ページ ・原爆ドームの写真（被爆前、被爆後）、原子爆弾投下後の広島のみちのまのの写真、平和記念資料館の館長さんの話、平和記念式典の写真 128～129ページ <p><下>「わたしたちの生活と政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和学習の街ヒロシマ」をたずねて、「平和への誓い」全文 5.2～5.3ページ
教出	<p>第3・4年生</p> <p><下>「わたしたちの県のまちづくり」大単元の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宮島という所に行ったことがあるよ。何県にあり、ぼくの住む県から見て、どの位置にあるかな。」：宮島 108～109ページ <p>第6学年</p> <p><上>「日本の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳島神社の写真（廿日市市）40ページ ・原子爆弾の被害を受けた広島のみちのまのの写真 131ページ ・「修学旅行で学ぶ原爆の被害と平和への願い」：被爆体験をもつ黒田さんの話等 133ページ <p><下>「暮らしの中の政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和記念式典の写真 34ページ <p><下>「世界の中の日本」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和記念式典で「平和の誓い」を読み上げる子ども代表の写真 76ページ
光村	<p>第3・4学年</p> <p><上>「昔っておもしろい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに昔からつたわる行事の例：壬生の花田植（北広島町）107ページ <p><下>「安全、安心、みんなの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「火事からまちを守る」：（尾道市、尾道市消防局）6～19ページ ・「安全なまちをみざして」：（尾道市、広島県警）24～35ページ <p><下>「いいところいっぱい、わたしたちの県」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界にほこる筆作り（熊野町）140ページ <p>第6学年</p> <p>「日本の歴史」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳島神社の写真（廿日市市）49ページ

	<ul style="list-style-type: none"> ・原爆ドームと灯籠流しの写真 122～123ページ ・原爆投下後の広島の写真, 原爆による広島市の被害の様子(図) 135ページ ・「焼け野原から平和都市をみざして」(広島市) 146～147ページ 「私たちの暮らしと政治」 ・原爆の子の像の写真(広島市) 177ページ
<p>日文</p>	<p>第3・4学年</p> <p><下>「安全な暮らしを守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふせごう, 交通事故や事件」: 福山市, 広島県警 82～91ページ <p>第6学年</p> <p><上>「日本のあゆみ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳島神社の写真(廿日市市) 44ページ <p><下>「わたしたちの暮らしと政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和記念式典のようすの写真, 平和記念式典で平和への誓いを読み上げる小学生の写真 30ページ

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	学び方のポイントとまとめの例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>学び方のポイント</p> <p>○3・4学年の上巻・下巻, 5・6学年の上巻に, 見開きで「学習の進め方」のコーナーを設け, 学習問題の作り方, 調べ方, まとめ方の例が具体的に示してある。学年の発達段階に応じた例を示している。</p> <p>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の流れが各ページに示してあり, 問題解決の流れを意識して学習を進めることができるようにしている。</p> <p>○「まなび方コーナー」を学習場面に応じて配列し, 学習技能を身に付けさせるとともに, 問題解決的な学習を進めることができるようにしている。</p> <p>まとめ方の例</p> <p>○<第3・4学年>「かわってきた人々の暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地いきにのこる古いものについて, れきしマップにまとめる。 <p>○<第5学年>「わたしたちの国土」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい(寒い)気候を生かした地方の暮らしや産業について, 「ことば」を参考にしながら, 表にまとめる。 <p>○<第6学年>「世界の中の日本」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題について調べてきたことを発表し合い, 日本と似ているところ・大きくちがうところを表に整理し, 意見文をつくる。 <p>【使用実績に関すること】</p> <p>各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の流れが示されることで単元を通して問題解決の流れを意識することができた。また, 1時間の授業においても見通しをもち取り組むことができた。</p>
教出	<p>学び方のポイント</p> <p>○各学年の上巻に, 見開きで「学習問題をつくり, 学習の見通しを立てよう」のコーナーを設け, 学習問題の作り方, 調べ方, まとめ方の例が具体的に示してある。学年の発達段階に応じた例が示している。</p> <p>○第3・4学年上巻の巻末にのみ, 「社会科ガイド」のコーナーを設け, 調べ方の例を具体的に示している。</p> <p>○「学びのてびき」を学習場面に応じて配列し, 学習技能を身に付けさせるとともに, 問題解決的な学習を進めることができるようにしている。</p> <p>まとめ方の例</p> <p>○<第3・4学年>「変わるわたしたちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具や暮らしが変わってきたのは, 人々のどのような知恵や願いがあったためなのか, 考えてノートに書く。 <p>○<第5学年>「わたしたちの暮らしと国土」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む地域と比べながら, 気候や地形に特色のある地域の様子を短い文でノートに書き表す。 <p>○<第6学年>「世界の中の日本」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての人が安心して暮らすことのできる社会, 将来にわたって持続可能な社会を

	<p>つくっていくために、これから実行したいと思うことを書く。</p>
光村	<p>学び方のポイント</p> <p>○巻頭に見開きで「ようこそ社会科へ」のコーナーを設け、「ホップ/見つける」「ステップ/調べる、話し合う」「ジャンプ/まとめる、広げる」という学習の流れを示すとともに、各ページにも示してあり、問題解決の流れを意識して学習を進めることができるようにしている。</p> <p>○見開きで「教科書をヒントに、学習を進めよう」のコーナーを設け、学習問題の作り方、調べ方、まとめ方の例が具体的に示してある。学年の発達段階に応じた例が示してある。</p> <p>○「たいせつ」学習場面に応じて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。</p> <p>まとめ方の例</p> <p>○<第3・4学年>「昔って、おもしろい」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔と今の暮らしのちがいを年表にまとめる。 <p>○<第5学年>「日本の国土とわたしたちの暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のある地域を選んで、その地域の、「日本の中の位置」「気候を生かした産業」「気候の特色」「行事」「気候に合わせた暮らしの工夫」をとりあげたパンフレットをつくる。 <p>○<第6学年>「共に生きる地球」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちに何ができるか、これからどんなことをしたいか考え、意見文を書く。
日文	<p>学び方のポイント</p> <p>○上巻の巻頭に見開きで「この教科書のしくみ」のコーナーを設け、学び方が簡潔に示してある。</p> <p>○「学び方・調べ方コーナー」を学習場面に応じて「見る・調べる」「読み取る」「表現する」項目別に配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。</p> <p>まとめ方の例</p> <p>○<第3・4学年>「今にのこる昔と暮らしのうつりかわり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具について学習したことや、調べた方法について、話合いで振り返る。 <p>○<第5学年>「日本の国土と人々の暮らし」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの地域の暮らしや産業の様子を比べて、「ふりかえりシート」にまとめる。 <p>○<第6学年>「世界のなかの日本とわたしたち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の役割として、自分ができると思ったことや、考えていきたいことを「ふりかえりシート」に書く。

【社会】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方 法	作業的・体験的な学習の例及び具体的な事例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第3・4学年)</p> <p><見る・聞く・触れる> たんけん インタビューをする 品物の産地調べ 古い道具を体験する 見学 ごみ収集の様子を観察する 土地利用図を読み取る インターネットの活用</p> <p><読み取る> 地図と空からとった写真を見比べる グラフを読み取る 地図帳の活用 等高線を読み取る</p> <p><表す・伝える> たんけんメモをつくる わかったことをまとめる(絵地図, ノート) 見学, 見学メモをとる それぞれの場所の様子を表にまとめる 市のしょうかい地図をつくる 年表をつくる 郷土カルタづくり 新聞づくり 家族防災会議 安全マップづくり 学習内容をカードにまとめて発表する 紙芝居づくり ホームページづくり</p> <p>具体的な例 <上>「はたらく人とわたしたちの暮らし」 ・スーパーマーケットに行き, 売り場を見学したり, 働く人にインタビューしたり, お客さんに質問したりして調べたことをノートにまとめる。 <下>「わたしたちの県」 ・「土地利用」「交通」「産業」等について調べたカードをと白地図を見ながら, 県の特 色について話し合う。</p> <p>(6学年)</p> <p><見る・聞く・触れる> 地域のフィールドワーク 博物館の見学 聞き取り調査(戦争体験, 市役所の取材) インタビュー 室町文化体験(茶の湯等)</p> <p><読み取る> 資料(年表, 伝記, 刀狩令, 屏風絵, 歴史地図, グラフ, 図書館の本, 複数の写真, 新聞, 年鑑)を読み取る つながりの深い国調べ 歴史上の人物の絵の吹き出しにせりふを書き込む</p> <p><表す・伝える> 調べたことをまとめる(ノート, カード, 年表, 比較表, 人物関係図, フローチャー ト, レポート) 新聞づくり 三権分立図づくり 歴史の出来事に関する4コマ漫画を完成させる 3人の武将へのメッセージを書く 家光になりきって家康あてに手紙を書く 短い文章で説明する(蘭学とは, 国学とは)</p>

	<p>キャッチフレーズをつくる（歌舞伎など） 明治の政治家になり新しい時代への思いや願いを書く 30文字の文章を完成させる（内閣，裁判所） 意見文づくり</p> <p>具体的な例 <上>「日本の歴史」 ○「3人の武将と天下統一」 ・3人の武将（織田信長，豊臣秀吉，徳川家康）に伝えたいことをメッセージに書く。 <下>「わたしたちの生活と政治」 ○「わたしたちのくらしと日本国憲法」 ・日本国憲法の働きについてレポートを書く。 【使用実績に関すること】 調べ方，まとめ方等，作業や体験の例が豊富に示されており，児童が意欲をもって主体的に学習を進められる手立てとなっていた。</p>
<p>教出</p>	<p>（第3・4学年） <見る・聞く・触れる> たんけん 見学 インタビュー お店の人の様子を観察する 手紙でできく 行事に参加する 電話をかける デジタルカメラで記録する インターネットで調べる <読み取る> 地図と空からとった写真を見比べる 絵の中からさがす 2つのグラフを見比べる 土地利用図と地形図を見比べる <表す・伝える> わかったことをまとめる（絵地図，ノート，地図，買い物調べカード，表，グラフ， 年表） 市の形をかいて確かめる 市の紹介ポスターづくり カードにまとめて発表する ちらしづくり 農事ごよみづくり 年中行事カレンダーづくり 昔さがしマップづくり くらしの見直しを呼びかける言葉を考える かん兵衛さんへの手紙を書く 県の紹介パンフレットづくり</p> <p>具体的な例 <上>「働く人とわたしたちのくらし」 ・スーパーマーケットに行き，お客さんが買い物しやすくするための工夫や野菜の産地等を調べたり，店で働く人やお客さんにインタビューしたりして調べたことを，「お客さん」という言葉を使って説明する。 <下>「わたしたちの県のまちづくり」 ・「主な平野や山地，河川，市の位置と名前」「農業や工業のさかんなところ」「主な交通」について白地図に書き表し，それをもとに，県の特色について文章に書く。</p> <p>（6学年） <見る・聞く・触れる> 聞き取り調査 つながりの深い国調べ インタビュー 資料（地図，出土品，縄文時代の想像図，風刺画）を読み取る <表す・伝える></p>

新聞づくり 歴史上の人物の絵の吹き出しにせりふを書き込む
学習したことをまとめる (ノート, 年表, 比較表, 説明文, 人物関係図, カード)
意見文づくり 絵や人物の解説づくり 三権分立図づくり
宣言文づくり 人物の木づくり

具体的な例

<上>「日本の歴史」

○「全国統一への動き」

・3人の武将 (織田信長, 豊臣秀吉, 徳川家康) に向けたインタビューに, それぞれの人物の立場になって答える。(吹き出しに書き込む)

<下>「暮らしの中の政治」

○「憲法とわたしたちの暮らし」

・日本国憲法の中で, 大切であると思うものをあげて, その理由も書く。

(第3・4学年)

<見る・聞く・触れる>

観察 たんけん 見学 インタビュー アンケート せんたく体験

昔のお手伝い体験 インターネットで調べる

<読み取る>

地図と空からとった写真を見比べる 地図できよりを調べる

<表す・伝える>

わかったことをまとめる (カード, ノート, 買い物地図, 買い物グラフ, 年表)

絵地図づくり 市のガイドマップづくり 買い物日記を書く

店の紹介ポスターづくり お礼のカードづくり 行事紹介カードづくり

まちの安全マップづくり ごみをへらす標語づくり 水の旅すごろくづくり

紙芝居づくり 地形図づくり 旅行計画書づくり 県自慢かるたづくり

具体的な例

<上>「見つけたよ, まちの人たちの仕事」

・スーパーマーケットに行き, スーパーマーケットに買い物に行く理由を, 売り場の見学をしたり, 売り場の人やお客さんにインタビューしたりして調べ, 話合いをしてまとめ, 店の紹介ポスターをつくる。

<下>「いいところいっぱい, わたしたちの県」

・神奈川県について学習したことをもとに, 県の中で行ってみたい場所を考えて, 旅行計画書をつくる。

(6学年)

<見る・聞く・触れる>

聞き取り調査 (市役所) つながりの深い国調べ 室町文化体験 (茶の湯等)

博物館の見学

<読み取る>

資料 (想像図, 年表) を読み取る

<表す・伝える>

大昔の人々の暮らしを劇にする

調べたことをノート, ポスター, 戦後の年表にまとめる

光村

	<p>歴史新聞（貴族の暮らし）づくり 人物年表づくり（信長・秀吉・家康） 人物事典（幕末に活躍した人物） 提案書づくり 憲法の意義・江戸時代の暮らしをスピーチ 意見文づくり</p> <p>具体的な例 「日本の歴史」 ○「武士の時代」 ・3人の武将（織田信長，豊臣秀吉，徳川家康）の人物年表をつくり，好きな人物を選んで，その理由を発表する。 「私たちの暮らしと政治」 ○「暮らしの中に生きる憲法」 ・より住みやすいまちにするため，国や市に考えを伝える「私たちの提案書」を書く。</p>
<p>日文</p>	<p>（第3・4学年） <見る・聞く・触れる> 方位磁針で方位を確かめる たんけん 電話をかける 見学 インタビュー 写真を活用する 聞き取り 昔の道具体験 インターネットで調べる ごみステーションの観察 手紙（ファクシミリ）できく <読み取る> 土地利用図と空からとった写真を見比べる 写真を読み取る 買い物調べを白地図にまとめ，読み取る 農事ごよみを読み取る 挿し絵を読み取る グラフを読み取る 2つのグラフを見比べる <表す・伝える> 絵や文字でスケッチ 気付いたことを発見カードや白地図に記入する わかったことをまとめる（表，買い物調べカード，見学メモ，見学発見カード，ふりかえりシート，道具調べカード，絵地図を整理する，祭り調べカード） 地図をつくる 市のガイドマップづくり キャッチコピーづくり 絵年表づくり 意見交流会 比較する表づくり 紙芝居づくり 県のPRクイズづくり 県のPRパンフレットづくり 県のPRカルタづくり</p> <p>具体的な例 <上>「わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと」 ・スーパーマーケットに行き，お客さんに来てもらえるようにするための工夫を調べるため，店の様子を見学したり，売り場で働く人にインタビューしたりして調べたことをもとに，スーパーマーケットの仕事について図にまとめて話し合ったり，キャッチコピーを考えたりする。 <下>「わたしたちの住んでいる県」 ・岡山県をPRするために，岡山県のクイズをつくる。</p> <p>（6学年） <見る・聞く・触れる> 聞き取り調査（区役所，戦争体験者） 博物館を見学 資料館を見学 つながりの深い国調べ</p>

<読み取る>

資料（グラフ，想像図，歴史マンガ）を読み取る

<表す・伝える>

調べてわかったことをノートにまとめる 歴史上の人物についてカードにまとめる

人物関係図にまとめる 年表にまとめる

ふりかえりカード・シートにまとめる（元との戦い，室町の文化，幕末の人物，日本国憲法）

新聞づくり（戦争中の暮らし，国際社会の中の日本）

具体的な例

<上>「日本のあゆみ」

○「天下統一と江戸幕府」

・4人の人物（織田信長，豊臣秀吉，徳川家康，徳川家光）ごとに図にまとめ，「4人の人物は，武士が支配する社会のしくみをつくり直すためにどんな役割を果たし，前の人から何を受け継いだのだろう。」ということについて，考えを聞きあう。

<下>「わたしたちの暮らしと政治」

○「わたしたちの暮らしと憲法」

・日本国憲法の三つの原則の中から，最も大切にしていきたいと思うものを一つ選び，どうしてそう思ったかを書く。（ふりかえりシート）

【社会】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑦単元・題材や資料等の配列
方 法	単元の構成・事例の取扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第3・4学年)</p> <p>単元構成の工夫</p> <p>上巻</p> <p>1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子</p> <p>2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き</p> <p>3 地域の古い道具, 文化財や年中行事</p> <p>下巻</p> <p>4 地域の安全を守るための諸活動</p> <p>5 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動</p> <p>6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例</p> <p>7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域</p> <p>事例</p> <p>上巻</p> <p>1 宮城県仙台市</p> <p>2 宮城県仙台市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・農家の関内さん (まがりねぎ) <p>↓↑ どちらか選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ささかまぼこ工場 <p>3 愛媛県松山市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道後温泉本館 ・伊予万歳 ・秋祭り ・坊っちゃん列車 <p>下巻</p> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口市消防本部 <p>↓↑ どちらか選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県浜松市の地震にそなえる取組 ・千葉県警 <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県岡山市 (水) ・栃木県宇都宮市 (ごみ) <p>6 熊本県</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北里柴三郎 ・中村汀女 ・林又七

・通潤橋 (布田保之助)

7 兵庫県

・豊岡市か姫路市を選択

(第5学年)

単元構成の工夫

上巻

○国土

○農業・水産業

下巻

○工業

○情報

○環境

事例

上巻

○国土

海津市, <選択>南牧村,

十勝地方, <選択>沖縄島,

○農業

庄内平野

○水産業

長崎漁港, 焼津漁港, 陸奥湾

下巻

○工業

自動車工場 (愛知県豊田市)

○情報

放送局 (仙台), 病院の中の情報ネットワーク

○環境

白神山地, 京都市, 東日本大震災, 釜石市, 宮崎県日之影町

(第6学年)

単元構成の工夫

上巻

○歴史

下巻

○政治, 日本国憲法

○国際社会の中の日本

事例

上巻

○歴史

1 縄文のむらから古墳のくにへ: 三内丸山遺跡, 吉野ヶ里遺跡, 大仙古墳

2 天皇中心の国づくり

3 貴族のくらし

4 武士の世の中へ

5 今に伝わる室町文化

6 3人の武将と天下統一

7 江戸幕府と政治の安定

	<p>8 町人の文化と新しい学問 9 明治の国づくりを進めた人々 10 世界に歩み出した日本 11 長く続いた戦争と人々の暮らし 12 新しい日本, 平和な日本へ</p> <p>下巻 ○政治, 日本国憲法</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>1 子育て支援の願いを実現する政治: 埼玉県川口市 (児童センター, 市議会, 税金の働き) ↓↑ どちらか選択 1 震災復興の願いを実現する政治: 東日本大震災 (気仙沼市, 国の支援,)</p> </div> <p>2 国の政治のしくみ 3 わたしたちの暮らしと日本国憲法: 大阪府堺市</p> <p>○国際社会の中の日本 1 日本とつながりの深い国々: アメリカ合衆国, 大韓民国, 中華人民共和国, サウジアラビア 2 世界の未来と日本の役割: 「アフリカ開発会議」(平成25年), 7つの環境問題</p>
<p>教出</p>	<p>(第3・4学年)</p> <p>単元構成の工夫</p> <p>上巻</p> <p>1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子 2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き 3 地域の古い道具, 文化財や年中行事</p> <p>下巻</p> <p>4 地域の安全を守るための諸活動 5 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動 6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域</p> <p>事例</p> <p>上巻</p> <p>1 神奈川県横浜市 2 神奈川県横浜市 ・スーパーマーケット</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>・しゅうまい工場 (横浜) ↓↑ どちらか選択 ・農家の加藤さん (こまつなづくり)</p> </div> <p>3 神奈川県横浜市 ・大石神社の祭り ・横浜市農村生活館</p> <p>下巻</p> <p>4 ・京都府警</p>

・静岡市消防局

5

・東京都町田市 (ごみ)

・神奈川県相模原市 (水)

↓↑ どちらか選択

・富山県富山市 (電気)

6

・神奈川県横浜市 (吉田新田)

↓↑ どれかを選択

・神奈川県藤沢市 (小笠原東陽)

・富山県砺波市 (水野豊造)

7 福岡県

(第5学年)

単元構成の工夫

上巻

○国土

○農業・水産業

○工業

下巻

○情報

○環境

事例

上巻

○国土

那覇市, <選択>札幌市,

野辺山原, <選択>白根郷

○農業

南魚沼市

○水産業

根室港, 垂水市

<選択>岩手県岩手町 (キャベツ), 山梨県甲州市 (果物), 熊本県阿蘇地方 (肉牛)

○工業

自動車工場 (福岡県苅田町)

下巻

○情報

放送局, 図書館をつなぐ情報ネットワーク

医療施設をつなぐネットワーク

<選択>高齢者を見守る情報ネットワーク, 防災に生かす情報ネットワーク

○環境

白神山地, 能代市, 東日本大震災, 日本で起きた大きな自然災害, 北九州市,

(第6学年)

単元構成の工夫

上巻

	<p>○歴史 下巻 ○政治, 日本国憲法 ○国際社会の中の日本 事例 上巻 ○歴史 1 国づくりへの歩み: 三内丸山遺跡, 登呂のむら, 吉野ヶ里遺跡, 大仙古墳 2 大陸に学んだ国づくり 3 武士の政治が始まる 4 今も受けつがれる室町文化 5 全国統一への動き 6 幕府の政治と人々の暮らし 7 新しい文化と学問 8 新しい時代の幕あけ 9 近代国家に向けて 10 戦争と人々の暮らし 11 平和で豊かな暮らしを目指して 下巻 ○政治, 日本国憲法 1 わたしたちの暮らしを支える政治: 東京都世田谷区 (おでかけひろば, 区議会), 税金, 国会, 内閣, 裁判所 ↓↑ どちらか選択 <選択>災害からわたしたちを守る政治: 東日本大震災 (釜石市, 全国からの支援) 2 憲法とわたしたちの暮らし: 駅の様子 (新潟県上越市, 岐阜県瑞穂市, 東京都新宿区) ○国際社会の中の日本 1 日本とつながりの深い国々: アメリカ合衆国, 大韓民国, 中華人民共和国, サウジアラビア 2 世界の人々とともに生きる: 医師中村哲さん</p>
光村	<p>(第3・4学年) 単元構成の工夫 上巻 1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子 2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き 3 地域の古い道具, 文化財や年中行事 下巻 4 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動 5 地域の安全を守るための諸活動 6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域 事例 上巻</p>

1 神奈川県横浜市

2 神奈川県横浜市

・スーパーマーケット

・小野さん(肉牛)

↓↑ どちらか選択

・印刷工場

3 神奈川県横浜市

・牛込ししまい

・南山田虫送り

・蛇も蚊も

・曲題目

・お馬流し

下巻

4

・尾道市消防局(広島県)

・広島県警

5

・大分県大分市(ごみ)

・大分県大分市(水)

↓↑ どれかを選択

・電気

6 長野県安曇野市(拾ヶ堰)

7 神奈川県

(第5学年)

単元構成の工夫

○国土

○農業・水産業

○工業

○情報

○環境

事例

○国土

和歌山県田辺市, 長野県飯山市,

<選択>海津市, 長野県原村, 沖縄県那覇市, 旭川市

○農業

酒田市(庄内平野)

○水産業

長崎県松浦市, 愛媛県愛南町, 神奈川県三浦市

<選択>熊本県八代地域(トマト), 長野県飯田市(リンゴ), 鹿児島県(養豚)

○工業

自動車工場 (神奈川県横須賀市)

<選択>神奈川県川崎市 (製鉄所), 三重県四日市市 (石油化学工業), 長野県諏訪市 (みそづくり)

○情報

放送局 (NHK総合テレビ), <選択>新聞づくり

医療の情報ネットワーク, <選択>防災に生かされる情報ネットワーク

○環境

熊本県水俣市, <選択>三重県四日市市

和歌山県みなべ町, 日本の自然災害, 東日本大震災, 岩手県釜石市 (第6学年)

単元構成の工夫

○歴史

○政治, 日本国憲法

○国際社会の中の日本

事例

○歴史

1 狩りや採集の時代から米作りの時代へ: 加曽利貝塚, 三内丸山遺跡, 吉野ヶ里遺跡, 大仙古墳

2 強まる天皇の力と貴族の文化

3 源平の戦いと鎌倉幕府

4 今に生きる室町文化

5 戦国の世から泰平の世へ

6 都市の発展と江戸の文化

7 開国から世界の中の日本へ

8 戦争の時代から平和の時代へ

○政治, 日本国憲法

1 みんなの願いと政治の働き: 東京都武蔵村山市 (保健福祉総合センター), 税金, 国会, 内閣, 裁判所

2 暮らしの中に生きる憲法

○世界の中の日本

1 世界とつながる日本: 中国, アメリカ, ブラジル, サウジアラビア

2 共に生きる世界をみざして: 5つの環境問題, 3つの紛争

(第3・4学年)

単元構成の工夫

上巻

1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子

2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き

3 地域の古い道具, 文化財や年中行事

下巻

4 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動

5 地域の安全を守るための諸活動

日文

6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

7 県の地形や産業、県内の特色ある地域

事例

上巻

1 兵庫県姫路市

2 兵庫県姫路市

・スーパーマーケット

・かまぼこ工場

↓↑ どちらか選択

・農家の高田さん (れんこんづくり)

3 栃木県栃木市

・きょう土さんこう館

・とちぎ秋まつり

・とちぎ山車会館

下巻

4

・佐賀県佐賀市 (ごみ)

・奈良県奈良市 (水)

↓↑ どちらか選択

・電気

5

・広島県警

・湖南広域消防局 (滋賀県栗東市)

↓↑ どちらか選択

・東京都豊島区の地震にそなえる取組

6

・和歌山県和歌山市 (広村のていぼう・浜口悟陵)

↓↑ どちらか選択

・高知県 (野中兼山)

・和歌山県田辺市 (南方熊楠)

7 岡山県

(第5学年)

単元構成の工夫

上巻

○国土

○農業・水産業

下巻

○工業

○情報

○環境

事例

上巻

○国土

沖縄県、<選択>北海道旭川市

岐阜県海津市, <選択>群馬県嬭恋村

○農業

山形県庄内平野

<選択>宮崎県都城市 (畜産業), 高知平野 (野菜づくり), 青森県 (くだものづくり)

○水産業

長崎漁港,

下巻

○工業

自動車工場 (三重県鈴鹿市)

<選択>千葉県君津市 (製鉄所), 千葉県市原市 (製油所)

○情報

新聞社, 医療に生かされる情報ネットワーク

○環境

四日市, <選択>不老川

高知県四万十市, 日本の自然災害, 阪神・淡路大震災, 東日本大震災
(第6学年)

単元構成の工夫

上巻

○歴史

下巻

○政治, 日本国憲法

○国際社会の中の日本

事例

上巻

○歴史

- 1 大昔のくらしと国の統一: 三内丸山遺跡, 登呂遺跡, 吉野ヶ里遺跡, 大仙古墳
- 2 貴族の政治とくらし
- 3 武士による政治のはじまり
- 4 今に伝わる室町の文化と人々のくらし
- 5 天下統一と江戸幕府
- 6 江戸の社会と文化・学問
- 7 明治の新しい国づくり
- 8 国力の充実をめざす日本と国際社会
- 9 アジア・太平洋に広がる戦争
- 10 新しい日本へのあゆみ

下巻

○政治, 日本国憲法

1 わたしたちの願いと政治のはたらき: 東京都足立区 (千住桜花苑, 区議会), 税金
国会, 内閣, 裁判所

↓↑ どれかを選択

<選択>災害の発生と政治のはたらき: 東日本大震災 (茨城県北茨木市)

<選択>教訓を生かしたまちづくり: 環境モデル都市 (熊本県水俣市)

2 わたしたちのくらしと憲法: 「茨城県身体障害者スポーツ大会」

○国際社会の中の日本

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 日本とつながりの深い国々：大韓民国，中華人民共和国，アメリカ合衆国，ブラジル連邦共和国，サウジアラビア王国2 国際連合のはたらきと日本人の役割：5つの紛争や戦争 |
|---|

【社会】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑧単元・題材ごとの分量や問題数等
方 法	各単元の構成, 補充的・発展的教材の分量, バランス

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第3・4学年)</p> <p>ページ数 上巻 124 下巻 188 合計312</p> <p>上巻</p> <p>目次(1)</p> <p>1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子(40)</p> <p>2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き(58)</p> <p>3 地域の古い道具, 文化財や年中行事(24)</p> <p>(1)</p> <p>下巻</p> <p>目次(1)</p> <p>4 地域の安全を守るための諸活動(52)</p> <p>5 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動(48)</p> <p>6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例(26)</p> <p>7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域(58)</p> <p>5年生に向けて(2)</p> <p>(1)</p> <p>補充的, 発展的教材のページ</p> <p>ページ数 上巻 10 下巻 32 合計42</p> <p>上巻</p> <p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市のとく色やよさをつたえよう」(2) ・いろいろな地図記号(1) ・身近な公共しせつ(1) <p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな店(2) ・「はたらく人とわたしたちとのつながり」(2) <p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きょう土カルタをつくろう」(2) <p>下巻</p> <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風水害からくらしを守る(2) ・風水害にそなえて(2) ・「火事からくらしを守るために, わたしたちにできることを考えてみましょう」(2) ・「地震からくらしを守るために, 自分でできることはどんなことでしょうか」(2) ・「まちの安全マップをつくろう」(2) <p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「旭川の上流の地いきの人々と交流して, 川のかんきょうについて考えてみましょう」(2) ・「旭川を大切に思って行動している人たちの活動を調べてみましょう」(2) ・くらしを支える電気(4) ・「ごみをへらすために, わたしたちのまわりでは, どのような取り組みが行われて

いるのでしょうか」(2)

・「ごみをへらすために、自分にできることを考えてみましょう」(2)

・下水のしよりと利用(2)

6

・地いきで学校をつくる(2) ・地いきの文化を受けつぐ(2)

・地いきの産業をおこす(2)

7

・「特色ある地いきのよさを伝えよう」(2)

(第5学年)

ページ数 上巻 120 下巻 140 合計260

上巻

目次(1) ○国土(60) ○農業・水産業(58) さくいん(1)

下巻

目次(1) ○工業(56) ○情報(42) ○環境(38)

5年生のまとめ(2) さくいん(1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 上巻 11 下巻 29 合計40

上巻

○国土

・山地の人々の暮らし(2) ・雪国の人々の暮らし(2)

○農業・水産業

・きゅうりづくりのさかんな宮崎県(2) ・関東平野のレタスづくり(2)

・福島盆地の果物づくり(1) ・鹿児島県の肉牛の飼育(1)

・「テレビ番組をつくろう」(1)

下巻

○工業

・暮らしをささえる製鉄業(4) ・暮らしをささえる石油工業(4)

・食料品をつくる工業(4) ・「夢の工業製品を考えよう」(1)

○情報

・新聞社の働き(4) ・社会を変える情報—教育と情報化—(2)

・社会を変える情報—福祉と情報化—(2)

・社会を変える情報—防災と情報化—(2) ・「情報活用宣言」(1)

○環境

・公害をこえて(4) ・「自分たちにできること」(1)

(第6学年)

ページ数 上巻 156 下巻 112 合計268

上巻

もくじ(1) 歴史学習の基本をおさえよう(6) ○歴史(148)

さくいん(1)

下巻

もくじ(1) ○政治, 日本国憲法(56) ○国際社会の中の日本(54)

さくいん(1)

補充的，発展的教材のページ

ページ数 上巻 19 下巻 20 合計39

上巻

○歴史

- ・さまざまな形のお墓 (1) ・よみがえる古代の迎賓館 (1)
- ・世界遺産になった平泉 (1) ・平安時代の球技 (1)
- ・各地に残る鎌倉時代のエピソード (1)
- ・「室町文化を体験してレポートを書こう」(1)
- ・室町時代の京都の祭り (1) ・各地に伝わる名城 (1)
- ・大国とわたりあった琉球王国 (1) ・絵巻で見る，江戸時代の人々 (2)
- ・江戸時代の武士の学校 (日新館) (1)
- ・平城宮跡を守るために (棚田嘉十郎) (1) ・海を渡った人々 (1)
- ・約100年前の東京駅 (1) ・約100年前の小樽港 (1)
- ・戦争のぎせいになった子どもたち (沖縄) (1)
- ・「歴史学習をふり返ろう」(2)

下巻

○政治，日本国憲法

- ・川口市の福祉事業 (1) ・原子力発電所事故からの復興 (1)
- ・「公園づくりについて話し合おう」(2) ・路面電車でまちを元気に (2)
- ・「平和学習の街ヒロシマ」をたずねて (2) ・「新聞を読もう」(2)
- ・「わたしたちにできる政治参加」(2)

○国際社会の中の日本

- ・「ほかにもある日本と身近な国や地域を調べよう」(2)
- ・日本と身近な国や地域を調べよう ・遠くて近い国 (トルコ) (2)
- ・「国際協力について考えよう」(2) ・中学校に向けて (2)

(単元の構成)

- 1 大単元の導入
- 2 小単元
「つかむ」→「調べる」→「まとめる」
- 3 大単元のまとめ
「いかす」または「ひろげる」

(例) 第5学年「わたしたちの生活と食料生産」

- 1 大単元の導入
わたしたちは，ふだんどんなものを食べているのでしょうか。
- 2 小単元「くらしを支える食料生産」
「つかむ」・・・わたしたちが食べている食料品の産地を調べて，学習問題をつくりましょう。
「調べる」・・・米の主な産地はどこでしょうか。
そのほかの農産物の主な産地はどこでしょうか。
「まとめる」・・・わたしたちが毎日食べている食べ物を生産している主な産地は，どんなところなのか，まとめましょう。
- 3 大単元のまとめ

	<p>「いかず」・・・食料生産の未来のために、わたしたちは何ができるでしょうか。</p> <p>【使用実績に関すること】</p> <p>問題解決的な学習を進めるための単元構成になっており、補充的、発展的教材が豊富であり、児童の興味・関心に合わせ、選択したり活用したりできた。</p>
教出	<p>(第3・4学年)</p> <p>ページ数 上巻 132 下巻 162 合計294</p> <p>上巻</p> <p>目次等 (3)</p> <p>1 身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子 (44)</p> <p>2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き (50)</p> <p>3 地域の古い道具、文化財や年中行事 (24)</p> <p>社会科ガイド (10) その他 (1)</p> <p>下巻</p> <p>目次等 (3)</p> <p>4 地域の安全を守るための諸活動 (36)</p> <p>5 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動 (44)</p> <p>6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 (24)</p> <p>7 県の地形や産業、県内の特色ある地域 (54)</p> <p>その他 (1)</p> <p>補充的、発展的教材のページ</p> <p>ページ数 上巻 10 下巻 19 合計29</p> <p>上巻</p> <p>1 ・「ポスターをつかって、市をしょうかいしよう」(2)</p> <p>2 ・「ちらしをつかって、仕事のくふうを伝えよう」(2)</p> <p>・品川区の商店街 (2)</p> <p>3 ・「昔さがしマップをつかって、人々の願いを考えよう」(2)</p> <p>・まちの今とむかし (1)</p> <p>・音と心をつなげて葛西ばやしをうけつぐ (1)</p> <p>下巻</p> <p>4 ・「地域の安全のこれからを考えよう」(2)</p> <p>・災害にそなえた大田区の公園づくり (2)</p> <p>5 ・「くらしの見直しをよびかける言葉を考えよう」(2)</p> <p>・住みよいまちづくりに取り組む人々 (2)</p> <p>6 ・「地域のこれからを考えよう」(2)</p> <p>・川口広蔵と荻窪用水 (2)</p> <p>7 ・結城紬をつくる人々の努力をささえる (1)</p> <p>・箱根寄木細工の技術を受け継ぐ人々 (2)</p> <p>・アニメのまち練馬 (2)</p> <p>・「県をしょうかいするパンフレットをつくろう」(2)</p> <p>(第5学年)</p> <p>ページ数 上巻 164 下巻 68 合計232</p>

上巻

目次等 (3) ○国土 (48) ○農業・水産業 (56) ○工業 (50)
その他 (6) さくいん (1)

下巻

目次 (1) ○情報 (26) ○環境 (40) さくいん (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 上巻 14 下巻 6 合計 20

上巻

○国土

- ・「わたしたちの住む国土をしょうかいしよう」(1)
- ・アイヌの人たちの暮らし (2)

○農業・水産業

- ・森は海の恋人 (2)
- ・「わたしたちの食生活について考えよう」(2)
- ・安定した食料生産を続けるために (2)
- ・地域の食料生産のよさを見直そう (2)

○工業

- ・「日本の工業生産の未来を考えよう」(1) ・本田宗一郎 (1)
- ・東京スカイツリー (1)

下巻

○情報

- ・「情報ルールを考えよう」(1)

○環境

- ・環境に優しい国・日本を目ざして (1)
- ・わたしたちの暮らしと資源・エネルギー (2) ・日本の世界遺産 (2)

(第6学年)

ページ数 上巻 152 下巻 80 合計 232

上巻

目次等 (3) ○歴史 (144) さくいん (1) 学びのてびき (1)
年表 (2) 日本の歴史をふり返ろう (1)

下巻

目次 (1) ○政治, 日本国憲法 (36) ○国際社会の中の日本 (42)
さくいん (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 上巻 12 下巻 8 合計 20

上巻

○歴史

- ・「新聞づくりを通して歴史の見方を深めよう」(1)
- ・東アジアと日本のつながり (1) ・中尊寺金色堂 (1)
- ・リサイクル都市江戸 (1) ・今につながる江戸の文化 (2)
- ・日本の社会や文化を見直す (石川倉次, フェノロサ) (1)

- ・関東大震災からの復興（後藤新平）（1） ・海外へ移住した日本人（1）
- ・修学旅行で学ぶ原爆の被害と平和への願い（1）
- ・「歴史上の人物やできごとから学ぼう」（2）

下巻

○政治, 日本国憲法

- ・「政治の参加について話し合おう」（2）

○国際社会の中の日本

- ・地球の反対側にある国 ブラジル（2）
- ・「将来に向けて自分たちができることを考えよう」（2）

（単元の構成）

- 1 大単元の導入
- 2 小単元
「つかむ」→「調べる」→「まとめる」
- 3 大単元のまとめ
「深める」

（例）第5学年「食料生産を支える人々」

- 1 大単元の導入
「カレーのご飯も、とてもおいしいけれど、どこでつくられたものなのかな。」
「このサラダに入っている野菜は、日本でとれたものなのかなあ。」
「みんなで、いろいろな食べ物の産地を調べてみようよ。」
- 2 小単元「米づくりのさかんな地域」
「つかむ」・・・わたしたちがよく食べる米は、どこでつくられているのだろう。
「調べる」・・・南魚沼市の自然には、どのような特色があるのだろう。
どのようにして米はつくられているのだろう。
今井さんが、米づくりをするなかで気をつけていることはなんだろう。
農家の人たちは、米づくりを続けるなかで、どのようにくふうをしてきたのだろう。
米づくりの農家には、どのようななやみがあるのだろう。
これからの米づくりには、どのようなことが求められるのだろう。
米づくりにはげむ人々は、どのような思いや願いをもっているのだろう。
「まとめる」・・・キーワードに注目して学習をふり返ろう
水の管理 農業機械 耕地整理 品種改良 生産調整
- 3 大単元のまとめ
「深める」・・・わたしたちの食生活について考えよう。

光村

（第3・4学年）

ページ数 上巻 108 下巻 144 合計252

上巻

目次（1） ようこそ社会科へ等（4）

- 1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子 (3 6)
 - 2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き (4 2)
 - 3 地域の古い道具, 文化財や年中行事 (2 4)
- さくいん (1)
- 下巻
- 目次等 (3)
- 4 地域の安全を守るための諸活動 (3 2)
 - 5 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動 (4 0)
 - 6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 (2 4)
 - 7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域 (4 2)
- 学習に役立てよう (2) さくいん (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 上巻 1 下巻 11 合計 12

上巻

- 3 ・壬生の花田植 (広島県北広島町) (1)

下巻

- 4 ・防災キャンプに参加する子どもたち (2)
- 5 ・ごみ処理で発生する熱の利用等 (1)
- 6 ・松本城を守れ (3) ・吉田新田 (1) ・今治タオル (1)
- 7 ・地図できよりを調べる (1) ・筆づくり (広島県熊野町) (1)
- ・人形 (埼玉県さいたま市) (1)

(第5学年)

ページ数 228

- もくじ (1) ようこそ, 5年生の社会科へ等 (4)
- 国土 (4 8) ○農業・水産業 (5 4) ○工業 (5 0) ○情報 (3 0)
- 環境 (3 8) 学習に役立てよう (2) さくいん (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 12

○農業・水産業

- ・たな田のさまざまな働き (1) ・「海のゆりかご」を取りもどすために (1)
- ・富山県氷見市の寒ブリ漁 (2) ・「食」を通して社会と向き合う (1)

○工業

- ・ものづくりのまち (2)

○情報

- ・希望をとどけたかべ新聞 (1)

○環境

- ・環境マイスター制度 (1) ・水のめぐみとともに (2)
- ・かけがえのない自然環境を守るために (1)

(第6学年)

ページ数 228

もくじ (1)

ようこそ, 6年生の社会科へ等 (4) ○歴史 (142)

○政治, 日本国憲法 (32) ○国際社会の中の日本 (38)

学習に役立てよう等 (8) さくいん (2) 私のノート (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 15

○歴史

- ・古墳から見えてくるもの (1) ・平家物語 (1)
- ・身近に残る江戸時代 (中山道) (1) ・江戸時代の紀行家 (菅江真澄) (1)
- ・金魚を飼う楽しみ (1) ・炭鉱の画家 (山本作兵衛) (1)
- ・焼け野原から平和都市をみざして (広島市) (2)

○政治, 日本国憲法

- ・いつまでも安心して暮らせるまちに (東京都武蔵野市) (1)
- ・自然と共存する開発 (見沼たんぼ) (1)
- ・災害復旧への協力 (太宰府市と多賀城市) (1)
- ・共に生きる社会を (ハンセン病, アイヌ民族) (1)

○国際社会の中の日本

- ・日本各地に広がる国際協力の輪 (1)
- ・阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」(2)

(単元の構成)

1 大単元の導入

2 小単元

「ホップ/みつける」→「ステップ/調べる・話し合う」→「ジャンプ/まとめる・広げる」

(例) 第5学年「食料生産とわたしたちの暮らし」

1 大単元の導入

人は, 国土の自然を生かしながら, 暮らしを支える食料を生産してきました。わたしたちが食べている物は, どんな場所でどんな人々が作っているのでしょうか。

2 小単元「わたしたちの食生活と米作り」

「ホップ/みつける」

米について, どんなことを知っていますか。

「ステップ/調べる・話し合う」

米は, どんな所で作られているのだろうか。

米作りがさかんな地域にはどんな特色があるのだろうか。

米は, どのようにして作られているのだろうか。

米づくりには, どんな工夫があるのだろうか。

おいしい米をとどけるために, どんな工夫をしているのだろうか。

米に, たくさんの品種があるのは, どうしてだろう。

機械化や耕地整理によって, 米づくりはどのように変わったのだろうか。

日本の米づくりには, どんな課題があるのだろうか。

	<p>「ジャンプ/まとめる・広げる」 地域の農家の人を招いて、話を聞こう。</p>
日文	<p>(第3・4学年) ページ数 上巻 140 下巻 168 合計308 上巻 目次等 (1) 1 身近な地域や市の地形, 土地利用, 公共施設などの様子 (46) 2 地域の生産や販売に携わっている人々の働き (62) 3 地域の古い道具, 文化財や年中行事 (30) さくいん (1) 下巻 目次等 (1) 地図となかよしになろう (14) 4 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動 (46) 5 地域の安全を守るための諸活動 (42) 6 地域の発展に尽くした先人の具体的事例 (22) 7 県の地形や産業, 県内の特色ある地域 (42) さくいん (1) 補充的, 発展的教材のページ ページ数 上巻 6 下巻 8 合計14 上巻 1 ・まちに出ていろいろな地図を見つけよう (2) 2 ・まちのしげんを生かす (2) 3 ・昔の子どもの遊びとくらし (2) 下巻 4 ・たいせつな水 (2) 5 ・地いきをこえた助け合い (2) 6 ・那須野原を開いた人々 (2) 7 ・「ほかの県と比べよう」 (2)</p> <p>(第5学年) ページ数 上巻 106 下巻 122 合計228 上巻 目次等 (1) ○国土 (44) ○農業・水産業 (60) さくいん (1) 下巻 目次等 (1) ○工業 (46) ○情報 (26) ○環境 (48) さくいん (1) 補充的, 発展的教材のページ ページ数 上巻 4 下巻 6 合計10 上巻 ○国土 ・日本の海底資源 (2) ○農業・水産業 ・輸出される日本の農産物 (2) 下巻</p>

○工業

- ・輪島塗の新しい取り組み (2)

○情報

- ・災害時の情報のはたらきと発信 (2)

○環境

- ・環境モデル都市, 大阪府堺市の取り組み (2)

(第6学年)

ページ数 上巻 168 下巻 84 合計252

上巻

目次等 (5) ○歴史 (162) さくいん (1)

下巻

目次 (1)

○政治, 日本国憲法 (40) ○国際社会の中の日本 (42) さくいん (1)

補充的, 発展的教材のページ

ページ数 上巻 10 下巻 4 合計14

上巻

○歴史

- ・世界文化遺産を受け継ぐ (2)
- ・都の文化が全国に広がる (2)
- ・阿波人形浄瑠璃の歴史と今 (2)
- ・近代日本と富岡製糸場 (2)
- ・未来をきづく日本の技術 (新幹線, 日本人初ノーベル賞受賞, 東京スカイツリー) (2)

下巻

○政治, 日本国憲法

- ・国民主権・基本的人権を求めて (2)

○国際社会の中の日本

- ・世界の人々のためにかつやくする日本人 (明石康, 山中伸弥) (2)

(単元の構成)

1 大単元の導入

2 小単元

「わたしの問題」→「わたしの見方・考え方」→「ふりかえってみよう」

3 大単元のまとめ

「大きくジャンプ」

(例) 第5学年「わたしたちの食生活と食料生産」

1 大単元の導入

食料を生産する人々は自然と関わりながら, どのようなくふうや努力をしているのでしょうか。

さまざまな食料生産がわたしたちの食生活にとってどのような役わりをはたしているのでしょうか。

2 小単元「米づくりのさかんな地域」

「わたしの問題」

わたしたちは、どんなものをよく食べているのだろう。

「私の見方・考え方」

日本では、米が主食として食べられてきた。そして、米は日本全国で生産されているけれど、北海道や東北地方でさかんに作られていることがわかった。

「わたしの問題」

庄内平野はどんなところだろう。

米はどうやって作るのだろう。

なぜ、田の形や大きさをつくりかえているのだろう。

山形県ではどんな米が作られているのだろう。

農家の人たちは、消費者の求めに応じて、どんなことに気をつけて米作りをしているのだろう。

「私の見方・考え方」

米作りがさかんな地域では、自然環境を生かしながら、大規模な米作りをしている。米作りにたずさわる人たちは、消費者の求めに応じて、味がよく、安全・安心な米作りをおこない、消費地に出荷していることがわかった。

「わたしの問題」

どうして農業をする人が減っているのだろう。

米作りがかかえる問題を解決するために、どんな取り組みがおこなわれているのだろう。

「私の見方・考え方」

米作りには、働く人の高齢化や生産調整、消費量の減少、外国からの輸入など、むずかしい問題がある。しかし、安定した収入を得るためのくふうや米の消費量を拡大するための新しい取り組みもおこなわれていることがわかった。

「ふりかえてみよう」

これからの米作りで大切なことは何か。

「大きくジャンプ」

りんごの輸出について調べる。

日本の農産物について調べる。

日本の農産物の輸出について話し合う。

【社会】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	使用されている写真, 地図, グラフ等の資料及び小單元における資料の種類と数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第3, 4学年)</p> <p>上巻巻頭: 写真11</p> <p>1 わたしたちのまち みんなのまち: イラスト1</p> <p>①学校のまわり: 写真19 地図11 図1 (四方位) 表1 (地図記号) イラスト9</p> <p>②市の様子: 写真35 地図16 図1 (八方位) 表1</p> <p>2 はたらく人とわたしたちの暮らし: 写真8 地図5 イラスト3</p> <p>①店ではたらく人: 写真56 地図2 イラスト7 表2</p> <p>②農家の仕事: 写真18 地図4 グラフ1 イラスト8 表1</p> <p>②工場の仕事: 写真27 地図6 グラフ1 イラスト6 図1</p> <p>3 かわってきた人々の暮らし: 写真4 地図2</p> <p>①古い道具と昔の暮らし: 写真5 イラスト12 表1</p> <p>②のこしたいもの, つたえたいもの: 写真18 イラスト12 地図1</p> <p>上巻巻末: 地図1</p> <p>下巻巻頭: 写真8</p> <p>4 暮らしを守る: 写真6</p> <p>①火事から暮らしを守る 地震から暮らしを守る: 写真65 イラスト21 地図11 グラフ3 図2 表2</p> <p>②事故や事件から暮らしを守る: 写真23 地図3 イラスト11 グラフ2 図1 表2</p> <p>5 すみよい暮らしをつくる: イラスト1</p> <p>①水はどこから: 写真64 イラスト10 地図10 グラフ6 図4</p> <p>②ごみのしよりと利用: 写真38 地図5 イラスト31 グラフ4 図4</p> <p>6 きょう土のはってんにつくす: 写真8 地図2</p> <p>①谷にかこまれた台地に水を引く: 写真30 地図12 グラフ2 イラスト23 図3 表2 (年表)</p> <p>7 わたしたちの県: 写真7 イラスト1 地図3</p> <p>①県の広がり: 写真21 地図13 図1</p> <p>②特色ある地いきと人々の暮らし: 写真69 地図8 イラスト7 グラフ2 表3 (年表)</p> <p>③世界とつながるわたしたちの県: 写真17 地図3 図9 (国旗)</p> <p>下巻巻末: 写真6 地図4</p>

	<p>(まとめ) 写真563 イラスト163 地図122 図表42 グラフ21 計911</p>
<p>教出</p>	<p>(第3, 4学年) 上巻巻頭: 写真4</p> <p>1 わたしたちの大好きなまち: イラスト1 ①わたしたちの住むまちはどんなまち: 写真30 イラスト15 地図8 図1 (四方位, 縮尺) 表2 ②わたしたちの市のようす: 写真35 地図18 図1 (八方位) 表1</p> <p>2 働く人とわたしたちの暮らし: 写真5 ①店で働く人と仕事: 写真47 地図4 イラスト10 表2 グラフ2 図1 ②工場で働く人と仕事: 写真38 地図4 イラスト3 表1 ②農家の仕事: 写真34 地図4 イラスト13 図1</p> <p>3 かわるわたしたちの暮らし: 写真5 ①受けつがれる行事: 写真14 表1 ②昔の道具と暮らし: 写真27 イラスト13 地図4 上巻巻末: 写真20 地図2 図1</p> <p>下巻巻頭: 写真2</p> <p>4 暮らしを守る: 写真3 ①事故・事件のないまちを目ざして: 写真38 イラスト10 地図2 表1 グラフ3 図1 ②災害からまちを守るために: 写真60 イラスト4 (うち見開き1) 地図6 グラフ3 表1 図2</p> <p>5 健康な暮らしとまちづくり: 写真4 ①ごみはどこへ: 写真43 地図2 イラスト21 グラフ5 表2 図4 ②水はどこから 暮らしと電気: 写真48 イラスト3 地図5 グラフ5 表2 図7</p> <p>6 昔から今へを続くまちづくり: 写真4 ①吉田新田はどこにあった: 地図3 写真8 ②吉田新田はどうやってできた: 写真19 地図4 表6 イラスト6 図10 グラフ1</p> <p>7 わたしたちの県のまちづくり: 写真4 地図1 ①県の地図を広げて: 写真14 地図8 図1 グラフ2 ②焼き物を生かしたまちづくり: 写真52 地図6 ③昔のよさを未来に伝えるまちづくり 松原を生かしたまちづくり: 写真44 地図4 グラフ2 図1</p>

	<p>④世界とつながるわたしたちの県： 写真15 地図5 表4 図7 (国旗) 下巻巻末 地図1</p> <p>(まとめ) 写真617 イラスト99 地図91 図表61 グラフ23 計891</p>
光村	<p>(第3, 4学年)</p> <p>上巻巻頭： イラスト1</p> <p>1 わたしたちのまちは, どんなまち： 写真7</p> <p>①わたしたちのまち： 写真34 イラスト38 地図11 図1 表1 (地図記号)</p> <p>②わたしたちの市： 写真17 地図7 グラフ1 イラスト7</p> <p>2 見つけたよ, まちの人たちの仕事： イラスト2</p> <p>①わたしたちのまちにある店： 写真34 イラスト26 図5 地図2 グラフ3 表5</p> <p>②ものを育てたり, 作ったりしている人たち： 写真45 イラスト7 地図2 表1 図3</p> <p>3 昔って, おもしろい： イラスト1</p> <p>①みんなでさがそう, 昔のくらし： 写真17 イラスト23 図1 表2</p> <p>②おはやして, 何だろう： 写真12 地図2</p> <p>下巻巻頭： イラスト1</p> <p>4 安全, 安心, みんなのくらし： 写真1</p> <p>①火事から町をまもる： 写真34 イラスト28 地図4 グラフ3 図2 表3</p> <p>②安全なまちをみざして： 写真21 イラスト5 地図3 グラフ1 図2 表1</p> <p>5 さわやか, すこやか, みんなのくらし： イラスト2</p> <p>①ごみのゆくえ： 写真46 イラスト10 地図5 表1 図6</p> <p>②くらしをささえる水： 写真29 イラスト18 地図3 グラフ3 図6 表1</p> <p>6 ふるさとをゆたかに： イラスト1</p> <p>①地いきにつくした人々： 写真37 イラスト10 地図7 グラフ2</p> <p>7 いいところいっぱい, わたしたちの県： 地図1 イラスト47</p> <p>①わたしたちの県： 写真9 地図14 イラスト2 図1 表1</p> <p>②行ってみよう, 見てみよう, わたしたちの県： 写真61 地図10 イラスト7 図5.2 グラフ2 表1</p> <p>(まとめ) 写真404 イラスト236 地図71 図表96 グラフ15 計822</p>

(第3, 4学年)

上巻巻頭: 写真9

1 わたしたちの住んでいるところ: 写真6

①わたしたちのまちのようす: 写真29 イラスト25 図6
地図5 表1 (地図記号)

②わたしたちの市のようす: 写真46 イラスト5 地図12 図1 表1

2 わたしたちの暮らしとまちではたらく人びと: 写真6 地図1

①店ではたらく人びとの仕事: 写真52 イラスト11 地図3 表1 図3

②工場ではたらく人びとの仕事 畑ではたらく人びとの仕事:
写真99 イラスト7 地図9 図4 表2 グラフ1

3 今にのこる昔の暮らしのうつりかわり: 写真4 地図2

①昔の道具と人びとの暮らし: 写真28 イラスト7 表1 図3

②昔からつたわる行事: 写真35 イラスト3 地図1 表1

上巻巻末: 写真2 イラスト2 地図2

下巻巻頭「地図となかよしになろう」: 写真34 地図15 図2 表2

4 すみよい暮らしをつくる: 写真10

①ごみのしまつと活用: 写真48 イラスト13 地図2 図5 表2
グラフ1

②命と暮らしをささえる水 わたしたちの暮らしをささえる電気:
写真52 イラスト12 地図4 図4 グラフ6

5 安全な暮らしを守る: 写真5

①なくそう, こわい火事: 写真51 イラスト10 地図4 図7 表1
グラフ3

②ふせごう, 交通事故や事件 地しんにそなえて:
写真55 イラスト10 地図5 図4 表2 グラフ4

6 地いきのはってんにつくした人びと: イラスト1

①よみがえらせよう, われらの広村: 写真35 イラスト13 地図12
図4 表3 グラフ1

7 わたしたちの住んでいる県: 地図1 イラスト1 図1

①わたしたちの県のようす: 写真16 地図6

②県の人々の暮らし: 写真49 図14 地図9 グラフ2 イラスト9

③世界に広がる人とのつながり: 写真19 イラスト2 地図4 図10

下巻巻末: 地図1

(まとめ)

写真690 イラスト131 地図98 図表85 グラフ18

計1022

【社会】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	使用されている写真, 地図, グラフ等の資料及び小单元における資料の種類と数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第5学年)</p> <p>上巻巻頭: 写真8</p> <p>1 わたしたちの国土: 写真30 地図10 図23 (国旗)</p> <p>①国土の地形の特色: 写真18 イラスト2 地図3 図1 グラフ2</p> <p>②低い土地の暮らし 高い土地の暮らし: 写真47 イラスト8 地図12 図2 表1 グラフ7</p> <p>③国土の気候と特色: 写真15 図2 地図4 グラフ6</p> <p>④あたたかい土地の暮らし 寒い土地の暮らし: 写真57 イラスト3 図4 地図7 グラフ10</p> <p>2 わたしたちの生活と食料生産: 写真1 イラスト6 図1</p> <p>①暮らしを支える食料生産: 写真16 地図5 グラフ2</p> <p>②米づくりのさかんな地域: 写真46 イラスト1 表1 図4 地図4 グラフ13</p> <p>③水産業のさかんな地域: 写真43 イラスト6 図2 地図17 グラフ14 表4</p> <p>④これからの食料生産とわたしたち: 写真16 イラスト2 グラフ6</p> <p>下巻巻頭: 写真8</p> <p>3 わたしたちの生活と工業生産: 写真9 イラスト8 グラフ1 図1</p> <p>①工業生産と工業地域: 写真10 イラスト6 地図3 グラフ4</p> <p>②自動車をつくる工業: 写真75 イラスト12 図7 地図14 グラフ13</p> <p>③工業生産を支える: 写真22 イラスト5 地図4 図2 グラフ4</p> <p>④これからの工業生産とわたしたち: 写真15 イラスト2 グラフ8 地図4 図2</p> <p>4 情報化した社会とわたしたちの生活: 写真2 イラスト5</p> <p>①情報産業とわたしたちの暮らし: 写真42 イラスト9 図1 地図4</p> <p>②社会を変える情報: 写真42 イラスト1 図10 地図9 グラフ2 表1</p> <p>③情報を生かすわたしたち: 写真13 イラスト4 図2 グラフ2</p> <p>5 わたしたちの生活と環境: 写真5 地図1</p> <p>①わたしたちの生活と森林: 写真34 イラスト8 地図5 グラフ6</p> <p>②環境を守る私たち: 写真34 イラスト1 地図4 図1 表1 グラフ6</p> <p>③自然災害を防ぐ: 写真21 イラスト9 地図3 表2</p> <p>下巻巻末: 写真12 地図1</p>

	<p>(まとめ)</p> <p>写真641 イラスト98 地図114 図表75 グラフ106 計1034</p>
教出	<p>上巻巻頭： 写真3</p> <p>1 わたしたちの暮らしと国土： 写真5</p> <p>①日本は世界のどこにある？ 写真28 イラスト19 地図5 図28 (国旗)</p> <p>②日本の地形と気候： 写真8 地図5 図4 グラフ6</p> <p>③自然条件と人々の暮らし： 写真70 地図14 図5 グラフ11 表5</p> <p>2 食料生産を支える人々： 写真9 地図2</p> <p>①米づくりのさかんな地域： 写真39 イラスト2 地図4 図4 表2 グラフ10</p> <p>②水産業のさかんな地域： 写真52 イラスト2 地図11 図1 グラフ13 表9</p> <p>③これからの食料生産： 写真19 イラスト1 地図6 グラフ13</p> <p>3 工業生産を支える人々： 写真7 グラフ1</p> <p>①自動車づくりにはげむ人々： 写真54 イラスト15 地図5 表2 図3</p> <p>②世界とつながる日本の工業： 写真15 地図3 グラフ16 表1</p> <p>③工業の今と未来： 写真37 イラスト6 地図6 グラフ11</p> <p>上巻巻末： 写真23 地図3</p> <p>下巻巻頭： 写真3</p> <p>4 暮らしを支える情報： 写真2 イラスト6</p> <p>①情報を伝える人々： 写真20 イラスト5 図1 表1</p> <p>②広がる情報ネットワーク： 写真15 イラスト6 図6 地図5 グラフ2</p> <p>③情報を生かすわたしたち： 写真5 イラスト6 図1 グラフ3</p> <p>5 国土の自然とともに生きる： 写真8 グラフ1</p> <p>①森林を守る人々： 写真25 イラスト1 図2 地図2 グラフ3</p> <p>②自然災害とともに生きる： 写真16 図1 地図1 グラフ2 表1</p> <p>③生活環境を守る人々： 写真43 イラスト2 図2 地図3 表2 グラフ3</p> <p>下巻巻末： 写真10 地図2</p> <p>(まとめ)</p> <p>写真516 イラスト71 地図77 図表81 グラフ95 計840</p>
光村	<p>巻頭： イラスト1</p> <p>1 日本の国土とわたしたちの暮らし： 写真2 グラフ3 地図6</p> <p>①日本の国土： 写真14 イラスト1 地図4 図27 グラフ2</p>

	<p>②地形の特色と人々の暮らし： 写真39 地図4 図2 グラフ4</p> <p>③気候の特色と人々の暮らし： 写真37 イラスト1 地図8 図3 グラフ6 表1</p> <p>2 食料生産とわたしたちの暮らし： 写真10</p> <p>①わたしたちの食生活と米作り： 写真44 イラスト2 地図5 図5 グラフ10</p> <p>②わたしたちの食生活と水産業： 写真50 イラスト2 地図18 図2 グラフ10</p> <p>③これからの食料生産と食生活： 写真18 イラスト4 地図1 図2 グラフ7</p> <p>3 工業生産とわたしたちの暮らし： 写真1</p> <p>①暮らしを支える自動車工業： 写真68 イラスト4 地図7 図5 グラフ4</p> <p>②日本の工業生産の特色： 写真36 イラスト8 地図6 グラフ17</p> <p>4 情報とわたしたちの暮らし： 写真1</p> <p>①わたしたちの暮らしと情報産業： 写真31 イラスト7 図1 グラフ5 地図1</p> <p>②情報化した社会とわたしたちの暮らし： 写真5 イラスト20 地図2 図4 グラフ2</p> <p>5 人と自然が共に生きる国土： 写真1</p> <p>①自然環境を守る： 写真34 地図5 図4 グラフ3 表2</p> <p>②森林とわたしたちの暮らし： 写真28 イラスト4 地図3 グラフ4</p> <p>③自然災害から命と暮らしを守る： 写真19 地図3 表1</p> <p>(まとめ)</p> <p>写真438 イラスト54 地図73 図表59 グラフ77 計701</p>
<p>日文</p>	<p>上巻巻頭： 写真10</p> <p>1 日本の国土と人々の暮らし： 写真1</p> <p>①世界から見た日本： 写真22 地図8 図23 グラフ2</p> <p>②さまざまな土地の暮らし： 写真55 イラスト20 地図6 図6 グラフ12 表3</p> <p>2 わたしたちの食生活と食料生産： 写真8 イラスト3</p> <p>①米作りのさかんな地域： 写真40 イラスト15 地図6 図3 グラフ13 表4</p> <p>②水産業のさかんな地域： 写真35 イラスト2 地図8 図5 グラフ14</p> <p>③これからの食料生産： 写真41 地図9 図1 グラフ18 表1 イラスト2</p> <p>上巻巻末： 地図1</p>

下巻巻頭： 写真9

3 工業生産とわたしたちの暮らし： 写真6 イラスト10

①自動車工業のさかんな地域： 写真52 イラスト7 地図4 図4 表1
グラフ5

②日本の工業生産の特色： 写真47 イラスト10 地図10 図4 表1
グラフ29

4 わたしたちの暮らしを支える情報： イラスト2

①情報をつくり、伝える： 写真26 イラスト5 地図2 グラフ1 図1

②情報化社会を生きる： 写真19 イラスト23 地図2 図2 グラフ3
表1

5 国土の環境を守る： 写真12 表1

①環境とわたしたちの暮らし： 写真16 イラスト6 地図2 グラフ2
表2

②森林とわたしたちの暮らし： 写真22 イラスト1 地図4 図4
グラフ4

③自然災害から人々を守る： 写真55 イラスト13 地図5 図1 グラフ8
表1

下巻巻末： 地図1

(まとめ)

写真476 イラスト120 地図67 図表69 グラフ111

計843.

【社会】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	使用されている写真、地図、グラフ等の資料及び小单元における資料の種類と数

発行者	調査・研究内容
東書	<p>(第6学年)</p> <p>上巻巻頭： 写真11 イラスト1</p> <p>1 日本の歴史： 写真26 (資料の絵、人物の絵・像等) イラスト6 表1 (年表)</p> <p>①縄文のむらから古墳のくにへ： 写真50 イラスト8 地図8 図2 表1 (年表)</p> <p>②天皇中心の国づくり： 写真28 (人物の絵・像等) イラスト8 地図7 図2 (文章資料等) 表2 (年表)</p> <p>③貴族の暮らし： 写真22 (人物の絵・資料の絵等) イラスト1 地図2 図1 (文章資料) 表1</p> <p>④武士の世の中へ： 写真24 (資料の絵・人物の絵・像等) イラスト6 (マンガ等) 地図5 図2 表3 (年表)</p> <p>⑤今に伝わる室町文化： 写真27 (資料の絵、人物の絵等) 地図1 表1 (年表)</p> <p>⑥3人の武将と天下統一： 写真24 (資料の絵図、人物の絵等) イラスト1 地図3 図2 (文章資料等) 表1 (年表)</p> <p>⑦江戸幕府と政治の安定： 写真27 (資料の絵・写真、人物の絵・像等) イラスト12 地図6 図2 (文章資料) 表2 (年表) グラフ3</p> <p>⑧町人の文化と新しい学問： 写真29 (資料の絵、人物の絵等) イラスト9 (マンガ等) 地図2 表1 グラフ1</p> <p>⑨明治の国づくりを進めた人々： 写真41 (資料の絵・写真、人物の絵、写真等) 地図3 図4 (文章資料等) 表1 (年表)</p> <p>⑩世界に歩みだした日本： 写真37 (資料の絵・写真、人物の写真等) 地図6 図3 (文章資料等) 表2 (年表) グラフ5</p> <p>⑪長く続いた戦争と人々の暮らし： 写真40 (資料の絵・写真等) イラスト2 地図6 図1 (文章資料) 表7 (年表等) グラフ1</p> <p>⑫ 新しい日本、平和な日本へ： 写真30 (資料の写真等) イラスト9 地図1 図1 (文章資料) 表4 (年表) グラフ1</p> <p>上巻巻末： 写真18 表1 (年表)</p> <p>下巻巻頭： 写真9</p> <p>2 わたしたちの生活と政治： 写真8</p> <p>①子育て支援の願いを実現する政治 震災復興の願いを実現する政治： 写真67 (通信、新聞記事等) イラスト9 地図3 図8 表5 (年表等) グラフ2</p> <p>②国の政治のしくみ： 写真6 図4 グラフ3</p>

	<p>③私たちの暮らしと日本国憲法： 写真46 (新聞記事, パネル等) イラスト22 地図1 図7 (文章資料等) 表1 (年表)</p> <p>3 世界の中の日本： 写真1</p> <p>①日本とつながりの深い国々： 写真97 (国旗等) イラスト13 地図10 グラフ4</p> <p>②世界の未来と日本の役割： 写真60 (楽譜, 資料の絵等) イラスト2 地図4 図1 (文章資料) 表1 グラフ5</p> <p>下巻巻末： 写真23</p> <p>(まとめ) 写真751 イラスト109 地図68 図表75 グラフ25 計1028</p>
<p>教出</p>	<p>(第6学年)</p> <p>上巻巻頭： 写真3</p> <p>1 日本の歴史： 写真14 地図1 表1 (年表)</p> <p>①国づくりへの歩み： 写真30 (資料の絵等) イラスト6 地図3 図2 表1 (年表)</p> <p>②大陸に学んだ国づくり： 写真30 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト2 地図6 図5 (文章資料等) 表3 (年表等)</p> <p>③武士の政治が始まる： 写真14 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト1 地図4 図1 表1 (年表)</p> <p>④今も受けつがれる室町文化： 写真16 (資料の絵, 人物の絵等)</p> <p>⑤全国統一への動き： 写真16 (資料の絵図, 人物の絵等) イラスト6 地図2 図1 (文章資料)</p> <p>⑥幕府の政治と人々の暮らし： 写真19 (資料の絵・写真, 人物の絵・像等) イラスト3 地図4 図2 (文章資料) 表1 (年表) グラフ2</p> <p>⑦新しい文化と学問： 写真30 (資料の絵・写真, 人物の絵等) イラスト2 地図2 グラフ1 図1</p> <p>⑧新しい時代の幕あけ： 写真36 (資料の絵・写真, 人物の写真等) 地図3 図2 (文章資料等) 表2 (年表) グラフ4</p> <p>⑨近代国家に向けて： 写真25 (資料の絵・写真等) 地図5 図1 (文章資料) 表2 (年表) グラフ3</p> <p>⑩戦争と人々の暮らし： 写真36 (資料の絵・写真等) 地図4 図1 (文章資料) 表3 (年表) グラフ1</p> <p>⑪平和で豊かな暮らしを目ざして： 写真30 (資料の絵・写真, 人物の絵等) イラスト10 地図1 図2 (文章資料) 表1 (年表) グラフ2</p> <p>上巻巻末： 表1 (年表) 地図1</p>

	<p>下巻巻頭： 写真5</p> <p>2 暮らしの中の政治： 写真7 グラフ3</p> <p>①わたしたちの暮らしを支える政治： 写真39 (パンフレット等) イラスト4 地図5 図9 表1 グラフ4</p> <p>②憲法とわたしたちの暮らし： 写真16 イラスト13 図6 (文章資料等) グラフ3</p> <p>3 世界の中の日本： 写真13</p> <p>①日本とつながりの深い国々： 写真64 (国旗等) 地図7 グラフ13</p> <p>②世界の人々とともに生きる： 写真48 (国旗等) 地図2 表2 グラフ1</p> <p>(まとめ)</p> <p>写真491 イラスト46 地図50 図表52 グラフ37 計676</p>
光村	<p>(第6学年)</p> <p>巻頭： イラスト1</p> <p>1 日本の歴史 (各中単元始め)： 写真16</p> <p>①狩りや採集の時代から米作りの時代へ： 写真58 (資料の絵等) イラスト6 地図7 図3</p> <p>②強まる天皇の力と貴族の文化： 写真22 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト6 地図4 図4 (文章資料等) 表2 (年表) グラフ1</p> <p>③源平の戦いと鎌倉幕府： 写真15 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト3 地図6 図1 表3 (年表)</p> <p>④今に生きる室町文化： 写真18 (資料の絵等) 地図1 表1</p> <p>⑤戦国の世から泰平の世へ： 写真39 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト1 地図6 図3 (文章資料) 表5 (年表) グラフ2</p> <p>⑥都市の発展と江戸の文化： 写真25 (資料の絵, 人物の絵等) 地図4 図1</p> <p>⑦開国から世界の中の日本へ： 写真55 (資料の絵・写真, 人物の絵・写真等) イラスト4 地図7 図6 (文章資料) 表3 (年表等) グラフ5</p> <p>⑧戦争の時代から平和の時代へ： 写真57 (資料の絵・写真, 新聞記事等) イラスト7 地図8 図1 (文章資料) 表5 (年表等) グラフ2</p> <p>2 わたしたちの暮らしと政治： 写真1</p> <p>①みんなの願いと政治の働き： 写真29 イラスト13 地図5 図8 表3 (年表等) グラフ6</p> <p>②暮らしの中に生きる憲法： 写真19 (当時の絵等) イラスト15 図6 (文章資料等)</p> <p>3 共に生きる地球： 写真1</p> <p>①世界とつながる日本： 写真74 (国旗等) イラスト2 地図6 図1 表3 グラフ10</p> <p>②共に生きる世界をみざして： 写真61 地図7 図2 (文章資料等) グラフ1</p>

	<p>下巻巻末： 写真15 地図2 図2 (文章資料) 表2 (年表等)</p> <p>(まとめ)</p> <p>写真505 イラスト58 地図63 図表65 グラフ27 計718</p>
<p>日文</p>	<p>(第6学年)</p> <p>上巻巻頭： 写真17</p> <p>1 日本の歴史： 写真3 イラスト4 地図4 表3 (年表等)</p> <p>①大昔のくらしと国の統一： 写真31 (資料の絵, 衛星写真, 人物の絵等) イラスト16 地図6 図1</p> <p>②貴族の政治とくらし： 写真32 (資料の絵・写真, 人物の絵, 像等) イラスト21 地図8 図4 (文章資料) 表2 (年表等)</p> <p>③武士による政治のはじまり： 写真18 (資料の絵, 人物の絵・像等) イラスト13 地図3 図1 表1 (年表)</p> <p>④今に伝わる室町の文化と人々のくらし： 写真27 (資料の絵, 人物の絵等) イラスト5 図2 表1</p> <p>⑤天下統一と江戸幕府： 写真37 (資料の絵図, 人物の絵・像等) イラスト12 地図9 図4 (文章資料等) 表3 (年表等) グラフ2</p> <p>⑥江戸の社会と文化・学問： 写真45 (資料の絵, 人物の絵, 衛星写真等) イラスト1 地図1 図1 グラフ2</p> <p>⑦明治の新しい国づくり： 写真27 (資料の絵・写真, 人物の写真等) イラスト2 地図3 図2 (文章資料等) 表2 (年表) グラフ5</p> <p>⑧国力の充実をめざす日本と国際社会： 写真37 (資料の絵・写真等, 人物の写真等) 地図5 図3 (文章資料等) 表1 (年表) グラフ5</p> <p>⑨アジア・太平洋に広がる戦争： 写真34 (資料の絵・写真等) イラスト4 地図9 表5 (年表等) グラフ2</p> <p>⑩新しい日本へのあゆみ： 写真48 (資料の絵・写真, 人物の写真等) イラスト9 地図3 図3 (文章資料等) 表2 グラフ5</p> <p>上巻巻末： 表1 (年表)</p> <p>下巻巻頭： 写真7</p> <p>2 わたしたちの生活と政治： 写真6</p> <p>①わたしたちの願いと政治のはたらき： 写真20 (ホームページ, 広報・ポスター, 新聞記事等) イラスト24 地図3 図6 表1 グラフ8</p> <p>②わたしたちのくらしと憲法： 写真37 (資料の絵・写真, 新聞記事等) イラスト22 (マンガ等) 地図3 図7 (文章資料等) 表1</p> <p>3 世界の中の日本とわたしたち： 写真4</p>

①日本とつながりの深い国々： 写真68 (国旗等) イラスト3 地図7 図1
表2 グラフ8

②国際連合のはたらきと日本人の役割： 写真46 (マーク等) 地図4
図1 (文章資料) グラフ2

(まとめ)
写真544 イラスト136 地図68 図表61 グラフ39
計848

【社会】

観 点	内容の表現・表記
視 点	⑩ 本文以外の記述の工夫
方 法	脚注・側注の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「めあて」大単元の始め ○「つかむ」各小単元はじめの1～3時間分 ○「学習問題」各小単元「つかむ」の最終時間 ○「調べる」各小単元中の数時間分 ○「まとめる」各小単元まとめ各1時間 ○「いかす」各小単元終末（社会に参画させる働きかけ） ○「ことば」（用語の解説等） 3・4年63カ所 5年58カ所 6年80カ所計201カ所 ○「まなびのポイント」（学習の流れ）3・4年28カ所 5・6年なし ○「学び方コーナー」（学習場面に応じた学び方） 3・4年30カ所 5年20カ所 6年22カ所 ○「話し合おう」「やってみよう」による（学習への働きかけ）の吹き出し 3・4年15カ所 5年11カ所 6年6カ所 ○ドラえもんキャラ（学習への働きかけ） 3・4年48カ所 5年34カ所 6年96カ所 ○先生、子どもキャラによる吹き出し 3・4年91カ所 5年14カ所 6年78カ所 ○クリップ（調べ学習等のポイント）やダゲヤ（語句の解説等）のついた枠囲み 3・4年16カ所 5年28カ所 6年9カ所 <p>【使用実績に関すること】 各単元終末の「いかす」があることで、児童が発展的な学習に興味を持って取り組むことができた。</p>
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○「学んでいこう」大単元の始め ○「？」毎時間の課題 ○「活動」毎時間の学習活動（3・4年） ○「学習問題」各小単元はじめに ○「まとめる」小単元終末の学習活動 ○「学びのてびき」（学習場面に応じた活動の方法や手順） 3・4年26カ所 5年10カ所 6年10カ所 ○「やってみよう」（ミニ学習活動）3・4年10カ所 5年27カ所 6年17カ所 ○「キーワード」（用語の解説） 3・4年60カ所 5年55カ所・6年63カ所計178カ所 ○ふくろうキャラクターによる「疑問の投げかけ」の吹き出し 3・4年17カ所 5・6年なし ○子どもキャラクターによる「疑問の投げかけ」「気づき」などの吹き出し 3・4年185カ所 5年141カ所 6年59カ所

光村	<ul style="list-style-type: none"> ○「ホップ 見つける」単元の始め ○「ステップ調べる 話し合う」単元の展開 ○「ジャンプ まとめる・広げる」単元の終末 ○「クラスの学習問題」各単元の始め ○「たいせつ」(学習方法のヒント) 3・4年16カ所 5年12カ所 6年6カ所 ○「ことば」(語句の解説) 3・4年11カ所 5年29カ所 6年34カ所計74カ所 ○鳥キャラクターによる「比較・関連付け」の吹き出し 3・4年19カ所 5年17カ所 6年14カ所 ○博士キャラクターによる「学習を広げ, 深める」吹き出し 3・4年22カ所 5年15カ所 6年13カ所 ○子どもキャラクターによる「気づき」などの吹き出し 3・4年208カ所 5年89カ所 6年84カ所
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習のまど」単元の始め ○「？」毎時間の問題 ○「！」まとめ(毎時間あるわけではない。右ページ右下に記載) ○次につながる新しい問題を, 右ページ右下に記載 ○「キーワード」3・4年41カ所 5年35カ所 6年27カ所計103カ所 ○「学び方・調べ方コーナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・見る・調べる 3・4年19カ所 5年6カ所 6年4カ所 ・読みとる 3・4年7カ所 5年9カ所 6年1カ所 ・表現する 3・4年16カ所 5年4カ所 6年3カ所 ○「考えるヒント」3・4年8カ所 5年12カ所 6年3カ所 ○「やってみよう」3・4年22カ所 5年20カ所 6年6カ所 ○「むずかしい言葉」3・4年17カ所 5年21カ所 6年29カ所計67カ所 ○先生や子どもキャラクターによる「気づき」などの吹き出し 3・4年264カ所 5年48カ所 6年64カ所

【社会】

観 点	言語活動の充実
視 点	① 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための工夫
方 法	観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見学して見たものや聞いたことをメモする。 ○ 気づいたことを話し合う。 ○ わかったことを発表する。 ○ 調べたことや気づいたことをノートに整理する。 <p>【3・4年】 23例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちたんけんの結果を絵地図にまとめ、つなげ、整理する。 ○ 市のあちこちのようすについて整理し、表にまとめる。 ○ 市の自まんポスターをつくる。 ○ よく行く店を調べ、地図にしるしをつける。 ○ スーパーマーケットではたらく人のくふうと、お客さんの願いとをつなげて考え、まとめる。 ○ ささかまぼこの原料がとれる場所を地図にまとめる。 ○ ささかまぼこ工場の仕事の流れや工夫を図にまとめる。 ○ 昔の道具を博物館で見て、分かったことを道具メモにまとめる。 ○ 調べたことをもとに、道具年表をつくる。 ○ 調べるときにとった写真や絵をカードにして地図にはり、れきしマップをつくる。 ○ 学習したことをもとに、きょう土かるたをつくる。 ○ 消防施設のある場所を調べ地図にまとめる。 ○ 火事からくらしを守る人々のはたらきについて調べたことを新聞にまとめる。 ○ 学習したことをもとに、火事を起こさないための標語をつくる。 ○ 市や地域が地震からくらしを守る取組について、表にする。 ○ 地震に備えて自分ができることを考え、家族防災会議を行う。 ○ 安全を守る人の活動を表にまとめ、自分でできることを考える。 ○ 地域の危ないところを調べ、安全マップをつくる。 ○ 水の送られてくるまでの流れを図にする。 ○ 各グループ内で担当を決め、同じ担当の人どうして新しいグループをつくり、まとめ、いつものグループに戻って発表する。 ○ 地域の発展に尽くした人について紙芝居をつくる。 ○ 県内の産業について産業マップをつくる。 ○ 県内の地域の特色を表にし、地域のよさを伝えるカードをつくる。 <p>【5年】 21例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国土の地形を白地図にまとめる。 ○ 川上村や南牧村のガイドになったつもりで、案内するためのスケジュール表をつくる。

- 北海道や沖縄のくらしと産業について表にまとめる。
- 寒い地域の家の工夫を調べ、キャッチコピーをつくる。
- ささまざまな食べ物の産地について地図にまとめる。
- 米作りについて調べたことを基に農作業ごよみを作る。
- 「米づくり事典」をつくる。
- 漁港別に地図にまとめる。
- これからの食料生産について、テレビ番組案をつくる。
- 日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーに表す。
- 工業生産を支えるで学んだことをカルタにする。
- 夢の工業製品を考え、感想を交換する。
- 新聞TV欄から、番組編成の工夫をまとめる。
- 病院でのネットワークの活用について表にまとめ、関係図をつくる。
- 情報活用宣言をつくる。
- ホームページをつくる。
- 森林新聞をつくる。
- 立場を決め、鴨川をきれいにする取組をまとめる。
- それぞれの立場で、どうしたらきれいな川になるか話し合う。
- 自然災害から私達の生活を守る取組を、カードにまとめる。
- 国や地域の取組を踏まえ、自然災害に備えて自分たちでできる取組を提案する。

【6年】 22例

- 縄文や弥生のむらの子どもになったつもりで説明する。
- 調べたことを項目別に整理して新聞にはり、社説に書いて完成させる。
- 調べたことをカードに整理する。
- 調べたことを年表に整理する。
- せりふを考えて、4コママンガを完成させる。
- 室町文化を体験してレポートを書く。
- 天下統一について絵カードに整理する。
- 信長、秀吉、家康に伝えたいことをメッセージに書く。
- 家光になったつもりで、祖父・家康に報告の手紙を書く。
- 外様大名や百姓、オランダ商人の立場で考えて、家光に伝える。
- 室町と江戸の文化を比べて、表に整理する。
- 江戸の学問が社会に与えた影響について、短文にする。
- キャッチフレーズをつくって発表する。
- 明治維新の人物関係図をつくる。
- 調べたことを年表に整理し、コメントをつける。
- 歴史学習をふりかえり、意見文を書く。
- 調べたことをフローチャートに整理する。
- ()に30字くらいの文章を入れ、説明を完成させる。
- 日本国憲法のはたらきについての自分の考えをレポートに書く。
- 新聞の政治に関する記事から気になったものを、カードに整理して発表する。
- 調べた国と日本と似ているところと大きく違うところを表に整理して、意見文を書く。
- 調べたことをカードに整理して、世界地図にはる。

計66例

- 空欄に言葉を書き入れてまとめる。
- テーマにそって、考えたことをノートにまとめる。
- キーワードを使ってノートにまとめる。

【3・4年】 17例

- まちたんけんの結果を絵地図にまとめ、つなげ、整理する。
- 土地の使われ方を地図にまとめる。
- 市を紹介するポスターをつくる。
- 買い物をした店を確かめ、白地図に表す。
- 店ごとに行った人の数をグラフに表す。
- 商品がどこから来るのか、白地図に表す。
- チラシをつくって、仕事の工夫を伝える。
- 昔の道具を絵カードに書く。
- おじいさんおばあさん、お父さんお母さんに話を聞いて、今との違いをまとめる。
- 絵カードを並べて、年表をつくる。
- 昔さがしマップをつくって、発表し合う。
- 地域安全マップをつくる。
- 地域安全会議を開く。
- ごみの減量や節水をよびかける言葉を考える。
- 地域を歩き分かったことや疑問をふせんにまとめる。
- 地域の開発に尽くした、勸兵衛に手紙を書く。
- 県をしようかいするパンフレットをつくる。

教出

【5年】 14例

- 自然条件と人々の暮らしとの関わりを振り返り、特色ある地域ごとに、表にまとめる。
- 日本の国土について紹介するキャッチフレーズを考え、発表し合う。
- 「食べ物産地マップ」をつくる。
- 米づくりの昔と今を比べる表をつくる。
- 食料確保のために「心配なこと」「大切なこと」をノートにまとめる。
- 自分の考えを食料生産新聞にまとめる。
- 輸送機関の特色を、表にまとめて比べる。
- 自動車づくりに求められているニーズと、そのニーズに応える工夫や取組を表にまとめる。
- 日本の工場数が減っていることに着目し、日本の工業生産の未来について話し合う。
- 情報ネットワークにより、だれが、どのように便利になったのかを表にまとめる。
- インターネットを利用する暮らしの便利な点と違う点を表にまとめる。
- 情報ルールを考え、話し合う。
- 日本で起こる自然災害と、被害を防ぐための対策について表にまとめる。
- 調べた国を、世界地図に書き込む。

	<p>【6年】 10例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時代の特徴を表にまとめる。 ○ つくり方を話し合い、歴史新聞をつくる。 ○ 信長、秀吉、家康について、比較しながら表にまとめる。 ○ 信長、秀吉、家康の立場に立って、インタビューに答える。 ○ 「平和で豊かなくらしを目ざして」をテーマに、考えを書く。 ○ 歴史の人物、できごとから意見文を書いてまとめる。 ○ 日本国憲法の考え方の中で大切だと思うことを挙げ、理由も書く。 ○ 政治への参加について投票率、人々の意識、外国の選挙制度から考える。 ○ 韓国の文化を体験する。 ○ よりよい社会をつくっていくために学んでいきたいこと、実行したいことを宣言文にまとめる。 <p>計 41例</p>
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想し、調べたことをノートにまとめ、話し合う。 <p>【3・4年】 19例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ まちたんけんの結果をカードに書き、絵地図にまとめ、つなげる。 ○ 市についてのガイドマップを作成する。 ○ 一週間の「買い物日記」をつけ、地図や資料にまとめる。 ○ グループに分けて、スーパーに買い物に行く人が多い理由を予想し、確かめる。 ○ 店の紹介ポスターをつくる。 ○ 見学でお世話になった人にお礼を書く。 ○ 昔さがしカードに書く。 ○ 昔の子ども達のお手伝いを体験する。 ○ 昔と今の違いを年表にまとめる。 ○ 昔から伝わる行事を紹介して、カードに書く。 ○ 消防署見学カードをつくる。 ○ まちを守る人たちの仕事を調べ、発表する。 ○ まちにある交通事故を防ぐ設備を調べ、白地図に書く。 ○ 町の安全マップをつくる。 ○ ごみの学習を振り返り、標語をつくる。 ○ 水の旅すごろくをつくる。 ○ 自分達の県の地形図をつくる。 ○ 県の旅行計画書をつくる。 ○ 「県じまんかるた」をつくる。 <p>【5年】 14例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の地形について調べ、白地図にまとめる。 ○ 「日本の国土クイズ大会」を開く。 ○ 学習した地域と自分達の地域とを比べて、表にする。 ○ 地域を紹介するパンフレットをつくる。 ○ 魚料理作りを体験する。 ○ 食料生産と食料問題について調べたことを発表する。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自動車工場を見学し、見学カードにまとめる。 ○ 10年後の自動車の企画書をつくる。 ○ 日本の工業生産の特色を新聞にまとめる。 ○ 同じ出来事を扱った2つの新聞記事を比べる。 ○ 「わたしたちの情報ルール」をつくる。 ○ 「わたしたちの環境宣言」をつくる。 ○ 調べ学習でお世話になった人に、お礼の手紙を書く。 ○ 防災のためにできることを考え、発表する。 <p>【6年】12例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大昔の人々のくらしを劇にする。 ○ 歴史新聞をつくる。自分の考えを各コーナーもつくる。 ○ 貴族の世と武士の世を比べる。 ○ 室町文化を体験する。 ○ 3人の武将の人物年表をつくる。 ○ 江戸時代のくらしをスピーチで伝える。 ○ 開国してからの時代で活躍した大たちの「人物事典」をつくる。 ○ カードをつくりまとめて、戦後の年表をつくる。 ○ 「わたしたちの提案書」をつくる。 ○ 憲法の意義についてスピーチする。 ○ 調べた国について、発表し合う。 ○ 未来について考え、発表し合う。 <p>計45例</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードを使ってふり返りシートに書く。 ○ 資料から気づいたことを話し合う。 ○ 見学したり聞いたりしたことを発見カードに書き込む。 ○ ふり返りの内容を新聞にする。社説に考えを入れる。 <p>【3・4年】19例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の屋上から見えるものを、絵や文字でスケッチする。 ○ まちたんげんの結果を絵地図にまとめ、つなげ、整理する。 ○ 地図記号を使って、わかりやすい地図にする。 ○ 市のようすをガイドマップにまとめ、紹介をする。 ○ 店の場所を地図に書き込む。 ○ 買い物調べカードをつくる。 ○ 店内図に売り場を書きこみ、見学発見カードを張り付ける。 ○ 調べた産地を白地図に書きこむ。 ○ スーパーマーケットのキャッチコピーを考える。 ○ おすすめの店を選び、ふり返りシートに書きこむ。 ○ 道具とそれを使っていたくらしのようすを調べ、道具調べカードに書く。 ○ 道具を使っていた調べカードを並べ、絵年表をつくる。 ○ 祭り調べカードを書く。 ○ 地域の祭りについて、知っていることを3つ書く。 ○ 白地図に都道府県名などを書き込む。 ○ ごみの出し方について、意見交流会を開く。

- 県をPRするためのクイズをつくる。
- 県をPRするパンフレットをつくる。
- ノートをもとに、県の学習をカルタや地図にまとめる。

【5年】9例

- 三大洋六大陸、国の位置などを白地図に書きこむ。
- 二つの地域の暮らしや産業を比べて、シートに書きこむ。
- 「これからの米づくりで大切なことは何か」を話し合う。
- 食料の安定供給について、資料をよりどころにして話し合う。
- これからどんな自動車が求められているのか、考えと理由を話し合う。
- ふり返しシートに日本の工業の特色についてまとめる。
- 新聞づくりに関わっている人を一人選び、その人の仕事についてまとめる。
- 「わたしたちは、情報や情報ネットワークとどのように付き合っていけばよいか」について話し合う。
- 自然災害から命や暮らしを守るためにどんな備えをすればよいか、話し合う。

【6年】10例

- 縄文、弥生を比べ、同じ所や違うところを探す。
- 人物についてカードにまとめる。
- キーワードとして書き出し、それを使ってわかったことをまとめる。
- 室町文化のなかで興味をもったものに○をつけ、理由を書く。
- 明治の国づくりに大きな役割を果たしたと思う人に○を、理由をキーワードを使って書く。
- 年表や写真を使って新聞にまとめ、考えを社説に書く。
- 「オリンピック東京大会で日本は世界の人々にどんなことを伝えることができただろうか」話し合う。
- 日本国憲法三原則のうち、自分や学校と関係が深いものを選び、理由を書く。
- マンガを読んで、王様の行う政治の問題点を話し合う。
- 日本人として自分に何ができるのか、考えてまとめる。

計 38例

【社会】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑫ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方 法	新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例

発行者	調査・研究内容		
東書	<p>新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方</p> <p>【3・4年】</p> <p>ノートにまとめ7 表にまとめる4 図にまとめる 話し合い5 発表3</p> <p>絵地図づくり ポスターづくり 新聞づくり お店マップづくり 2 カルタづくり カードづくり 紙芝居づくり 標語づくり</p> <p>家族で会議 提案する 報告会</p> <p>【5年】</p> <p>ノートまとめ5 カードにまとめる 表にまとめる3 地図にまとめる2 関係図にまとめる 話し合い7</p> <p>新聞づくり スケジュール表作り</p>	<p>具体例</p> <p>(第3・4学年)「市の様子」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の特徴的な5か所を取り上げ、「土地の様子」「人の様子」「交通の様子」について、表にまとめる。 ○ 市の特色やよさをポスターで知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・市の形を薄い紙で写し取る。 ・分かったことを書き入れる。写真や資料をはってよい。 ・特にみんなに伝えたいことを書き入れる。 ・例示されているものは市の地図に5つの「じまん」を写真入りで載せている。 <p>(第3・4学年)「きょう土のはってんにつくす」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙芝居にまとめる <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題を確認すること、学習に出てきた言葉を使うこと。 ・場面にあったせりふを考えること、その時の人々の気持ちになってせりふをつけること。 ・グループで分担し、協力する。 ○ 発表会を開き、考えたことを話し合う。 	
	<p>(第5学年)「自動車を作る工業」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・「組み立て工場」「関連工場」「世界へとどける」「これからの自動車づくり」に分けて、工夫や努力をまとめる。 ○ キャッチコピーをつくる <ul style="list-style-type: none"> ・日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーで表し、理由を書く。 ・例示：「努力と協力「地球環境に優しい自動車」 <p>(第5学年)「自然災害を防ぐ」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害から私たちの生活を守るための取組を、カードでまと 		

<p>事典づくり テレビ番組づくり キャッチコピー作り カルタ作り 夢の製品づくり 宣言づくり ホームページづくり</p> <p>【6年】 話し合い4 考えを発表 ノートにまとめ7 カードに整理4 表に整理2 短文に整理 関係図に整理2 フロートチャートに整理 年表に整理3 地図に整理</p> <p>当時の人のつもりで説明 人物にメッセージ2 人物に手紙 新聞づくり3 マンガ作り レポート作り2 キャッチフレーズ作り2 意見文を書く5</p> <p>36例</p>	<p>める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国がしていること，地域がしていることで分けている。 <p>○ 国や地域の取組を踏まえ，自分たちでできることを提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案したい内容を話し合う。 ・自分たちで考えた提案をまとめる。 ・目につくところにはっておくとよい。 <p>(第6学年)「明治の国づくりを進めた人々」まとめ</p> <p>○ 明治維新の人物関係図をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保利通，西郷隆盛，木戸孝允の業績や役割をカードにまとめる。 ・3人と関係のある人物について，業績や役割を別のカードにまとめる。 ・3人の中で一番興味をもった人物を真ん中に配置し，他の2人を周りに置き，矢印や言葉で関係を記す。 ・その他の人物も適当な位置に置き，矢印や言葉で関係を記す。 ・人物関係図で書ききれなかった時代の内容については「ことば」(キーワード)を使ってまとめる。 <p>○ 人物を選んで，新しい時代への思いや願いを書く。</p> <p>(第6学年)「わたしたちのくらしと日本国憲法」まとめ</p> <p>○ 堺市の平和と人権資料館にあるパネルから，気づいたことを話し合う。</p> <p>○ 日本国憲法の働きについて，考えたことをレポートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の三原則と，くらしのかかわりについてまとめる。 <p>○ 資料『『平和学習の街ヒロシマ』をたずねて』を読み，平和について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平和」と聞いて思い浮かぶこと。 ・「平和」を築くために自分たちができること。 <p>○ 新聞の政治に関する記事を選び，カードに整理して発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記事の大まかな内容 ・意見・感想 ・記事と政治や憲法との関連について ・友達の意見・感想 <p>○ よりよい社会を実現するために，今できることは何か，あなたならなにをしたいか，例を参考に考える。(8つイラストや写真付きで例示)</p> <p>○ 学習を生かした小学校の活動について考える。(資料：堺市の小学校の取組)</p> <p>○ 話し合った活動をもとに，自分の考えを書く。</p> <p>※ 学年末</p>
--	--

		<p>○ 「これまで学んだことを生かし、中学校社会科への期待について、意見文を書こう。」</p>
<p>教出</p>	<p>【3・4年】 絵地図づくり ノートにまとめ14 説明9 発表会 白地図にまとめ</p> <p>ポスターづくり チラシ作り 年表作り マップ作り 人物に手紙 よびかける文作り パンフレット作り</p> <p>【5年】 ノートまとめ14 表にまとめる6 話し合い4</p> <p>キャッチフレーズ 作り 新聞作り</p> <p>【6年】年表にまとめる(虫食い)2 表にまとめる(虫食い)2 話し合い2 歴史人物にインタビュー インタビューに答える 解説する2 新聞作り 宣言文作り カードにまとめ</p> <p>21例</p>	<p>○ (第3・4学年)「わたしたちの市の様子」まとめ</p> <p>○ グループで話し合い、一枚のポスターにまとめる。 ・「考える手がかり」として、市の東西南北の様子、土地、建物、交通の様子について取り上げるよう促している。 ・例示されているものに市全体の地図と、写真も提示している。</p> <p>○ グループごとに発表し合い、感想をノートに書く。</p> <p>(第3・4学年)「昔から今へと続くまちづくり」まとめ</p> <p>○ 勘兵衛さんへの手紙を書く。 ・新田が開発された後の町の様子を調べる。 ・町をつくり変えてきた人々の願いや思いを入れる。 ・これからどんなまちにしていきたいかも伝える。</p> <p>(第5学年)「自動車づくりにはげむ人々」まとめ</p> <p>○ 自動車工業のラインの写真に作業順番と作業名を書き入れる。 ○ 利用者のニーズと、それに応える取組を表でまとめる。 ○ 大切だと思った工夫や努力をあげ、理由を書く。</p> <p>(第5学年)「自然災害とともに生きる」まとめ</p> <p>○ 日本で起こる自然災害と、被害を防ぐための対策について、表にまとめる。 ○ 自然災害に備えて、自分達の取り組むべきこと、気をつけることを考え、ノートに書く。</p> <p>(第6学年)「新しい時代の幕開け」まとめ</p> <p>○ 江戸幕府が倒れる前と後の、世の中の動きを年表にまとめる。 ・()をうめる。 ○ 「多くの子どもが学校で学ぶことによって…」の後の文を考える。 ○ 「天皇」「西洋」「近代化」を使って、明治政府が目指した国づくりについてまとめる。</p> <p>(第6学年)「憲法とわたしたちの暮らし」まとめ</p> <p>○ ()の中に日本国憲法の三大原則を書く。 ○ 日本国憲法の中で大切と思うものをあげて、理由も書く。 ○ 政治への参加について、資料をもとに話し合う。 ・資料：投票率の変化 年齢別投票率 投票に対する人々の意識 外国の選挙制度</p> <p>※ 学年末 「よりよい社会をつくっていくために自分たちはどのように 参加していくかを考えながら、これから実行したいことや、中学校で学んでいきたいことを、宣言文にまとめよう。」(第6学年)</p>

光村	<p>【3・4年】</p> <p>話し合い 発表会 ノートまとめ 年表にまとめる 紹介カード作り 絵地図作り 安全マップ作り ガイドマップ作り ポスター作り お礼カード作り 標語作り すごろく作り 紙芝居作り 旅行計画書作り かるた作り</p> <p>【5年】</p> <p>表にまとめる クイズ大会 パンフレット作り 魚料理作り 企画書作り 新聞作り 話し合い 情報ルールづくり 環境宣言作り 手紙</p> <p>【6年】</p> <p>劇新聞作り 発表会2 人物年表作り スピーチ2 人物事典作り 年表作り 提案書作り</p>	<p>(第3・4学年)「わたしたちの市」まとめ</p> <p>○ 市のガイドマップを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなガイドマップにするか、話し合っって作るよう促している。 ・子ども達が、紹介したい施設について話し合っている。 ・「たいせつ」欄で、「川や道路、鉄道、人が集まる場所をかき入れる」「田畑が多いところ、店が多いところを色分けする」「絵、写真を使う」「紹介する文は伝えたいことを短く」と書いている。 ・例示されているものは市の地図に「畑が多いところ」「お店が多くてにぎやかなところ」に色、あとは主な施設の場所を示している。 <p>(第3・4学年)「ふるさとをゆたかに」まとめ</p> <p>○ 紙芝居にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで一つの紙芝居にする。 ・分担を決めて作る。 ・地域の人を招いて発表する。 <p>(第5学年)「くらしを支える自動車工業」まとめ</p> <p>○ 「10年後の自動車」の企画書を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで話し合う。例示：安全、環境、利用しやすさ ・「たいせつ」欄で、提案文章を書くときに①問題点と理由②具体的な提案③実現した時の効果、という組み立てて書くことを促している。 ・企画書を作り、発表する。例示：「災害が起こっても平気!!水陸両用カー」 ・企画書は、お世話になった自動車工場の人へ送る。 <p>(第5学年)「自然災害から命とくらしを守る」まとめ</p> <p>○ 「今、自分たちにできること」を考え、実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにテーマを決め、調べたことや考えたことを発表し合う。 ・例示：地域の防災施設や設備を知る。地域で、これまでにあった自然災害から学ぶ。災害の備えについて考える。 ・グループごとにテーマを決め、調べたことや考えたことを発表し合う。 <p>(第6学年)「開国から世界の中の日本へ」まとめ</p> <p>○ 「人物事典」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず取り上げること…人物の名前、生まれた年となくなった年、その人が果たした役割、エピソード、資料名 ・引用するときは「 」で囲むこと、資料を要約するときもその資料を入れるようにする。 ・地域の人についても調べて「人物事典」に入れるよう促している。
----	---	--

	<p>意見文</p> <p>29 例</p>	<p>・例示：坂本竜馬，木戸孝允</p> <p>(第6学年)「暮らしの中に生きる憲法」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 憲法の意義についてスピーチをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・憲法に定められている権利と義務から，一人一人が話題を選ぶ。 ・例示6つ「もし，教育を受ける権利がなかったら。」など ○ 二つの資料から，人権について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料：ハンセン病患者，アイヌ民族 <p>※学年末</p> <p>それぞれが興味をもったことを調べ，みんなで話し合い，「地球の未来に向けての意見文」を書く。</p>
<p>日文</p>	<p>【3・4年】</p> <p>地図づくり 発表 ガイドマップ作り ふりかえりシート4 表にまとめる ノートにまとめる3 意見交流会 話し合い 安全マップ作り 紙芝居作り クイズ作り パンフレット作り かるた作り</p> <p>【5年】</p> <p>ふり返しシート3 話し合い6 新聞作り2 ノートにまとめる</p>	<p>(第3・4学年)「わたしたちの市のようす」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市のガイドマップをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地図は薄い紙を写して書く。市の形，主な鉄道や道路，川をなぞるようになっている。 ・文，イラスト，写真，吹き出しを使う。 ・ガイドマップの最後に，調べたことをもとにした自分の考えを書く。 ・でき上がったマップを見せ合い，いいところをさがし，教え合う。 ・例示しているマップは，左半分に特徴的な場所を写真入りで説明，右半分に市の地図を入れ，土地利用別に色分け，分かったことを囲みで入れている。 <p>(第3・4学年)「地いきのはってんにつくした人々」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浜口梧陵のはたらきを整理して，紙芝居にする。 <ul style="list-style-type: none"> ・お話を振り返る。見学して分かった，今も残る梧陵のあとを振り返る。 ・堤防がどのようにして作られたか，堤防によって村がどのようになったかを振り返る。 ・グループで手分けをして，紙芝居を作る。(作り方を細かく提示している) ○ 他の学年の人や，家の人に見てもらおう。 <p>(第5学年)「自動車工業のさかんな地域」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これからどんな自動車が求められているのか」について自分の考えと理由を発表し，話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・例示：安全な車，使う人の目的にあった車，環境に優しい車 ・発表を側いた人の意見も出し合う。 ○ 発表を終えた後，あらためて自分の考えをノートに書く。 <p>(第5学年)「自然災害から命とくらしを守る」まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちは自然災害から自分たちの命やくらしを守るために，どんな備えをすればよいのか。」について考えを出し合い，話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・例示：「危険な場所を確かめる」「防災情報を家族と共有する」「被

	<p>【6年】</p> <p>ノートにまとめる カードにまとめる 新聞にまとめる2 図にまとめる2 ふり返しシート5 話し合い5 地図にまとめる</p> <p>17例</p>	<p>害を語り継ぐ」「地域での結びつきを大切にする」</p> <p>○ 日本では今後、どのような自然災害が予想されるのか調べ、そ なえや、自分たちにできることを話し合うよう、促している。</p> <p>(第6学年)「明治の新しい国づくり」まとめ</p> <p>○ 年表でふり返る。</p> <p>○ 幕末の人物の関係について、もう一度ふり返る。</p> <p>○ 人物関係図の中から、明治の新しい国づくりに大きな役割を果 たした人に○をつけ、選んだ理由をキーワードを使って書く。 ・キーワード: 開国, 文明開化, 明治維新, 天皇中心, ()</p> <p>(第6学年)「わたしたちのくらしと憲法」まとめ</p> <p>○ 日本国憲法の三原則から、自分や学校の生活に最も関係が深い と思うものを一つ選び、理由もまとめる。</p> <p>・日本国憲法前文の内容を振り返る。</p> <p>・三つの原則のうち、どれが自分の生活と関係が深いか考える。</p> <p>・選んだ原則について、自分たちの生活のどんな場面にあらわれ ているかを考える。</p> <p>・ふりかえりシートにまとめる。</p> <p>○ 国民主権, 基本的人権について考える</p> <p>・資料: アメリカやヨーロッパの動き 日本国民主権, 基本 的人権のあゆみ</p> <p>・マンガを読んで, 王様の行う政治の問題点を話し合う。</p> <p>※学年末</p> <p>「これまでの学習をふりかえって, 日本人の役割として, 自分に 何ができるか考え, ふりかえりシート『わたしが, できること, 考えていきたいことは, これだ!』を書こう。」(第6学年)</p>
--	---	---

平成30年 7月 3日

呉市教科用図書選定委員会委員長 様

呉市教科用図書調査・研究委員会

種目 地図

代表者 蒲刈小 学校

氏名 角井佳子

呉市教科用図書調査・研究報告書について（報告）

このことについては、別添のとおりです。

【地図】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	① 題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
方 法	地図の見方の記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 読図に関しては、『地図帳の使い方①』、『地図帳の使い方②』（4ページ）において「凡例、索引、方位、縮尺、地形表現」を、それぞれ「この地図帳の地図記号（凡例）」、「どこにある？（さくいん）」、「どちらにある？（方位）」、「きょりはどれくらい？（縮尺）」、「高さや深さはどれくらい？（地形表現）」（地図帳の使い方①）で説明している。</p> <p>はかせと子どものキャラクターの吹き出しによる説明がされており、索引の使い方は4コママンガ風に説明されている。その後、『広く見る地図（400万分の1の日本列島）』を紹介し、『地方別に見る地図（100万分の1の関東地方）』、『くわしく見る地図（50万分の1の沖縄島）』を例示して、経線・緯線・日本標準時子午線・地形や交通の様子、土地利用などについてふれている。（『地図帳の使い方②』）</p> <p>○ 『地方別に見る地図』では『県の様子を読み取ろう』、『くわしく見る地図』では『地域をくわしく見てみよう』のコーナーを設け、縮尺に対応した地図の見方を示している。</p> <p>○ 100万分の1の地図に50万分の1の地図の範囲（くわしく見る地図のはんい）が示される工夫がある。</p>
帝国	<p>○ 読図に関しては、『地図のなりたちとやくそくごと』、『地図帳の使い方①』、『地図帳の使い方②』（6ページ）で説明している。</p> <p>○ 『地図のなりたちとやくそくごと』として、「方位、凡例、地形表現、縮尺」を「方位（方向）」、「土地の高さ」、「地図の記号」、「距離と縮尺」で説明している。その際、実際の写真が地図になるまでを4段階で示すことで、地図のなりたちを説明しており、凡例や地形表現について、もとの写真と比較できるよう工夫している。</p> <p>○ 『地図帳の使い方①』の『記号に注目』、『さくいんを使って場所をさがそう』で「地図の記号（凡例）」、「索引の使い方」にくわしくふれている。また、地図の色について説明するコーナーもある。</p> <p>○ 『地図帳の使い方②』では、400万分の1と100万分の1の地図が並べて示されており、縮尺の目盛りにコンパスをあて、実際の距離を割り出すことができるよう『縮尺を使って距離をはかろう』というコーナーを設けている。また『都道府県のように地図で調べよう』というコーナーでは、都道府県の様子を「自然・地形」、「くらし・産業」、「交通（道路・鉄道）」に関わる地図の情報に絞り、見ていくといった情報別に見る方法にふれている。</p>

【地図】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方 法	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭、観音開き3ページで「ながめてみよう日本のすがた」と題し、日本の国土が一覧できる地名等が一切ない地図を掲載している。 ○ 「日本とそのまわり」(2000万分の1)で、近隣諸国等(中国、北朝鮮、韓国、ロシア、フィリピン、台湾)や地理的環境を1ページで表記している。 ○ 国の範囲(領土、領海)や日本の排他的経済水域(200海里水域)の説明がある。また、日本の東・西・南・北の端の島の説明と写真を掲載している。 ○ 中国地方の地方図に、島根県の一部として竹島の位置を別枠で掲載している。 ○ 歴史的事象の記載については、「日本の歴史と文化―世界文化遺産―」(2ページ)で、昔(1868年(明治元年)時点)の国名と特徴的な行事等を紹介している。さらに、日本の世界文化遺産を15、写真と説明を紹介している。 ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を青の囲みに白抜き文字で示すようにされている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「宇宙からながめた日本列島」(巻頭1ページ)で、宇宙から見た日本と周辺諸国の写真を掲載している。さらに「日本とそのまわり」(2ページ)で、近隣諸国や地理的環境を紹介している。 ○ 「日本とそのまわり」(2ページ、2000万分の1)では、近隣諸国14カ国(中国、ロシア、北朝鮮、モンゴル、韓国、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナム、ミャンマー、フィリピン、マレーシア、インドネシア、ミクロネシア)を国旗とともに紹介している。 ○ 排他的経済水域、接続水域、領海、領空等を模式図で示し、国の範囲を説明するとともに、日本の東・西・南・北の端の島の説明と写真を掲載している。 ○ 6ページにわたり掲載されている400万分の1の日本列島の地図には、北方領土(知床半島から見た国後島)、竹島、尖閣諸島の写真を掲載し、その位置を具体的に示している。 ○ 各地方図には、歴史的事象・建造物等を地図上に青地に白抜き文字で掲載している。 ○ 東京都中心部の地図と同じページに、江戸時代末の江戸の地図を掲載している。 ○ 歴史的事象の説明には、「日本の歴史」のページを見開き2ページで設け、日本の歴史のおもな出来事が掲載された年表を掲載するとともに、年表や「歴史の舞台になった場所」に青地に白抜き文字で歴史的事象・建造物等を載せ、地図の何ページにあるか分かるようページ数を示している。さらに「江戸時代の交通路」、「昔の国名が示された地図」、「(むかしの境界(1868年時点の国名))」伊能忠敬の日本地図の写真、「鎌倉のようす」等を掲載している。 <p>【使用実績に関すること】</p> <p>北方領土、竹島、尖閣諸島の写真が掲載され、国の範囲を模式図で説明していることで、児童が領土問題や日本の国の範囲を認識しながら考えを深めることができた。</p>

【地図】

観 点	基礎・基本の定着
視 点	③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方 法	環境, 国際理解等の学習への活用

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「世界の国々」(見開き3ページ)に世界全図と国旗(地域別に197カ国と赤十字, 国連, オリンピック)を掲載している。 ○ 世界の各地方図では物産, 歴史的遺産, 自然, その他の特色を示した小さなイラストを地図上に配し, 紹介している。他にも, 世界遺産の登録地(一部のみ)を記号で示している。 ○ 「日本と世界の自然」として, 見開き2ページで日本と世界の川, 山, 湖, 島等を掲載し比較をしている。 ○ 日本の貿易については, 見開き2ページで記載されており, おもな国や地域との貿易額, 日本の貿易相手国や輸出入品がグラフ等で示されている。 ○ はかせと4人の子どもキャラクターに, 地域の特徴などを吹き出しで紹介させている。 ○ 「世界のおもな国の統計」で, 主な国の国名, 首都, 面積, 人口, 人口密度, 主な言語, 日本への輸出入品とその額を一覧表にしている。 ○ 世界の環境については, 「日本と世界の自然」(2ページ)で世界の主な山(10)とその高さや川(7)とその長さを比較できるようにイラストやグラフで説明している。世界の各地域図に, それぞれの地域に分布している代表的な植物(針葉樹林, サボテン, 小麦, コーヒー, 熱帯林, ナツメヤシ)等の小さなイラストを付けている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「世界の国々」で世界全図, 世界各国(16カ国)の民族衣装とあいさつの言葉, 世界の主な祭り(4地域)の写真と説明を掲載している。 ○ 世界の各地方図のページで国旗(197カ国とEU)を掲載し, 物産, 歴史的遺産, 自然, その他の特色を示した小さなイラストや写真(14枚)を地図上に配し, 紹介している。 ○ 世界の各地方図に, 「世界文化遺産」, 「世界自然遺産」, 「なんでも世界一」などを記号で示している。 ○ 「日本と世界の結びつき」(1ページ)として, 日本の主な輸入相手国・地域と輸入品, 日本の主な輸出相手国・地域と輸出品を示している。 ○ 世界の環境については, 「自然の統計」(1ページ)で世界の主な山(13)とその高さや川(5)とその長さを比較できるようにイラストやグラフで説明している。 ○ 世界の各地域図に, それぞれの地域で食べられている主な料理(パエリア, ボルシチ, スパゲッティ, サーモン料理等)小さなイラストを付けられている。また, 世界の各地域図には, 「世界一周写真館」のタイトルで, 世界各地の人々の生活の様子等を撮影した写真を掲載している。 <p>【使用実績に関すること】</p> <p>世界の各地方図のページでは, 物産, 歴史的遺産, 自然, その他の特色を示した小さなイラストや写真が多く掲載されていることで, 人々の暮らしの様子を視覚的にとらえることができ, 国際理解への興味関心をもたせることができた。</p>

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④ 興味・関心を高めるための工夫
方 法	興味・関心を高めるための記載例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の47都道府県」を一覧にしたページで、はかせと4人の子どものキャラクターを登場させ、都道府県を調べる意欲が高まるよう、海に面していない都道府県や山などの漢字がついている都道府県を探させる等のクイズを4つ出題させている。 ○ はかせと4人の子どもキャラクターがほぼすべてのページに登場し、その地域の特徴や活動例などを吹き出して示している。 ○ 世界の地図では、特産物生産地や希少な野生動植物生息地等をイラストで示している。 ○ 農産物や工業製品などの小さなイラスト（「産業の記号」と呼んでいる）を75種類用意し、地図上に配すことで、農産物や工業製品の分布に関する興味・関心を高めている。 ○ 「日本と世界の自然」では、掲載している日本や世界の代表的な山、島、湖の形や大きさが、写真や彩色豊かなイラストで立体的に表現されている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県」を一覧にしたページで、形に注目させるクイズや山という漢字がついている県名を探すクイズ等を紹介し、都道府県を調べる意欲が高まるようにしている。 ○ ヒロシさんとアツミさんの2人が、いろいろなところに登場し、吹き出して地図の着眼点を紹介する等している。 ○ 地方ごとに、その地方を特徴づける部分図（例「広島市のようす」や「鳥取砂丘のようす」）があり、調べ学習に活用できる。 ○ 世界各地図では、特産物生産地や希少な野生動植物生息地等をイラストで示すとともに、「なんでも世界一」を紹介したり「おもな世界遺産」「物語（ハリーポッターやピノキオの冒険等）や音楽（ほたるの光や森へ行きましょう）の舞台となったところ」を地図上に記号で示したりして興味を高めている。また、「歴史上の人物」の活躍地などもイラストで地図上に示している。 ○ 農産物や工業製品などのとても小さなイラスト（「産業の記号」と呼んでいる）を41種類用意し、地図に配置することで、農産物や工業製品の分布に関する興味関心を高めている。 ○ 巻頭で宇宙飛行士の若田光一さんのメッセージを紹介し、地図帳のページをめくって、新しい発見をするよう促している。

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	④ 興味・関心を高めるための工夫
方 法	呉市や広島県に関する記述

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『日本の自然—地形—』(P5) に広島平野が記載されている。 ○ 100万分の1の地図『中国地方』に広島県及び呉市が載っている。 ○ 広島県については、原爆ドームと厳島神社に世界遺産のマークが付いている。また、『日本の歴史と文化—世界文化遺産—』(P71) には原爆ドームと厳島神社の写真が掲載されている。 ○ 呉市は、「呉、音戸、川尻、安浦、下蒲刈島、上蒲刈島、大崎下島、倉橋島、鹿島」の地名が掲載されており、川尻の筆とみかんの小さなイラストが掲載されている。 ○ 『日本の都道府県の統計』(P75, 76) で、「おもな伝統工芸品」という欄を設け、「宮島細工、広島仏壇、熊野筆、川尻筆、福山琴」が紹介されており、呉市の「川尻筆」も記載されている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『日本の都道府県』(P2) で47都道府県すべての代表的なものが紹介されており、広島県は厳島神社がイラストで示されている。 ○ 100万分の1の地図『①中国地方』と50万分の1の地図『②広島市とそのまわり』に広島県と呉市が載っている。 ○ 広島県については、2つの地図それぞれに原爆ドームと厳島神社が世界文化遺産のマークとともに掲載されている。また、『日本の歴史』(P70) で厳島神社の写真が掲載されている。 ○ 呉は「呉、音戸、倉橋島、鹿島、下蒲刈、下蒲刈島、蒲刈、上蒲刈島、豊浜、豊島、豊、大崎下島、川尻、安浦」、他にも「音戸大橋、早瀬大橋、海事歴史科学館や朝鮮通信使、灰ヶ峰、野呂山、弘法寺」が掲載されている。さらに、牡蠣、ミカン、レモン、川尻の筆といった特産物のイラストが掲載されている。 ○ 地方の特徴を示した部分図「広島市のようす」では、原爆の被害状況にもふれている。(P24) ○ 『日本の産業の様子』(P67, 68) で府中町の自動車、呉・福山の製鉄等が地図中に記号で示されている。 ○ 『自然の統計』(P72) で広島月の気温と降水量等が表に記載されている。 ○ 都道府県別の統計『日本のすがた』(P73, 74) に「ふるさと自慢」と「おもな伝統工芸品と生産都市」という欄を設け、広島県では「かき、レモン、お好み焼き、原爆ドーム、厳島神社、熊野筆、備後かすり」を紹介している。また「おもな工業製品の生産」では、広島県は鉄鋼、携帯電話・PHS、IC、自動車・オートバイ、木製つくえ・テーブル・いすで生産上位に入っていることがわかるようになっている。

【地図】

観 点	主体的に学習に取り組む工夫
視 点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方 法	作業的・体験的な学習課題の例

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 全般にわたって、5人のキャラクターが吹き出しで「はかってみよう」「たどってみよう」「さがしてみよう」「確かめてみよう」など、学習の見通しをもたせたり、作業的・体験的な学習を促したりする言葉を提示している。 (見通しをもたせる吹き出しの例)</p> <p>例 日本列島を見渡す地図を使い「北海道の稚内市から九州の鹿児島市まで、鉄道を指でなぞって旅をしてみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、日本列島の広がりをつかむための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 中国地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市を通っているか確かめてみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、中国地方の特色に気付くための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 中部地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「中部地方には高い山が多いね。3000m以上の山はどのあたりにあるかな。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで示すことで、日本の山脈や山地がどのあたりに多いのかつかむための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 関東地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「利根川を河口から上流までたどってみよう。また、利根川の支流もたどってみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで示すことで、地形の様子やそれに合った産業に気付くための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 首都東京を見渡すことができる地図を使い「山手線がぐるっと一周していますね。一周するのに1時間くらいかかります。どこに行ってみようかな。」という作業的・体験的課題を吹き出しで示すことで、首都東京の施設や歴史的建造物などに気付くための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 ユーラシア、北極を見渡すことができる地図を使い「北極海を囲んでいる国はどこかな。」と、地球儀の上での国の位置や緯度に気付くための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 アジアを見渡すことができる地図を使い「世界でいちばん高いところといちばん深いところをさがしてみよう。」という作業的・体験的課題を吹き出しで示すことで、山脈や海溝など、世界の地形の中でも高低差に目を向け、その様子に気付くための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 ヨーロッパを見渡すことができる地図を使い「イタリアのローマと同じくらいの緯度にある日本の都市はどこかな。」という作業的・体験的課題を吹き出しで示すことで、緯度に着目して、ページをまたいで各国の位置をつかむための見通しがもてるようにしている。</p> <p>例 日本の自然—気候—を示した日本地図では、雲の様子や降水量から「雪の多</p>

いところほどのあたりかな」「雨の多いところほどのあたりかな。」という作業的・体験的活動を吹き出しで示すことで、日本の気候の特色をつかむための見通しがもてるようにしている。

例 主題図「土地の利用とおもな農産物」を使った学習で、「りんごやみかんはどこなところで作られているのかな。」という作業的・体験的活動を吹き出しで示すことで、気候や地形に合った食糧生産について気付くための見通しがもてるようにしている。

例 主題図「発電所の分布」を使った学習で、「火力発電所や水力発電所はどのようなところにあるかな。」という作業的・体験的活動を吹き出しで示すことで、日本の地形にあった発電方法について気付くための見通しがもてるようにしている。

例 主題図「むかしの国」を使った学習で、「みんなの住んでいる所はむかしは何という国だったのかな。」という作業的・体験的活動を吹き出しで示すことで、それぞれの地域の昔の地名や文化遺産に親しむための見通しがもてるようにしている。

(振り返りとしての吹き出しの例)

例 近畿地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「琵琶湖は日本一広い湖だよ。73ページで面積を確かめてみよう。」の作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、分かったことを振り返り、次の学習につなげている。

例 中国地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「中国地方には、世界遺産に登録されているところが3カ所あるね。世界遺産のマークをさがしてみよう。71～72ページも見てみよう。」の作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、分かったことを振り返り、次の学習につなげている。

例 福井県、石川県、富山県の地方別の地図を使い「地図に名産品がたくさんっているね。みんなの町の名産品は何があるの？」という作業的・体験的課題を吹き出しで示すことで、分かったことを振り返り、次の学習につなげている。

例 主題図「日本各地の気温と降水量」を使った学習で、「あなたが住んでいる所の気温や降水量を調べて、グラフをかいてみよう。左のどのグラフに近くなるかな。」という作業的・体験的課題を吹き出しで示すことで、分かったことを振り返り、次の学習につなげている。

○「世界全図と地球儀」のページでは、地球儀を使って、距離や方位を測る方法が示されている。具体的にテープや巻き尺で測るだけでなく、地図をトレーシングペーパーでかきうつしたものを地球儀と比べその大きさの違いなどを実感できるようにするといった工夫がある。はかせのキャラクターが吹き出しで「この条件(方位、距離、面積、形の4つの正しさ)をすべてみたすものが地球儀です。」と提示し、学習の振り返りを行っている。

○「地図帳の使い方①」の「どこにある?(さくいん)」のコーナーで、実際に索引を使って場所を探したり、距離を測ったりする活動がマンガで示されている。

帝国

○「地図帳の使い方①②」のチャレンジコーナーで、実際に索引を使って場所を探したり、距離を測ったりする活動が設定されている。

また、「たくさんの情報がのっている地図だけど、一つか二つの情報にしばって見ていくと県や地域の特ちょうがつかめるよ。」と、これからの地図を使っての学習の見通しを示している。

- 「私たちの地球」のページでは、具体的にテープを使い地球儀で距離や方位を測定する測り方を示している。ノートコーナーに「地球儀の特徴(方位, 距離, 面積, 形, 位置関係の5つ)」を掲載し, 学習の振り返りを行っている。
- 2人のキャラクターの吹き出しや『注目しよう』、『トライ』コーナーで「印をつけよう」, 「たどってみよう」等, 作業的な学習を例示している。

(見通しをもたせるコーナーやふきだしの例)

例 日本列島を見渡す地図を使い「福岡から大阪までの距離を『かんたんものさし』ではかってみよう」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 日本列島のだいたいの大きさの見通しがもてるようにしている。

例 日本列島を見渡すことができる地方別の地図を使い「東北新幹線は東京から青森までいくつの県を通過していくか, 指でたどってみましょう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 東北地方の特色に気付くための見通しがもてるようにしている。

例 四国地方を見渡す地図を使い「ハウス栽培がさかんな高知平野では, どのような作物がつかられているか調べてみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 産業の記号に着目し, 地形や気候を利用した高知県の特徴をつかむための見通しがもてるようにしている。

例 愛知県とそのまわりの地図を使い「豊田市のまわりでは, どのような工業製品がつかられているのかな。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 自動車工業の盛んな地域の特色をつかむための見通しがもてるようにしている。

例 東北地方を見渡す地図を使い「津軽平野ではどんな果物がつかられているのかな。」「海岸がぎざぎざになっているね。この海ではどんなものがとれるのかな。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 産業の記号に着目してその特色に気付くための見通しがもてるようにしている。

例 北海道を見渡す地図を使い「広い十勝平野では, どんなものが作られているのかな。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 産業の記号に着目し, その土地利用の特色について気付くための見通しがもてるようにしている。

例 主題図「6つの大陸と3つの海洋」を使った学習で, 「㉔, ㉕, ㉖は何という大陸だろう。地球儀で調べてみよう。」「陸地と海ではどちらが広いかな。地球儀を使って確認してみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, 地球儀を回して見る角度を変えたり, 広さに着目したりと, 地球儀の特徴に気付くための見通しがもてるようにしている。

例 アジア・オセアニアを見渡す地図を使い「アジアにある世界一高いエベレスト山は, 富士山のおよそ何倍くらいかな?」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで, ページをまたいで山の高さ比べをしたりして, 世界の国々の地形に興味をもって調べるための見通しがもてるようにしている。

例 アジアを見渡す地図を使い「海の_____や陸の_____に着目して日本はどのような国々と、どのようなことで結びついているのか調べてみましょう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本と世界の国々との結びつきについて気付くための見通しがもてるようにしている。

例 ヨーロッパ・アフリカを見渡す地図を使い「アフリカ大陸の面積は、日本の面積の何倍ぐらいかな。72ページ④や75ページをもとに計算してみよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、世界の国々の面積に興味をもって調べるための見通しがもてるようにしている。

例 ヨーロッパを見渡す地図を使い「ヨーロッパには、日本と歴史的なつながりのある国があります。69～70ページも参考にして、どのようなつながりなのか調べてみましょう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本とヨーロッパの関係について理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「地形のようす」を使った学習で、「おもな山地、山脈をマーカーでぬってみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本の地形を理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「各地の水産業」を使った学習で、「水揚量の多い漁港は何県にあるか調べてみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本の水産業を理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「8月の気温のようす」を使った学習で、「北海道と沖縄県の気温の差は、夏と冬のどちらが大きいだろうか。夏は③図、冬は④図から読み取ろう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本の気候を理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「土地利用とおもな農産物の産地」を使った学習で、「P73⑧も参考にして、暖かい地方でとれる作物をさがしてみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、日本の土地利用と農産物の産地についての関係を理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「工業の分布」を使った学習で、「IC工場をマークしてみよう。自動車工場のある場所との違いを考えてみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、工業の発展している地域の特色について理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

主題図「発電所の分布」を使った学習で、「自分の住んでいる地域にはどのような発電所があるのかな？」という作業的・体験的学習課題を提示することで、発電所の立地条件を理解するための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

日本の歴史では、「今の都道府県のむかしの名前を調べてみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、それぞれの地域の昔の地名や文化遺産に親しむための見通しがもてるようにしている。

例「トライ」

日本と世界の結びつきでは、「日本は何をどこから輸入し、何をどこへ輸出しているか②図と③図から調べてみよう。」という作業的・体験的学習課題を提示することで、世界の国々との結びつきに気付くための見通しがもてるようにしている。

(振り返りとしての吹き出しの例)

例 中部地方を見渡すことができる地方別の地図を使い「高い山がたくさん集まっているね。3000m以上の山をさがして印をつけよう。」という作業的・体験的学習課題を吹き出しで提示することで、分かったことを振り返り、次の学習につなげている。

例「トライ」

防災マップづくりでは、テーマを決めて発表するまでの例と見通しを示し、「防災マップを見て考えよう。」「次のようなときに大地震が起こった場合、どこへ逃げるか考えてみよう。」と例を見ながら考えることで、実際に作る防災マップにつなげることができる。

【地図】

観 点	内容の構成・配列・分量
視 点	⑥ 単元・題材や資料等の配列
方 法	統計資料及び地図の扱い

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○巻末の統計資料 (63～78 ページの 16 ページ) →学年ごとの学習を意識した資料 →「主な統計資料」の種類と何年のデータが使われているか? →扱う主題図の種類</p> <p>第 5 学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の自然—気候—」 <ul style="list-style-type: none"> ①雲の様子(2012)と降水量 ②日本各地の気温と降水量 (平成 28 年理科年表) ・「日本の食料生産—水産業, 農業—」(写真 2009, 2011, 2012) <ul style="list-style-type: none"> ①おもな漁港と水産物 ②土地の利用とおもな農産物 ③日本のおもな食料の自給率の変化 (食料需給表 平成 26 年版) ④日本人の食生活の変化 (食料需給表 平成 26 年版) ・「日本の工業生産—電力, 工業—」 <ul style="list-style-type: none"> ①日本の電源の変化と各国の構成比較(1960, 1975, 2013 の比較) ②発電所の分布(2016) ③日本の工業の分布(平成 26 年) ④日本の工業の内訳の変化(1960, 2014 の比較) ・「日本の貿易」 <ul style="list-style-type: none"> ①おもな国や地域との貿易額(2015) ②日本の貿易相手国・地域(2015) ③日本の輸出品と輸入品(2015) ・「日本と世界の自然」 <ul style="list-style-type: none"> ①日本と世界のおもな山 (写真・絵・標高) ②日本と世界のおもな川 (平成 28 年理科年表) ③日本と世界のおもな湖 (平成 27 年全国都道府県市区町村面積調, 平成 28 年理科年表ほか) ④日本と世界のおもな島 (平成 27 年全国都道府県市区町村面積調, 平成 28 年理科年表) ⑤日本各地の気温と降水量 (平成 28 年理科年表) ・「日本の都道府県の統計」 (総務省資料, 第 89 次農林水産省統計表, 平成 26 年工業統計表ほか) ・「世界のおもな国の統計」 (外務省資料, 財務省貿易統計, 国際連合資料ほか) (日本の面積, 人口, 人口密度は 2015 年) ①「オリンピックとワールドカップ」 ②「世界の州とおもな海洋の広さ」(平成 28 年理科年表ほか)

第6学年

・「日本の歴史と文化—世界文化遺産—」

- ①むかしの国(1868)
- ②当時の国名
- ③歴史的な名所や各地の祭り
- ④むかしの国名がついている食べ物
- ⑤15の世界文化遺産の写真と位置

- 日本全図, 地方図, 大都市周辺図の縮尺
 - ・日本全図 2000万分の1, 400万分の1
 - ・地方図 100万分の1, 160万分の1 (北海道地方)
 - ・大都市周辺図 50万分の1, 5万分の1 (東京, 京都, 奈良)
 - 「広島市とその周り」「瀬戸大橋付近」「神戸市付近」がない
- 世界地図の図法
 - ・正距円筒図法 (最後) ・その他は記載されていない。
- 巻末の統計資料は, 63~78ページの16ページになっている。
- 巻頭部に4学年, 巻末では5学年と6学年で活用できる主題図を掲載している。
- 日本全図は400万分の1, 地方図は100万分の1, 大都市周辺図は50万分の1, 5万分の1の縮尺で掲載されている。

統計資料は, 日本の都道府県の統計, 世界のおもな国の統計一覧がある。16ページあり, 都道府県の統計は平成26年, 世界のおもな国の統計は2014年, 日本各地の気温と降水量は平成28年のデータが使われている。

地図は, 地図帳の使い方の説明, 日本列島を見わたす地図, 日本の地方別の地図(九州地方から北海道地方), 世界地図(ユーラシア, アジア, アフリカ, ヨーロッパ, 南北アメリカ, オセアニア), 巻末資料の順番で配列している。日本全図は400万分の1, 地方図は100万分の1, 大都市周辺図は50万分の1, 5万分の1の縮尺となっている。資料は, 日本の自然(気候), 日本の食料生産(水産業, 農業), 日本の工業生産(電力, 工業), 日本の貿易, 日本の歴史と文化(世界文化遺産), 日本と世界の自然, 日本の自然災害の順に配列されている。巻末の世界地図は正距円筒図法だが, 世界の各地方図は図法が記載されていない。

地図帳のサイズはA4版を採用している。

統計資料(16ページ)は, 日本の都道府県の統計, 世界の主な国の統計一覧が掲載されている。

日本の都道府県の統計は都道府県名, 都道府県庁所在地とその人口, 面積, 人口, 人口密度, 農業生産額(米, 野菜, 果実, 畜産), 漁業生産額, 工業生産額, 年間商品販売額, ごみの排出量, 公園面積, 国宝・重要文化財の数, 主な伝統工芸品が掲載されている。世界の主な国の統計一覧は, 国名, 首都, 面積, 人口, 人口密度, 主な言語, 日本からの輸入額, 日本への輸出額が掲載されている。

- 巻末の統計資料 (65～75 ページの 11 ページ)
- 学年ごとの学習を意識した資料
- 「主な統計資料」の種類と何年のデータが使われているか?
- 扱う主題図の種類

第5学年

- ・「日本の自然のようす 地形・気候」
 - ① 地形のようす (900 万分の 1 山地・山脈・川・海など)
 - ② さまざまな地形—模式図— (平野・盆地など説明図)
 - ③ 8 月の気温のようす (気象庁資料)
 - ④ 2 月の気温のようす
 - ⑤ 雪の多いところ
 - ⑥ 断面と冬の季節風—模式図—
 - ⑦ 気温と降水量 (平成 28 年理科年表)
 - ⑧ おもな台風の進路 (最新 2011 12 号)
- ・「日本の産業のようす 農水産業・工業」
 - ① 土地利用とおもな農産物の産地 (平成 26 年産 作物統計)
 - ② 各地の水産業 (平成 26 年 水産物流通統計年報 ほか)
 - ③ 自動車の組み立て工場の分布 (自動車会社資料ほか, 平成 25 年工業統計表)
 - ④ 工業の分布 (平成 25 年工業統計表)
 - ⑤ 発電所の分布 (平成 22 年度電源開発概要 2010 ほか)
- ・「日本と世界の結びつき」
 - ① 外国から輸入されるわりあい (2013)
 - ② 日本のおもな輸入相手国・地域とおもな輸入品 (2013)
 - ③ 日本のおもな輸出相手国・地域とおもな輸出品 (2013)
- ・「自然の統計」
 - ① 日本と世界のおもな山の高さ (平成 28 年理科年表)
 - ② 日本と世界のおもな川の長さ (平成 28 年理科年表)
 - ③ 日本と世界のおもな湖の広さと深さ (平成 28 年理科年表)
 - ④ 世界の陸地の面積 (世界人口年鑑 2014 ほか)
 - ⑤ おもな海洋の面積 (平成 28 年理科年表)
 - ⑥ 日本各地の気温と降水量 (平成 28 年理科年表)
- ・「日本のすがた (都道府県別の統計)」
 - ⑦ 都道府県別の統計 (農林水産統計, 平成 25 年工業統計表産業編, 全国都道府県市区町村別面積調べほか)
 - ⑧ おもな農産物の生産 (農林水産統計)
 - ⑨ おもな工業製品の生産 (平成 25 年工業統計表ほか)
- ・「世界の国別統計」
 - ⑩ 世界のおもな国々と日本の結びつき (財務省貿易統計, 世界人口年鑑 2014 ほか)

帝国

第6学年

- ・「日本の歴史」
 - ① 日本の歴史のおもなできごと (年表)
 - ② 江戸時代の交通路
 - ③ むかしの境界 (国の名前 1868 むかしの国名がついたおもな産物)
 - ④ 歴史の舞台になった場所 (都, 幕府, 寺院, 史跡, 戦い, 世界文化遺産)
 - ⑤ 正確になった日本地図 (江戸時代はじめころと伊能忠敬の地図の比較)
 - ⑥ 鎌倉のようす

- 日本全図, 地方図, 大都市周辺図の縮尺

- ・日本全図 2000 万分の 1 , 400 万分の 1
- ・地方図 100 万分の 1 , 200 万分の 1 (北海道地方)
- ・大都市周辺図 50 万分の 1 , 10 万分の 1
- 世界地図の図法
 - ・ミラー図法 (最後) ・ランベルト正積方位図法
- 巻末の統計資料は、65～75 ページの 11 ページになっている。
- 巻頭部に 4 学年、巻末では 5 学年と 6 学年で活用できる主題図を掲載している。平成 28 年理科年表など、最新データを活用している。
- 日本全図は 400 万分の 1、地方図は 100 万分の 1、大都市周辺図は 50 万分の 1、10 万分の 1 の縮尺で掲載されている。
- 巻末の世界地図はミラー図法で、地方図はランベルト正積方位図法で掲載されている。

統計資料は、日本の都道府県の統計、世界のおもな国の統計一覧がある。11 ページであり、都道府県の統計は平成 25 年、世界のおもな国の統計は 2014 年、日本各地の気温と降水量は平成 28 年のデータが使われている。

地図は、地図帳の使い方の説明、日本列島を見わたす地図、日本の地方別の地図 (九州地方から北海道地方)、世界地図 (アジア・オセアニア、アジア、ヨーロッパ・アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、アメリカ合衆国)；巻末資料の順番で配列している。日本全図は 400 万分の 1、地方図は 100 万分の 1、大都市周辺図は 50 万分の 1、10 万分の 1 の縮尺となっている。資料は、日本の自然、日本の産業、日本の歴史、日本と世界の結びつき (貿易)、自然の統計、地震・火山の災害と防災との順に配列されている。巻末の世界地図はミラー図法で、地方図はランベルト正積方位図法である。

地図のサイズは A B 版を採用している。

統計資料 (11 ページ) は、日本の都道府県の統計、世界の主な国の統計一覧が掲載されている。

日本の都道府県の統計は都道府県名、都道府県庁所在地とその人口、面積、人口、人口密度、農業生産額 (米、野菜、果実、畜産)、木材生産額、魚かい類生産額、工業生産額 (鉄鋼、機械、化学、食料品)、乗用車台数、ごみの排出量、下水道の普及率、森林面積、ふるさと自慢、主な伝統工芸品と生産都市が掲載されている。世界の主な国の統計一覧は、国名、首都、面積、人口、人口密度、日本からの輸入額、日本への輸出額が掲載されている。

【地図】

観 点	内容の表現
視 点	⑦ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方 法	資料等の活用方法の記載

発行者	調査・研究内容
東書	<p>○ 写真やイラストが適切に配置されているが、活用方法の記載はない。</p> <p>○ 資料等と学習内容が関連づけられた例</p> <p><u>地方図「北海道地方」</u> (資料)「アイヌ語の地名とその意味」 (イラスト) 流氷砕氷船ガリンコ号Ⅱ, 流氷砕氷船おーろら号, アヴローラおくしり</p> <p><u>地方図「日本列島—南西諸島から九州」</u> (主題図)「南西諸島のおもな島」1大島 (奄美大島) 2沖永良部島 3沖縄島についてはp 1 2 4宮古列島 5八重山列島 6与那国島 (写真) ひめゆりの塔 守礼門 (資料)「沖縄島の土地利用の割合」「同じ縮尺の大阪と東京の中心部」 (イラスト) 首里織 電照菊 泡盛 さとう パイナップル</p> <p><u>地方図「中国地方」</u> (主題図)「島根県 (竹島)」 (イラスト) 福山琴 筆 かき 萩焼</p> <p><u>地方図「東京都とそのまわり」</u> (イラスト) 東京ディズニーリゾート 鎌倉大仏</p> <p><u>地方図「オセアニア」</u> (イラスト) カンガルー, コアラ, カモノハシ, キウイ, 羊, モアイ像, 鯨 (写真) ハワイの海岸 (オアフ島, ワイキキビーチ) 南太平洋の島 (ソシエテ諸島, ボラボラ島)</p> <p><u>地方図「アジア」</u> (イラスト) 日本へ向かうタンカー ゲル (テントの家) パンダ 茶の栽培 綿花 油田 炭田 万里の長城 西遊記 ビルマのたて琴 三国志 モンゴルずもう</p> <p>○ 巻末の統計資料 ※ () は主題図の数 ①日本の自然—気候 (2) ②日本の食糧生産—水産業, 農業 (4) ③日本の工業生産—電力, 工業 (4) ④日本の貿易 (3) ⑤日本の歴史と文化—世界文化遺産 (1) ※写真が大きく, 歴史的な名所も地図に記載されている。 ⑥日本と世界の自然 (5) ⑦日本の都道府県の統計 ※平成26年度資料 ⑧世界の主な国の統計 ※2015年度資料</p>

○ 写真やイラストが適切に配置されているが、活用方法の記載はない。

○ 資料等と学習内容が関連づけられた例

地方図「北海道地方」

(写真)「流水の中を進む流水観光砕氷船おーろら」

(主題図) ②網走付近のようす ③畑作のようす ④釧路湿原のようす

⑤釧路湿原のなりたち

(イラスト) 流水砕氷船ガリンコ号IIのルート

地方図「日本列島ー南西諸島」

(主題図) ②大島(奄美大島) ③地下ダムによる沖縄県糸満市の農業

④沖縄島 ⑤宮古列島 ⑥八重山列島

(写真)「尖閣諸島」

(イラスト) ひめゆりの塔 ヤンバルクイナ ノグチゲラ ハマンギ

きく さとうきび パイナップル

地方図「中国地方」

(主題図) ②広島市とそのまわり ③広島市のようす ④竹島 ⑤隠岐諸島

⑥鳥取砂丘のようす

(イラスト) 琴 備後畳おもて 筆 かき ショベルカー

スナメリ 酒 スマートフォン 宮島細工 など

地方図「東京都とそのまわり」

(主題図) ②東京湾の埋立と残された自然

(イラスト) 東京ディズニーランド みなとみらい21

地方図「アジア・オセアニア」

(イラスト) カンガルー コアラ カモノハシ キウイ ヒツジ ウルル

ザ・ガン号 コモドオオトカゲ インディアン・パシフィック号

(写真) はしで食べる家族[中国] 真夏のサンタクロース[オーストラリア]

(資料) アジアの国々の国旗(1) オセアニアの国々の国旗

地方図「アジア」

(資料) アジアの国々の国旗(2)

(写真) カレーを食べる家族[インド] お祈りをする人々[アラブ首長国連邦]

(イラスト) オイルタンカー 茶 えび 油やし 鉄鉱石 綿花 米 コーヒー

万里の長城 天安門 馬頭琴 モンゴル相撲

西遊記 ビルマの豎琴 三国志 シンドバッドの冒険

○ 巻末の統計資料

①日本の自然のようすー地形・気候(8)

②日本の産業のようすー農水産業・工業(5)

③日本の歴史(6)

※年表があり、地図と見比べることができる。

④日本と世界の結びつき(3)

自然の統計(6)

⑤日本のすがた(都道府県別の統計) ※平成25年度資料

⑥世界の国別統計(世界のおもな国々と日本の結びつき) ※2014年度資料

(日本国の面積・人口・人口密度) ※2015年度資料

【地図】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑧ 観察・調査や各種資料の活用の工夫
方 法	地図を活用した調べ方の事例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページでキャラクターが、調べる視点 (例「四国と本州を橋で結んでいるところが3か所あるね。どこにあるかさがしてみよう。」) や調べ方 (例「中国地方には、世界遺産に登録されているところが3か所あるね。世界遺産のマークをさがしてみよう。」) など、具体的作業の投げかけ、調べてわかったことのまとめなどを示している。 ○ 「索引」がどうなっているかを調査 「さくいん」の見方として活用の仕方を例示してある。 日本・・・都道府県名・県所在地を赤文字 それを黒文字 世界・・・黒文字 首都は赤丸 地名の種類を表す記号を用いている。 (掲載数：日本の地名 約 2300項目, 世界の地名 約 450項目) ○ 「地図帳の使い方①」の「どこにある? (さくいん)」では、さくいんの使い方がマンガ風に説明されている。索引にある地名の頭部分に、市、町、村、字・旧市町村、世界遺産、名所や寺院、各種施設が分かる記号を付けるといった工夫がされている。 ○ 「地図帳の使い方②」では、ある地域に限定し、地形や交通の様子、土地利用の様子等に視点を当てて、詳しく調べる方法を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページでキャラクターが、調べる視点 (例「ハウス栽培がさかんな高知平野では、どのような作物がつけられているか調べてみよう。」) や調べ方 (例「東北新幹線は東京から青森までいくつの県を通過していくか、指でたどってみよう。」) など、具体的作業の投げかけ、調べてわかったことのまとめなどを示している。 ○ 各ページに「チャレンジコーナー」「トライコーナー」「キャラクターコーナー」「ノートコーナー」等が設けられており、調べる視点や調べ方、具体的作業の投げかけ、調べてわかったことのまとめなどが示されている。 ○ 「地図帳の使い方②」には「都道府県のようにすを地図で調べよう」のコーナーがあり、地図に掲載されている情報を「自然・地形」や「くらし・産業」といった限られた情報に絞り、見ていくことで、県や地域の特徴をつかむ方法が説明されている。 ○ 「索引」がどうなっているかを調査 「さくいん」の見かたとして活用の仕方を例示してある。 日本・・・都道府県名と都道府県庁所在地名を赤文字 歴史地名を青文字 世界・・・国名と首都名を赤文字 (おもな国名は世界の国別統計の中の索引) そのほかの地名を黒文字 地名の種類を表す記号を用いている。 ※索引記号が実際の地図にどう表されているか具体例が示してある。 (掲載数：日本の地名 約 2000項目, 世界の地名 約 260項目) ○ 「地図帳の使い方①」の「さくいんを使って場所をさがそう」で索引の使い方や調べ方が説明されている。索引にある地名の頭部分に、市、町、村、字・旧市町村、歴史地名、世界文化遺産、世界自然遺産が分かる記号を付けるといった工夫がされている。 ○ 「日本の歴史とおもなできごと」に掲載された歴史年表の主なできごとや歴史的建造物等に、地図帳の何ページの地図に掲載されているか分かるよう、そのページ番号が付けられている。

【地図】

観 点	言語活動の充実
視 点	⑨ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方 法	地図を活用した表現の事例

発行者	調査・研究内容
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の自然（気候）」では、自分の地域の気温と降水量のグラフを作成し、他地域と比較することを示している。 ○ 索引に「マイ・インデックス」のコーナーを設け、自分が作成した索引を活用できるようにしている。 ○ 「日本の自然—気候—」では、自分が住んでいる所の気温や降水量を調べグラフにかく活動をするよう、子どもキャラクターの吹き出しでうながしている。 ○ 近畿地方の地図で、子どもキャラクターが「歴史の本を読むと、この地域が舞台の話が多いよ。」の吹き出しで、読書をうながしている。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 『日本の都道府県』の「都道府県をしょうかいしよう」では、都道府県について調べたことを伝えるための、紹介文の書き方を例示している。 ○ 「地図のなりたちとやくそくごと」では、絵地図や地図の作成の仕方が示されている。 ○ 『地震・火山の災害と防災』の「防災マップづくり」では、防災マップの作り方や発表の仕方等を示し、実際に児童が作った地図の作品を紹介している。 ○ 巻末の「世界の国々」では、世界の国名と場所を覚えるため、日本のおおよその位置を、緯度と経度を使って説明する学習を紹介している。